

官報

號外

明治二十五年六月五日

日曜日 內閣官報局

第三回 衆議院議事速記録第十九號

帝國議會 衆議院議事速記録第十九號

明治二十五年六月四日(土曜日)午後一時八分開議

議事日程 第二十號

明治二十五年六月四日

午後一時開議

第一 小包郵便法案(政府提出貴族院送付)

第一讀會

第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第一讀會(特別委員長報告)

第三 登記法改正法案

第一讀會

第四 府縣制第二十七條修正法律案(島田三郎君外三名提出)

第一讀會

第五 國庫剩餘ノ處分ニ關スル建議案(井上角五郎君外一名提出)

第一讀會

第六 銀行條例改正法律案(原善三郎君外三名提出)

第一讀會

第七 鐵道公債法案(政府提出)

第二讀會(午後四時)

○議長(星亨君) 諸君、是ヨリ報告ヲ致シマス

(水野書記官長朗讀)

吉岡俊文君大島信君ヨリ海底電線布設ニ關スル建議案ヲ提出セラレタリ

民法商法施行延期法律案審査特別委員ニ鳩山和夫君、關直彦君、河野廣中君、島田三郎君、牧朴眞君、元田肇君、三崎龜之助君、渡邊又三郎君、渡邊洪基君當選セラレタリ

島田三郎君外一名提出ノ民法中一部延期ニ關スル法律案ハ併セテ右特別委員ニ付託セリ

長谷川泰君ハ銀行條例改正法律案贊成者中ニ記入有之候ヘ共事實相違ニ付除名セラレタキ旨申出ラレタリ

○議長(星亨君) 是ヨリ會議ニ掛リマス、本日ノ議事日程ノ第一小包郵便法案第一讀會 朗讀ヲ省キマス

第一 小包郵便法案(政府提出貴族院送付)

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメニ掲載ス)

(議案中直線ヲ施セルモノ左傍ハ朱筆シタル文字右傍ハ増加シタル文字又ハ内ノ字ハ右傍ニ朱筆シタルモノナリ以下之ニ倣ヘ)

小包郵便法案

右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ依テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治二十五年五月三十一日

貴族院議長侯爵蜂須賀茂韶

衆議院議長星亨殿

衆議院議事速記録第十九號

明治二十五年六月四日

議長ノ報告

小包郵便法案 第一讀會

三九七

小包郵便法

第一條 何等ノ物品ヲ問ハス本法ニ抵觸セサルモノ「左ニ記載スルモノヲ除ク外」ハ小包郵便物トシテ之ヲ郵便ニ差出スコトヲ得但左ニ記載スルモノハ此限ニアラス

第一 郵便條例第十六條第一項乃至第三項ノ物品但「シ」第二項ノ物品ハ郵便局ノ承認ヲ受ケテ郵便ニ差出スコトヲ得

第二 信書又ハ信書ノ性質ヲ有スルモノ若クハ音信文記入ノ物品

第二條 小包郵便物ハ「郵便料ノ外ニ」保險料ヲ納付シテ更ニ之ヲ價額表「登」記ノ小包郵便物ト爲スコトヲ得但「其」價額ハ實價ヲ超過スルトヲ得ス

第三條 小包郵便物ヲ價額表記ト爲ストキハ其表面ニ在中物品ノ價額ヲ記スヘシ但其價額ハ實價ヨリ多額ナルコトヲ得ス

第四「三」條 小包郵便物ヲ其「ノ」受取人ニ交付セス又ハ差出人ニ還付セサル前ニ生シタル損害ニ付テハ政府其「ノ」賠償ノ責ニ任ス

第五「四」條 小包郵便料、保險料、賠償金額並ニ小包郵便物ノ最大容積重量及價額表「登」記ノ制限、最高額ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第六「五」條 左ノ場合ニ係ル損害ハ政府其「ノ」賠償ノ責ニ任セス

第一 天災其「ノ」他避クヘカラサル事變ニ因ルトキ

第二 物品自己ノ性質ニ因ルトキ

第三 差出人ノ過誤怠慢ニ因ルトキ

第四 本法郵便條例及其「ノ」施行ニ關スル命令ヲ遵守セスシテ郵便ニ差出シタルトキ

第七條 小包郵便物損害賠償ノ條約ナキ外國ニ於テ生シタル損害ハ政府其賠償ノ責ニ任セス

第八「六」條 小包郵便物配達ノ際其「ノ」外部ニ破損ノ痕迹ナク且重量ニ變異ナキトキハ政府損害賠償ノ責ニ任セス又受取人若クハ差出人ニ於テ異議ナク該郵便物ヲ受領シタルトキハ損害ナキモノト看做ス「亦同シ」

第九「七」條 小包郵便物損害ニ對スル賠償ノ請求ハ其「ノ」郵便物ノ差出人ヨリ遞信大臣ノ指定スル郵便局ニ之ヲ爲スヘシ此「ノ」場合ニ於テハ郵便料ノ返付ヲ請求スルコトヲ得但「シ」其「ノ」請求期限ハ郵便物差出ノ日ヨリ六「三」箇月トス此「ノ」期限ヲ經過スルトキハ政府其「ノ」責ヲ免ル

第十「八」條 賠償又ハ郵便料ノ返付ニ關シ「郵便局ノ通知ヲ受ケ之ニ」不服アル者ハ其「ノ」通知ヲ受ケタル日ヨリ三「二」箇月以内ニ裁判所ニ出訴セサルトキハ其權利ヲ失フ「スルコトヲ得」

サルトキハ其權利ヲ失フ「スルコトヲ得」

小包郵便法案 第一讀會

三九七

今日小包郵便法ヲ提出スル所以デアリマシテ、諸君ノ御賛同ヲ得タイト思ヒマス、尙ホ添ヘテ外國ノ關係ヲ一應申述ベテ置キマス、ソレハ此萬國聯合條約ノ會議ニ於キマシテハ、既ニ萬國共通法ノ下ニ於テアリマス、ソレデ昨年澳國ノ維也納開キマシタ會議ノ時ニモ小包郵便條約ニ調印シマシタ國ハ總テ三十五箇國デアリマシタ、年増シ日増シテ進んで參ッテ、昨年ニ及ビマシテ既ニ三十五箇國ノ條約ト成立チマシタデゴザイマス、又此聯合ニ預リマセヌ加盟シナイ國ハ有リマス、即チ英國デアリマス、或ハ米國デアリマス、有リマスルガ併ナガラ是ハ一體ノ所ニ加盟ヲセズシテ、國トミミノ條約ハ悉ク行フテ居リマス、既ニ此帝國政府ヘモ數年來此聯合條約ニ加盟ヲシナイカト云フコトノ勸告ハ頻ニ促サレマス、ケレドモ此加盟ヲスルシナイト云フコトハ暫ク措キマシテ、我國ニ未ダ行レテ居ナイコトデアリマス、カミ、已ムヲ得マセズ加盟ハ致サズト居リマス、又或ハ特別ニ他ノ國トミミノ如ク特別ニ條約ヲ結ブト云フコトモ未ダ致シマセヌ、併ナガラ其内ニ加拿陀香港ト云フモノハ既ニ先年結ンデ居リマス、是ハ唯此加拿陀ト香港トノ間ノ條約ヲ結ンデ居リマス、未ダ決シテ十分ニ居リテ居ルデハゴザイマセヌ、即チ香港ニ結ビマシタノガ十三年一月カラ實施シテ居リマス、又加拿陀ニ結ンダノガ二十三年十月カラ結ンデ居リマス、併ナガラ誠ニ是ハ僅々タルモノデ、或ハ香港ヨリ我帝國ヘ此事ヲ申込シマシテ、其一時ノ便利ヲ計ッテヤリマシタ、或ハ加拿陀モ右ノ通ノ有様デゴザイマシテ、眞ニ我國コレガ行レヌ以上ハ雙方満足ヲスルヤウニハ決シテ致シマセヌ、眞ニ我國コレガ行ス、故ニ此萬國條約ノ下ニ調印シテ居リマシタ國ハ三十五箇國デアリマス、前刻申ス通……其内ニ土耳其埃及リベリヤ運羅ハゆにす等ノ此國ニモ即チ今日文明上ノ發達カラ申シテ見レバ、我國ヨリハ先ツ下等ニ居ルト云ハナケレバナリマセヌ、其國デアラ今日此條約ニ加盟シテ居ル位ノコトデゴザイマス、何モ我國ト雖モ此内地ニ此法律ヲ開イテ十分ニ及ブデ夫ノ速達ト均一ト夫ノ便利ヲ達シタ上ニハ、或ハ萬國ト共ニ條約ヲスル、或ハ又漸々ニ各國ト條約ヲスルカト云フコトハ隨分必要デアルト考ヘマス、唯先刻以來申述ベマス通、本邦ハ既ニ信書及金銀ノ運輸ハ行ッテ居ッテ、稍々整頓スルデアリマス、ケレドモ此小包運輸ノ一條ヲ缺イテ居ル所ハ本大臣ノ遺憾トスル所デアリマス、尙ホ先刻申上ゲタ通此金銀ノ運輸ハ漸次引續イテ完備ヲ致スヤウニシナケレバナラヌ、大凡斯ノ如ク相成レハ此郵便事業ト云フコトガ、今日先ツ各國ニ於テ開ケテ居ル點迄進ムコトヲ得マセウト思ヒマス、右ニ就キマシテ諸君ハ願クバ本案ヲ御贊成ニ成リマシテ、ドウゾ此法案ノ通過スルコトヲ希望致シマス、尙ホ終ニ臨ンデ申シテ置キマスガ、先日貴族院ニ於テハ既ニ此案ニ就キマシテ幾多ノ修正ヲ加ヘラレテ、通過致シテ居リマス、此修正タルヤ本大臣ニ於テハ即チ満足致シテ居ル修正案デゴザイマス、是モ一應添ヘテ申述ベテ置キマス

(政府委員遞信次官河津祐之君演壇ニ登ル)

○田中正造君(三十一番) 議長

○議長(星亨君) 三十一番——河津君ニ許シテアリマス

○田中正造君(三十一番) 議長ノ御取扱上ニ就イテ一寸御注意ヲ申シタイ

○議長(星亨君) 宜シウゴザイマス

○田中正造君(三十一番) 從來ノ慣例ニ依リマスレバ、前日ニ質問書ヲ出シ

マス、其質問書ヲ茲ニ御報道ニナルノガ例ダ、昨日私ノ出シマシタ質問書ヲ今日御披露ガアリマセヌカラ、ソコデ唯今會議中書記官ノ室ニ參ッテ取調ベマシタ、處ガ私ノ質問書ハ當年此本會ノ開會以來質問書ヲ出シマシタノニ、政府ガ議院法第二十九條ノ規定ノ約束ヲ履マナイ、直チニ答辯モセズ、又答辯スル期日ヲモ定メズ、又答辯ノ出來ナイト云フ理由ヲモ示サナイカラ、如何ナル理由デアアルカト云フコトヲ質問書ヲ出シマシタガ、其質問書ヲ議場ニ披露サレテハ困ル、議場ニ出サレテハ困ル、内閣ニ出サレテハ困ルト云フコトデ、是ハ披露シナイ中ニ今日何日ニ答辯ヲスルト云フ報道ヲ後ニスルト云フ積デ、書記官ノ取計ヲ以テ此質問書ヲ今日當議場ニ披露シナイト云フコトヲ、私ハ唯今調ベテ參リマシタ、斯ノ如ク從來ノ

○議長(星亨君) 三十一番、ソレハ此事ニ關係ガナイ

○田中正造君(三十一番) 姑ク私ノ言フコトヲ御聽キナサイ、斯ノ如ク從來ノ慣例ヲ破ッテ、書記官等ガ我々ノ貴重ナル質問ヲ左右サセルト云フコトハ、果シテ如何ナル譯デアリマス、之ヲ若シ議長ガ御知リデナイナラバ、調ベタ上デ宜シク書記官ヲ御糺シニナルノガ宜シイ、敢テ議長ヲ……、議長ハ御存シナイト思ヒマス、總テ今日ノ政府ハ己レノ信用スル人……、方ニ斯ノ如クデアアル

○議長(星亨君) 議長ハ知ラヌカラ篤ト取調ベマス

○田中正造君(三十一番) 屹度處置ヲナサイ、唯徒ラニナラヌヤウニ嚴重ニ御取調ヲ願ヒマス

○議長(星亨君) 宜シウゴザイマス、是マデ徒ラニシタコトハナイ

○田中正造君(三十一番) 何ゾ笑ッテ之ヲ答ヘル、——不禮ダ、——(笑聲起ル)此會ハ書記官等ノ會デハナイ、議長ノ會デハナイ、國家ノ議會ノ議會デアアル

○議長(星亨君) モウ許シマセヌ

○田中正造君(三十一番) 許サナイト云フコトハ……、(笑聲起ル)笑フトハ何ダ

○政府委員(河津祐之君) 諸君、唯今遞信大臣ヨリ致シテ小包郵便法ノ國家ノ便利ヲ益スルメニ必要ナル理由ヲ説カレマシタ、就キマシテ其遞信大臣ノ演說セラレル前二百三十七番ガ此事タル重量容積等ノ勅令ヲ以テ之ヲ定メタルガ、其定メ方ニ依ッテハ通運事業ヲ爲ス所ノ者ニ影響ヲ及スニ依ッテ一應質問ヲスルト云フコトデアリマシタ、デワレニ就キマシテ此御質問ニ唯容積ハドノ位ニスル積リデアアル、重量ハドレ程ニスル積リデアアルト云フ式ノ御答ヲシマシタデハマダ完全デアアルマイト思ヒマス、故ニ大臣ノ演說ニ蛇足ヲ添ヘル嫌ガアルカモ知レマセヌケレドモ、此小包郵便法ト云フモノヲ行フコトハ政府ニ於テ之ヲ爲スコトガ利益ガアルト云フコトヲ述ベ、進ンデ是ガ他ノ鐵道會社若クハ百七十三番ノ心配セラレル所ノ通運事業ト云フ者ガ、如何ナル影響ヲ受クルカト云フコトヲ論究スルノハ必要デアラウト思ヒマス、デ先ツ政府ガ小包郵便ト云フモノヲ自ラ取ッテ此通運ニ從事スルコトハ私立ノ會社若クハ私人ニ委スルヨリ便利デアアルノデゴザイマス、何故便利デアアルト云フニ、先程遞信大臣モ言ハレタル如ク、私立ノ會社ト云フモノハ利益ガナケレバ爲スコトハ出來マセヌ、ソレ故ニ私立ノ會社ニ委シテ置クト云フト利益アル、即チ便利アル場所ニコツ通運ノ道ヲ開キ、邊陲ノ地ニマデ此及シテ

運送業ヲスルト云フコトハ出來ヌ次第デアリマス、併ナガラ政府ハサウ云フモノデナイ、政府ガ小包郵便ヲ自ラ取ツテ運送スルト云フコトハ便利ノタメアル、全國人民ノ便利ヲ計ルタメデアリマスルカラ、獨リ繁華ナル所便利ナル所ノミナラズ、財政ノ續クダケ邊陲ノ地ニマデ及シ、日本全國ニ及スト云フコトガ政府ハ出來ルノデアリマス、元々政府ハ此業ヲ爲スニ當ツテ公益ヲ目的トスル譯デアアル、決シテ利益ヲ目的トスル譯デアリマセヌカラ、田舎ノ僅ニ一ツカニツカ小包ヲ送ル所マデモ、運送ヲスルト云フコトガ、政府ニ於テハ出來ル、私立會社ニ於テハ出來ナイ次第デアアルノデアアルソレカラ第二ニ政府ガ小包郵便ヲ自ラ取ツテ之ヲ行フト云フニ至リマスルト云フト、政府ノスルコト、云フモノハ資本モ私立會社ノ資本トハ違ッテ確實ナモノデアリマス、故ニ政府ガ之ヲ政府ノ事業トシテ之ヲスル時ニハ、確實ニシテ安全デアアルト云フコトヲ請合フコトガ出來ル譯デアリマス、第三ニ政府ガ之ヲ爲スト云フコト如何ナル利益ガアルカト云フニ、政府ハ既ニ郵便局ト云フモノヲ持ツテ居ッテ、郵便局ハ蜘蛛ノ巢ノ如ク全國ニ擴ガツテ居ルノデアリマスルカラ、其郵便局ヲ取ツテソレニ少シノ建増ヲスルトカ、又ハ倉ヲ建出ストカ云フコトヲ爲セバ、到處小包郵便ヲ執行スルコトガ出來ルノデアリマスルカラ、是又政府ガ私立會社ヲ立テ、置カズニ自ラ爲ス方ガ便利トスル所以デアリマス、ソコデモウツ利益ガアルノハ萬國ノ小包郵便條約ト云フモノデアリマス、彌、此日本デ小包郵便ヲ執行シテ進ンデ萬國聯合條約ノ仲間入ヲスル時ニ至リ、私立會社デ之ヲ爲スヨリハ、政府ハ即チ政府ガ其條約ヲ爲スト云フコトハ實際便利デアアルト云フコトハ、多言ヲ待マズシテ明ナ譯デアリマス、デ政府ガ小包郵便ヲ自ラ運送スル時ニハ、前申シタル通數多ノ利益ガアル譯デアリマス、ソナナラ此小包郵便ヲ實施スル段ニ至ッテ、人民ハ如何ナル影響ヲ蒙ルデアラウト云フコトヲ研究スルノハ必要ナルコト、思ヒマス、勿論之ガ政府ハ利益ヲ目的トセズ、故ニ繁華ノ土地ノミナラズ、邊陲邊鄙ノ所迄モ執行ヲスル、而カモ利益ヲ目的トシナイカラシテ出來得ル丈ハ安價ニ廉價ニ之ヲ爲スト云フニ至ッテハ、一般ノ人民ニ對シテ利益ト云フモノハ言ハズト分ツタコトデアリマス、併ナガラ之ニ密接ノ關係ヲ持ツテ居ル鐵道會社ハドウ云フコトニナルドラウト言ヒマスルト、鐵道會社ニシテモ汽船會社ニシテモドウスルカト云フト、今迄小包鐵道會社若クハ汽船會社デ請取ツテ居リマシタ、ケレドモ小包ト云フモノハ段段之ヲ政府ニ取ラレテ仕舞フ、遞信省ノ一手ニ歸スル傾ヲ持チマスルニ相違ハナイ、併ナガラ政府ガ之ヲ小サクスル、其小サイヤツテ政府ガ取リマス、ケレドモ之ヲ集メテ大キク爲シテ、鐵道會社ニ渡シテ鐵道會社ニサセルト云フコトニナルニ違ヒナイ、故ニ會社ト云フモノハ今迄細ッコイ郵便ヲ請取テ居ッタ煩勞ヲ免カレテ、大ナル塊ニナツテ之ヲ取扱フ様ニナツテ參リマス、現ニ英國ノ鐵道會社ニ於キマシテハ、此夫ノ國ノ遞信院ニ此事ヲ謝リマス、云フコトデゴザイマス、ソレカラ小包郵便ノ料金ト云フモノガ安クスルノガ政府ノ目的デアリマス、故ニ此鐵道會社ハ出シテ來ル所ノ小包郵便ガ殖エテ來ル譯デアアル、政府ガ取扱フ小包郵便ヲ取扱フコトニナツテ來ルト云フト、荷物ノ數ガ多クナツテ來ル、荷物ノ數ガ多クナツテ來ルカラ、鐵道會社自ラ取扱フテ居ッタ時ヨリハ大層ナ荷物ニナツテ來ル、其大層ナ荷物ガ大ナル荷物トナツテ鐵道會社ヘ這入ッテ來ル次第ニナル、ソレデ遞信省ハ全國到ル

處ニ郵便局ヲ持ツテ居リマス、鐵道會社ハ又沿道ニ停車場ヲ持ツテ居リマス、故ニ遞信省ト鐵道會社ノ關係ト云フモノハ、小包郵便實施ニ就イテハ互ニ相便利ヲスルト云フコトニナリマス、抑、此郵便ヲ取扱フニドウ云フ手續ガ要ルカト云フニ、之ヲ受附ケルコト、之ヲ遞送スルコト、之ヲ配達スルコトデアリマス、處ガ鐵道ト云フモノガアツテ、此遞送ヲ取扱ツテ吳レル、政府ハ之ヲ受附ケルコト、之ヲ配達スルコト云フコトヲスルノデアリマスカラ、此兩者相待ツテ大層利益ガアリマス、決シテ鐵道會社ハ思ッタヤウニ迷惑ハシナイ、ソレカラ諸君ガ必ズ御心配ニナルドラウト云フ重ナルモノハ、即チ運送業ヲナス者ノ其影響如何ト云フ、即チ是ガ百二十七番ノ質問ノ出タ所以ドラウト思ヒマス、其事ヲ研究シテ見マスルニ、是ハ多少影響ヲ被ルニ違ヒナイデ、今マデ自分一人デヤツテ居ッタ事柄ヲ政府ガ出テ、之ト同ジ事業ヲナスノデアリマス、況ヤ此政府ト云フモノハ大ナル資本ヲ持ッテ、又利益ヲ目的トセズニ、サウシテ此商賣ヲナスト云フ次第デアリマスカラ、同商賣ノ運送業者ト云フモノガ其影響ヲ受ケナイ譯ニハ參リマセヌ、カラ運送業者ハ此場合ニ於テハドウスルドラウト云フニ、必ズ賃錢ヲ安クスルヨリ外、仕方ガナイ、政府ガ安クスル矢張之ニ連レテ運送業者ト云フモノハ其直段ヲ下ゲナケレバナラヌ譯デアリマス、ソレ故ニ其會社其運送業ヲナス所ノ私人ノ收入ト云フモノハ、安クナルト云フコトハ、是ハ避ケラレヌ次第デアリマス、デ運送業ヲナス者ノ從來致シテ居リマスル仕事ハ、ドウ云フコトヲシテ居ルカト云フニ、矢張驛遞……遞信省ガ致シマスルト同シヤウニ、受付ト遞送ト配達ト三業ヲ兼ネテ居ルノデアリマス、デ併シ運送業ヲナスモノデゴザリマシテモ、鐵道ヤ汽船ノ通シテ居リマス所ハ、此鐵道汽船ノ遞送ノ事業ハ任シテ自ラ爲サナイノガ通常デアリマス、デ、ソレ故ニ鐵道ヤ汽船ノ通シテ居リマス所ニ於キマシテハ、此運送業ヲナス所ノ者モ矢張受付ト配達トミナシテ居リマス、宛モ遞信省ガ斯ノ如キ場合ニ於テハ、受付ト配達ヲナスヲミデアアルト同シコトデアリマス、故ニ斯ノ如キ場合ニ於テハ遞信省ト此運送業者トハ全然反對ノ地位ニ立ッテ居ルニ違ヒナイ、併ナガラ鐵道ト云フモノハドウ位日本ニアルト云フニ、千六百九十四哩デアリマス、デ日本ノ郵便線路ハドウ位デアルト云フニ、一万三千三百二十九里デアリマス、前申シマシタ鐵道ノ哩ヲ日本ノ里數ニ直シマスルト云フト六百九十二里デアリマス、郵便ノ行ク道ノ一万二千三百二十九里ト云フモノ、中カラ六百九十二里ト云フモノヲ引キマスルト、殘ガ一万零六百三十七里ト云フモノニナル、デ斯ノ如クデアリマスルカラ、遞信省ガ小包郵便ヲ取扱フト申シマシタ所ガ、鐵道ニ依ル場合ト云フモノハ誠ニ少イノデアリマス、ソレデ鐵道ノ無イ場合デアレバ、船ノアル所ハマダ勘定ヲ持ツテ參リマセンデシタガ……、デ鐵道ノ無イ所ト云フモノハ矢張運送業者ニ任シテ遞信ヲサセナケレバナリマセヌ、ソコデ此小包郵便ヲ實施スル段ニハ直段ガ安イ故ニ荷物ガ殖エルト云フコトヲ考ヘテ見マスルト云フト、此通運……運送業者ニ任セル所ノ遞信事業ト云フモノガ増シテ來ル次第デアリマス、ダカラ運送業者ハ受付ト配達ニ於テハ損ヲスルケレドモ、遞送ノ點ニ於テハ却テ遞信省ガ仲間ニナツテ働イタガタメニ、此點ノ收入ハ殖エルト云フコトニナル、故ニソレハ前ニモ申シタ通、遞信省ト同ジ商賣ヲナス所ノ運送業者ト云フ者ノ害ヲナスコトハ、或ハ其利益ヲ減ラスコトハ或ハ免レヌデアリマセウケレドモ、唯今申ス通格別ノコトハナ

イノデアリマス、デ、サテ斯ク申シテ置キマシテ其加藤君ノ御質問ニナリマシタル重量容積ノコトニ移リマス、デ、是ハ勅令ヲ以テ定メルノデアリマス、勿論言フマデモナク勅令ニシマスルマデニハ、色々法制局モ經マシ、愈々御裁可ニナリマス迄ハ如何ナル變化ヲナスカ分リマセヌ、ケレドモ先ヅ主務省ニ於テ見込ヲ立テ、居リマスル所ハ、二尺立方マデヲ送り、目方デ一貫五百目マデヲ送ル位ナ積デアリマス、是丈ノモノヲ逓信省ニ於テ小包郵便トシテ取扱フコトニナリマスレバ、前申ス通り逓運業者ニ影響ヲナスハ知レタコトデアリ、ナレドモ此便利ハ一己ノ會社一己ノ私人ノ便利ヲ損フノミデアリマシテ、之ヲ全國邊鄙ニ至ルマデノ正業者ノ得ル所ノ利益ニ較ベテ見タラバ、決シテ其比較ヲ——比較トナルベキコトデハナイ、況ヤ其運送業者ヲ害スル所ノ事タル、私ノ縷々申シタル如ク思フ程デ無キニ於テヤ、デ唯今申ス次第デアリマス、本院デモ貴族院ノ知ク大多數ヲ以テ本案ヲ可決セラレムコトヲ希望シマス

○加藤政之助君(百二十七番) 尙ホ質問ヲ致シマス、唯今河津政府委員ハ私ノ質問ニ向ッテ大變長シシイ答辯ヲシマシタガ、私ハ此小包郵便法ヲ布イタルドンナ利益ガアルカ、ドンナ害ガアルカト云フコトヲ尋ネタノデハナイ、其利害ハ自ラ政府委員ノ説明ガナクテモ、議員トシテ判斷スル所ガアリマスカラ、其必要ハナイ、然ルニ長シシイ答辯ヲ甚ダ迷惑ニ思ヒマシタ、併ナガラソレハ別段デゴザリマスガ、尙ホ政府委員ノ唯今ノ答辯ニ依ッテ、モウ一ツ質問ヲ致シテ置カケレバナラヌコトガアル、政府委員ハ鐵道ノ無イ處ハ運送會社ニ委託シテ之ヲ任セル、鐵道ノアル處ハ鐵道會社ニ之ヲ任セルコトニナルカモ知レヌ、斯ウ云フコトデゴザリマスガ、其任セル方法ハドウスル積デアアルカ、一種ノ會社ニ逓信省ガ善イト見認メタラバ、ソレニ任セル積デアアルカ、各會社ニ區分シテ之ヲ任セル積デアアルカ、其邊ヲ參考ノタメニ尙ホ一應伺ヒタイ

○清水文二郎君(四十五番) 唯今ノ後藤逓信大臣ノ御演說ニ就イテ一寸質問ヲ致シマス、後藤逓信大臣ハ貴族院ノ修正ヲ以テ満足スルト云フコトヲ言ハレマシタガ、果シテ然リトセバ政府デ拵ヘタ案ヨリ貴族院デ修正シタモノ、方ガ、完備シタモノデアアルカ、然ラバ政府デ拵ヘタ案ハ不完全ニ當ルモノデアアルカ、全ク左様デアアルカ、確メテ置キタイ

(無用々々ト呼ブ者アリ)

○矢島八郎君(二百四十番) 大抵分リマシタガ、尙ホ少シ質問ヲ致シマス、今加藤君ノ質問ニ御答ニナリマシタ重量ノ一貫五百目マデトカ云フコトガアリマスガ、郵便料ハ之ニ對シテ何程、ソレカラ今ノ郵便ノヤウニ平均ノ方法ヲ用ヒラル、カ、或ハ遠近ニ依ッテ等差ヲ立テラル、カト云フコト、ソレカラ此本條例ニ郵便料トアリマスガ、通常ノ郵便條例ニハ郵便稅トシテアリマスガ、此稅ト料トニハ何カ少シ意味ノ異ナルコトガアルノデアリマス、ソレカラ郵便料保險料ノ事ハドウ云フ割合ニナリマス、其標準ヲ承リタイ、ソレカラ其詰リ收入支出ニ關スルモノデアリマス、之ヲ實行致シマス、初年度ハ手數料ハドウ位アリマス、其收入ハ幾許アルカ、其經費ハ幾許デアアルカ、或ハ郵便小切手ヲ取扱ハセマスル箇所ハ、俄ニ全國洽ネク開ク譯デアハゴザリマス、其箇所ハドウ云フ要地ヘ差向イテ開クノデアリマス、ソレカラ遞送方ハ信書ノ如キ方法ヲ以テ遞送サセルカ、或ハ他ノ營業者ヲ見

立、逓信省ノ監督ノ下ニ於テ遞送ヲ受負ハセルト云フコトデアリマス、其邊ヲ尙ホ御説明ヲ願ヒマス

(政府委員逓信次官河津祐之君演壇ニ登ル)

○政府委員(河津祐之君) 百二十七番ノ御問ニ第一ニ答ヘマス、是ハ或ニ會社ニ一手ニ任セルカ、或ハ善イ會社ト看タノニ任セルカト云フ、斯ウ云フ御尋ノ様ニ聽キマシタガ……

○加藤政之助君(百二十七番) エー、區分ヲ定メテ幾ツモ會社ニ任セルノカト云フノデス

○政府委員(河津祐之君) 唯今ドウスルト云フコトヲ御答スルコトハ出來マセヌ、ケレドモ區分ヲ定メテ運送サセマシタ方ガ會社及逓信省ノ便利デアアルト云フコトデゴザリマス、サウ云フコトニ致シマス、必シモ全國一様ノ會社ニ之ヲサセバナラヌト云フコトハナイ、現ニ今日デモ遞送ヲ致シマスルノニ、一手ノ會社ニ遣ラヌト云フコトデハナイ、各地々々色々ニ爲ッテ居ル譯デゴザリマス、矢張小包郵便法ヲ實行致シマシテモ、其土地ノ都合等ニ依ッテ定メルコトデアラウト思フ、ソレカラ何番カノ御尋デシタガ、郵便料ノ料ノ字ハ惡イト云フコトデ……

○矢島八郎君(二百四十番) 惡イト云フノデナイ、料ト稅ノ區別ハアルカト聽クノデアアル

○政府委員(河津祐之君) 區別ハナイ、ナゼ郵便料トシタカト云フニ、矢張郵便稅ト唯今ノ法律ハナッテ居リマス、ケレドモ郵便稅ト云フモノハ寧ロ郵便ノ手數料デアアル、行政ノ手數料デアアル、故ニ郵便料トシタ方ガ今ノ信書ノ郵便稅ニシテモ至當デアルト云フ考デアアル、故ニ今新ニ設クル所ノ郵便料デアリマス、故ニ小包郵便料デアリマス、故ニ郵便料ト名ヲ換ヘタ丈ノ話、イヤ料ノ字ガ惡ケレバ稅トシテモ善イ、格別ノ事デハナイ、其郵便料ハ郵便料ニ付イテハ大ニ御話シナケレバナラヌコトガアルノデアリマス、此政府ガ此郵便ヲ自ラ執ッテ爲スニ當リマシテ、第一ニ此貴シトスル所ノ事ハ何デアアルカト云フニ、全國均一ニスルト云フコトデアアル、均一ノ賃錢ヲ以テ往クト云フノガ、モウゴク政府ガ郵便事業ヲ爲スニ貴ブ所ノ事デアアル、ソレ故ニ我邦ニ於キマシテモ初リハ信書ニ付イテモ市内市外等ノ區別ガアリ、又ハ持込料ト云フモノヲ取ッタカラシテ、郵便料均一デハナカッタノデアリマス、ケレドモ是ガ追々整頓スルニ至リマシテハ、唯今ノ如ク全國一様ノ賃錢トナリマシタデ、小包郵便ニ於キマシテモ矢張均一ニスルノガ政府ノ望デアアル、望ナレドモ中々急ニサウ云フ譯ニ往キマセヌカラ、矢張此信書ヲ徐々ニ均一ナル賃錢ト爲シタルガ如ク、小包郵便モ矢張除キニ均一ノ道ニ運ンデ來ル積デアアル、デ先ヅ是モ勅令デ極マルコトデゴザリマス、豫メ御約束スルコトハ出來マセヌケ、レドモ主務省ニ於テハ段々此遠近ト目方トニ依ッテ等差ヲ立ッテ居リマス、其表ガ出來テ居リマスガ、之ヲ御話スルノハ甚ダ(大岡育造君簡單ニ願ヒマセウ)ソレデスカラ、上下ト丈ヲ御話シタル宜カラウト思ヒマス、二百目迄ヲ二十里迄ニ送ル、——二十里迄運送スルノガ六錢、四十里迄ガ七錢、六十里迄ガ八錢、八十里迄ガ九錢、百里迄ガ十錢、二百里迄ガ十四錢、三百里迄ガ十八錢、三百里以外ハ二十一錢、多イ所デ一貫二百五十目以上ハ一貫五百目迄ヲ二十里ニ送ルノガ二十錢、四十里ガ二十七錢、——少シ蠶蠟イノヲ省キマシテ百里迄ガ五十錢、二

百里迄ガ六十五錢、三百里迄ガ八十四錢、三百里以外ハ九十三錢ト極メマシテハアリマスガ、是デハ高イ様デアリマスカラ、愈々勅令ノ出マス迄ニハモウ少シ安クスルカモ知レマセヌ、——ソレカラマダ何カ御尋ニナツタコトガアリマスカ

○矢島八郎君(二百四十番) 保險料

○政府委員(河津祐之君) 保險料ハ六錢、先ヅドノ物デモ六錢トシテ、別ニ其價格ニ對シマシテ金一圓迄ヲ一錢、ソレカラ段々一錢、——一圓毎ニ一錢ツ、上ルコトニシヤウト云フ考デアル

○矢島八郎君(二百四十番) 六錢ト云フノハ……

○政府委員(河津祐之君) 書留メ代ガ六錢、ソレト——六錢ト一錢、——一圓迄ハ六錢ト一錢取ルダカラ七錢

○矢島八郎君(二百四十番) 六錢ハ書留賃デスカ

○政府委員(河津祐之君) サウデス、詰リ保險料郵便料ノ外ニ六錢ヲ出シテ書留メテ置イテ貰ヒ、若シソレガ無クナツタトキハ賠償スル、——其價迄ハ賠償スル、ソレカラ遞信大臣ガ貴族院ノ修正ニ満足スルツ云フタガ、政府ノ案ハソレデハ惡ルカッタカト云フ、ソレハ貴族院修正ノ方ガ宜カッタニ相違ナイ、故ニ満足セラレタモノニ相違ナイト云フヨリ外ニ御答ハナイト思ヒマス

○加藤政之助君(百三十七番) 一寸確メタイコトガアル

○矢島八郎君(二百四十番) マダアリマス、收入支出ト取扱ノ箇所、ソレト小包郵便ヲ遞送スルニハ信書ト同ジ物ニシテ送ルノカ、別ニ特殊ノ方法ヲ設ケルノカ

○政府委員(河津祐之君) ソレハマダヤツテ見ナイノデスカラ分リマセヌガ、信書ノヤウニ袋ヘ入レテヤルト云フヤウナ譯ニハ參リマセヌ、二尺立方モアル物ヲ送ルノデアリマスカラ、孰レ鐵道ノ車ヲ買切ルトカ、又大ニ車力ヲ雇ッテヤルトカシナケレバナリマセヌガ、前申シマシタ通大抵ハ通運業者ニヤラセル積デアアル、田舎ニ送ル小サイ荷物ヲ一ツカ三ツ送ルノハ信書ト一緒ニ持ッテヤルカ知レマセヌガ、大キナ物ヲ取扱フノデアリマスカラ、自ラ信書ヲ取扱フノトハ異ナルト思ヒマス

○矢島八郎君(二百四十番) ソレカラ收入支出

○政府委員(河津祐之君) 收入支出ト云フコトモ、今迄爲シタル所ノ仕事デハナイ、此十月一日カラ試ニ出スノデゴザイマスカラ、全クノ豫算ノ外知リマセヌガ、ソレヲ御話致シマスカ

(宜ウゴザイマスと呼ブ者アリ)

○政府委員(河津祐之君) 二十五年年度即チ本年度デ二十六萬八千五百九十二圓三十六錢七厘支出ノ要ル見込デス、ソレカラ收入ハ本年度ニ於テハ六萬三千五百四十八圓十五錢這入ル積デアアル、何故ニ斯ノ通収支相償ハナイカト云フニ、是ハ創業デアリマスカラ、色々車ヲ造ルトカ、建増スルトカ、其外机ヲ買フトカ色々ノ支出ガアリマスカラ、本年度ニ於テハ支出ノ方ガ多イ、併シ是ハ想像ノ豫算ニ過ギナイ

○矢島八郎君(二百四十番) 場所ハ

○政府委員(河津祐之君) 場所ハ先ツ師團ノアル所、旅團ノアル所、營所ノアル所、府縣廳ノアル所、一二等郵便電信局ノアル所、鎮守府所在地、其他必要ナル繁華ナル市街ニ建テ、サウシテ追進ンデ行クト云フ見込デアリマス

○清水文二郎君(四十五番) 此第十二條ニ在リマス貳圓ノ貳ノ字ト貳拾圓以下ノ貳ト拾ノ字ヲ同ジ文字デアツテ、其字ヲ變ヘタノハドウ云フ譯カ、(笑聲起ル)其事ハ貴族院デシタコトヲ政府ガ宜イト云フコトデアレバ……

○政府委員(河津祐之君) 是ハ刑法等ニハドチラデモ宜イノデセウガ、會計法ハ六ケシイ字デ、法律ハヤサシイノヲ書クノガ大抵例デゴザイマス、ソレヲ行政官ガマカッテ貴族院ガ修正シタノデアリマス

○大垣兵次君(二百七十八番) 質問モ有リ難ウゴザイマシテ、一時間程拜聴致シマシタガ、是ハ到底ニ委員ニ付託スルモノデアリマスカラ、其節十分河津サンニモ御答ニナルガ宜シイ、又尋ネル方モ其時ニシテ筆記録ニデモナレバ誠ニ有リ難イ仕合デゴザイマス、ドウゾ質問ハ其時ニスル様ニ願ヒマス

○加藤政之助君(百三十七番) 一寸私ガ聽キタイト云フノハ、先刻政府委員カラ説明ガアリマシタガ、其説明ニ依レバ此全國ヨ各會社ニ委セルカ、但シ一手ニ委セルカ、ソレハ目的ガ未定デアアル、唯遞信省ノ御都合デ孰ニスルカ知レナイト云フコトデアリマシタガ、左様デ宜シウゴザイマスカ

○政府委員(河津祐之君) 都合デ宜シイト云フト言葉ガ惡イ意味ヲ以テ聞エテハ惡ルウゴザイマスガ、正確デアアル、——此會社ニ委セルバ正確デアアル、賃錢モ安イト云フコトデアレバ、ソレニサセルガ、豫メドノ會社ニヤラセルノ、多勢ニヤラセルノト云フコトハ、出來ナイト云フコトヲ申シタ積デアリマス

○議長(星亨君) モウ大抵質問モ終ッタヤウデゴザイマスカラ、本日ノ議事日程ノ第二ニ移ル積デゴザリマス

第二 小包郵便法案ノ審査ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉

○金井貢君(百二十二番) 是ハ特別委員ノ選舉ノ件デゴザイマスガ、例ニ依リマシテ各部ヲ通算シテ九名ノ委員ヲ設ケルト云フコトニ致シタイ

(贊成々々ノ聲起ル)

○有友正親君(百七十三番) 私ハ是ハ議長ノ特選デ宜シイト思ヒマス

(贊成々々ノ聲起ル)

(異議ナシト呼ブ者アリ)

○議長ノ特選ヲ贊成スト呼ブ者アリ

○渡邊洪基君(四十一番) 是ハ矢張ドウモ例ニ依ッテ各部デ選ンデ通算スルガ宜シイ、政府案デハアルシ能ク注意ヲ……

(贊成々々ト呼ブ者アリ)

(無用々々ト呼ブ者アリ)

○議長(星亨君) 例ニ依ッテ議長ニ指名ヲ託スルヤ否ヤト云フ方カラ決ヲ採ラウト思ヒマス、即チ議長ノ指名ニ託スルト云フコトノ動議ガ出テ居リマスカラ、之ニ贊成ノ諸君ハ起立

起立者 少數

起立者 少數

議長(星亨君) 少數ト認メマス

(多數ダト呼ブ者アリ)

○議長(星亨君) 太田實君點呼トナルト面倒ダカラ止シ給ヘト呼ブ

○議長(星亨君) サウスレバ百二十二番、——百二十二番ノ説ハ各部デ九名ノ委員ヲ選ンデ通算スルト云フ、之ニ贊成ノ諸君ハ起立ナサイ

起立者 多數

○議長(星亨君) 多數ト認メマス、即チ一名ヅ、九名ノ委員ヲ御選ニナルヤウニ……是ヨリ議事日程ノ第三登記法改正法案ニ移リマス

第三 登記法改正案 第一讀會ノ續(特別委員)

○佐々木松坪君(五十五番) 報道ヲ致シマス
○議長(星亨君) 宜シ

(佐々木松坪君演壇ニ登ル)

○佐々木松坪君(五十五番) 先般登記法改正案ヲ付託サレマシタ、委員會ノ報道ヲ致ス積デアリマスガ、其前ニ當ツテ一寸此報告ノ——此案ノ末條ニ繼續委員ヲ設ケテ、之ヲ付託セシメコトニ決議スルト云フコトニ就イテハ、或ハ文ノ意ヲ害スルコトガアルカモ知レナイカラ、一寸申述ベテ置キマスルガ、是ハ委員會ニ於キマシテ、此登記法改正案ヲ繼續委員ニ任セタイト云フノ意ヲ決議シタト云フコトヲ報告案ニ書キマシタコトデアリマスカラ、此事ヲ一寸一言致シテ置キマス

此登記法改正法案ハ野田君及佐々木田君外二名ヨリ提出ニナリマシタ所ノ兩案ヲ付託サレマシタデ、其經過ト結果ヲ御報道致ス積デアリマスガ、此事ハ經過ヲ少シク精シク述ベマセンケレバ御了解ニナリマセヌデアラウト考ヘマスデアリマスカラ、經過上ノ事ニ就イテハ少シク精シク述ベル積デアリマス、當初五月二十五日議長ノ通達ニ依リマシテ、始テ委員ノ會同ヲ致シマシテ、例ニ依リマシテ委員長及理事ヲ選舉致シマシタデアリマス、次デ翌日即チ本案ニ對スル大體ノ方針ト云フモノヲ評議致シマシタデアリマスルガ、エー何分是迄ノ登記所ニ致シマスレバ、千……二千九箇所ノ登記所デアラ、大ニ其區域ガ廣濶ニ過ギマシテ、人民ガ大ニ困ムト云フコトカラ、兩案共ニ即チ市區町村役場ニ此事ヲ移シタイト云フノ大體ノ方針デアリマス、然ルニ政府委員ハ大ニ之ヲ不可ナリトシテ、反對致サレマシタノデ、其理由ハ登記事務ヲ市區町村長ニ取扱ハシムルコトデアリマシタノデ、先ツ以テ多數ノ登記吏員ガ出來ルノデ、其數凡ソ一万二千七百餘箇所ニナルノデ、爲ニ司法部ニ於テ到底監督ノ責ニ當ルコトハ出來ナイ云フ事、又提出者ニ於キマシテモ此兩案ニ對シテハ十月一日若クハ十一月一日ヨリ直チニ施行スルト云フノ提出者ノ意見デアリマスガ、即チ會計年度ノ半ニ於テ此改正ヲ致スコトニ致シテハ經費ノ點ニ就イテモ不都合デアアル、亦改正案ノ如ク致スコトキニハ、第一條ニ未タ實施前ナル所ノ民法上ノ事柄ヲ幾分カ結ビ込メシテ、其事項ヲ加フルト云フコトニシマスレバ、此間登記法ヲ以テ未ダ實施ニナラザル所ノ民法ノ一部分ヲモ施行スルト云フコトニナルノデ、此法文ヲ持込ムニ附イテハ、ソレ丈ノ手續ヲ致サナケレバナラス、亦準備モ致サナケレバナラヌコトデアアルノデ、旁々其準備ガ出來得ザルコトデアアル、況ヤ又此細則手續ニ付イテハ司法大臣之ヲ定ムトアツテ見レバ、其細則ヲ拵フニモ中々容易ナラヌコトデアアルト、斯ウ云フ大要此三點位ノコトデアリマシタガ、然レドモ委員會ハ此反對アルニモ拘ラズ、即チ改正案ノ見込ノ通、此登記ノ取扱ト云フモノハ、市區町村役場ニ之ヲ取扱ハシム、此監督ハ司法部ニ屬セシムルト云フコトニ全會一致ヲ以テ、先ヅ大方針ヲ可決致シマシタデアリマス、然ルニ續キマシテ尙ホ其上一條ノ明文ヲ議スルニ當リマシテ、何分民法上ノ規定

ニ關スルノ點ガ多イデアリマスルノデ、之ヲ修正スルト云フ點ニ就キマシテハ隨分議論モ沸キマシタコトデ、詰リ是ハ本法ノ大體ヲ作ルノデアアルカラ、最モ鄭重ニ致シタイト云フノデ、委員中ニ尙ホ委員ヲ設ケテ、此第一條ノ明文ヲ立派ニ修正致シタイト云フノデ、即チ委員ヲ設ケテ數日間ノ猶豫ヲ與ヘテ、其日限中ニ委員ニ是ヲ法文ヲ作ラシムルコトニナリマシタ、然ルニ去月三十日其明文モ成立チマシタカラ、更ニ再會ヲ致シマシテ、審査ヲ遂ゲマシタガ尙ホ先刻以來申述ベタ如ク、法典ノ關係カラシテ何分此事ガ決議ニ至リ兼ネテ居リマス、其要點ヲ舉ゲマスレバ、三議ニ分レマシタ、第一ニハ斯ノ如キ單獨ノ法案ニ一々民法上ノ明文ヲ持込ムト云フノハ、却テ手數モ掛ルカラ、兎モ角モ先刻申述ベタ如ク、委員會ノ決議ヲ以テ市區町村役場ニ扱ハスルト云フコトデ、司法部ニ之ヲ監督セシムルト云フ、此二ツノ要點式ヲ以テカラニ、本案ヲ審査スルト云フコトニ致シタイ、他日民法商法ノ施行ニ至ツテ缺ケタ處ガ出來タトキハ、之ヲ修正スルモ可ナリト云フ説ト、第二ハ今日會期切迫ノ折柄、時日ヲ費シテ審査致シテモ、法典實施ノ曉ニ至ツテハ、更ニ改正シナケレバナラヌデアアル、然ルニ本案ハ初期議會以來本法ノ制定ノ不完全ナル、又登記請求者ノ不便ナルタメニ、初期議會以來度々提出サレデアリマス、ケレドモ委員會中ニ會期ヲ經過シ、或ハ解散ニ際シテ今迄止ムヲ得ズ行レヌノハ遺憾デアリカラ、之ヲ唯今委員會ニ於テ十分ニ審査ヲ遂ゲルト云フデモ、中々容易ニ出來ルコトデナイカラ、ドウカ來期即チ十一月ノ會期マデニ、完全ナル此法案ヲ作ツテ實行致シタイト云フノデ、第三ニハ即チ其修正ノ出來マシタ一條ノ明文ヲ以テ、不十分ナガラ此事ニ修正ヲ加ヘテ、今ヨリ實施シタイト云フ三説ニ分レマシタガ、第一ノ説ヲ起立ニ問フテ見マシタ所ガ、僅カニ一名ノ少數ヲ消滅シマシタ、故ニ已ムヲ得ズ第二説ニ向ツテ採決致シマシタ、處ガ報告案ニ書イテ置キマシタ通、過半數ノ意見トナリマシタデアリマス、故ニ第三説ハ少數ナル意見トナツタデアリマス、斯ノ如キ經過デアリマスルデ、已ムヲ得ズ此報道ヲ致シマシタ所以デアリマス、併シ此案ニ對シマシテ委員ガ不深切ニモ冷淡ニ打過ギタト云フコトデアハナイノデア、已ムヲ得ザルニ出テタデアリマス、ドウカ此案ヲ助ケテ將來速ニ施行シタイト云フ念慮カラ、茲ニ至リマシタノデアリマス、ソレデ此旨趣ヲ貫徹セシメント云フコトニ熱中スルノ餘リ、此事ヲ明ニセンタメニ、私ノ考ヲモ幾分カ併セテ茲ニ一應辯明致シテ置キタイと思フデアリマス、抑々現行ノ地所建物船舶ノ登記法ハ、去ル明治十九年八月法律第一號ヲ以テ發布シテ以來、別ニ地券ト云フ法モアリマシタデ、此登記ヲ請求シ、或ハ登記ニ對シテ地券書換ト云フニ至ル迄ノ間ニ要シマス手數ハ容易ナラザル手數デアリマシタ、其登記請求、地券書換ニ至ル迄ノ書類ノ數ヲ調ベテ見マスと云フト、銘銘ノ扣ヲ合セテ三十餘通ノ書類ト數多ノ日子ヲ費サナケレバナラヌト云フノデアリマスガ、其後政府ハ二十一年追加改正ヲシテ地券ヲ廢シ、質入書入等ニ至ルモノハ、必ス登記ヲ經ナケレバナラヌト云フ旨ヲ規定サレマシタ、私ガ聞ク所ニ依リマスレバ、當時即チ立法部タル元老院ニ於テハ、此追加改正案ニ反對ヲセラレテ、既ニ否決ノ上奏ヲ致サレタニ拘ラズ、政府ハ斷行シテ悍カラヌト云フ結果ニ至リマシタ、最モ其改正ノ所以ハ登記料ヲ印紙ヲ貼用

スルトカ、或ハ戸長ノ證明ヲ加ヘナイト云フコトデアリマスガ、事實ハ尙ホ戸長ノ證明ヲモ請ハナケレバナラヌト云フコトハアルノデ、ナゼカト云フニ登記所ニ於キマシテハ、臺帳ト云フモノガナイノデアリマスカラ、詰リ證明ト云フモノヲ以テ證明サナケレバナラヌト云フコトニナルノデアリマス、ウレデ我々ハ先キニ少シ餘派ニ涉ルカ知レマセヌケレドモ、少シク私ノ經過ノ事ヲ御話シタイト思フノデアリマスガ、明治二十一年ニ於テ斯ノ如キ手數ナ登記ハ其繁雜ナル手續ヲ要スルノデ、甚ダ人民ガ憂ヘテ居リマスカラ、ドウカ日本ニハ地券ト云フモノガ是迄無上ノ所有權ト云フモノヲ持ッテ居リマスコトデアリマスカラ、其地券ヲ復スルコトニ致シマシテ、登記ノコトハ其土地ニ對シテハ致サヌ様ニナリタイト云フ考デゴザリマシテ、不肖ナガラ其折ニ建白モ致シマシタ様ナコトモゴザイマシタガ、其旨趣ハ即チ地券ヲ恢復シテ質入書入ニ至リマシテハ、地券ヲ以テ一種ノ株券ノ類ニシタラ、大ニ手數ヲ省キテ宜シイト云フ事、及登記ノ料ヲ納ムルニ附キマシテハ、印紙貼用ノ制ヲ用ヒマシタラ宜カラウト云フコトヲ建議致シマシタガ、ウレニモ拘ラズ詰リ此……

○佐々田懋君(百九十二番)

唯今ノハ委員長ノ資格ノ報道デスカ

○佐々木坪松君(五十五番)

唯今御斷シタ通、併セテ私ノ是迄經過シタコトヲ……

○議長(星君) ツレナラバ通告ガアルカラ、別ニシナイトイケマセヌ
○佐々木坪松君(五十五番) ツコデ唯今申述べタノハ止メマスデアリマス
ルガ、依ッテ之ヲ改正シテ土地臺帳ヲ有スル所ノ各市區町村役場ニ登記事務ヲ扱ハシムルト云フコトニ至リマシテハ、最モ其當ヲ得タルモノト確信致シマシテ、政府委員ガ嚴シク反對シテハ、ニモ拘ラス、全會一致ヲ以テカ
ラニ此兩案ノ趣旨ヲ採ッテ、決議致シタ所以デアリマス、ケレドモ何分ニモ
前申述べタ通ノ關係ノ大ナルコトガアツテ、遂ニ十分ノ審査ヲ數日ノ間ニ
爲スト云フコトハ出來ナイノデ、止ムヲ得ズ今日ノ報告ヲ致スト云フ結果ニ
ナリマシタノデアリマス、尙ホ此點ニ就キマシテハ關君或ハ丸山名政君ヨ
リ委シク申述べルコトモアル筈デスカ、本員ハ是丈ノ報道ヲ致シマス

○佐々田懋君(百九十二番) 一寸御尋スルノハ、唯今委員長ノ演説ハ大變長
イ演説デアツテ、ドウ云フコトカ少シ隔ッテ居リマシテ聞苦シイコトモアツ
タデスカ、要スルニ此繼續委員ヲ設ケテ委託スルト云フコトニナツタト書イ
テアル通デアラウト思フ、處ガ本會ニ於テ此委員ヲ選ンダノハ、之ヲ調査セ
シムルト云フ積デアツテ、繼續委員ヲ設ケルコトハ、之ヲ調査セ
依ッテタルト云フ御見込デアリマス、議院法ノ二十五條ニ依リマス、
又ハ繼續委員ナルモノハ、議案ノ審査ヲ致ス際ニ爲シ盡サレナイタメニ政府
又ハ議會ノ意見ヲ以テヤル、併シ唯今ノ所デハ審査ハシナイ、審査ハ一向シナ
イ、唯出來ナイト云フ見込デアアル、其見込ヲ以テ委員ニ託スルト云フノハ、
大變委員會ハ權限外ノコトヲシテ居ル、サウシテハ閉會ノ間マデニ、
閉會ノ日限ニデモ掛ッテ審査ヲシテ、其上デ出來ナイト云フコトナラバ、兎
モ角唯今ノ所デハ一向審査ニ著手シナイ、是ハ容易ニ出來ナカラウカラ、繼
續委員ヲ設ケルト云フノハ、我々ノ委託シテ居ル職務ヲ盡シタモノデナカラ

ウト思フ

○佐々木坪松君(九十五番)

百九十二番ノ御質問ニ答ヘマスガ、即チ後段ニ
御述べノ通デ、詰リ此場合ニ至ッテ閉會ノ期モ近接ニナツテ居ル所デ、審査ヲ
盡セナイト云フコトガ委員會ノ決議デアツタノデアリマス

○野出鎭三郎君(四十九番) 一寸委員長ガ報告ガ濟ミマシタナラバ、少數ノ
意見ヲ述ベタイ、——長イコトデハナイ、一寸シタコトヲ述ベテ置キタイ
(小西甚之助君演壇ニ登ル)

○小西甚之助君(二百八十八番)

私ハ唯今委員長ガ報告セラレマシタコトニ
就イテ、緊急ノ動議ヲ提出致サウト云フノデ、此演壇ニ登ッタノデゴザイマ
ス、ウレニ此緊急動議ノ由ッテ起ル一部分ハ、唯今百九十二番ガ其端緒ヲ啓
イタノデアアル、是レ私ノ夙ニ同感ノ所デゴザイマス、此登記法改正案審査ノ
タメニ繼續委員ヲ設ケヤウトスル決議ハ、第一ハ議院法ノ第二十五條ニ違反
シテ委員ヲ舉ゲヤウトスル報告デアアル、第二ハ衆議院規則ノ第二十五條ニ
違反シテ議院ノ付託シタル事件ノ外ニ涉リタル所ノ決議デアアル、私ハ此理由
ヲ詳ニ述ベマスガ、第一此委員ガ繼續委員ヲ設ケヤウトスルモノハ、別ニ新
ニ設ケルト云フノ意思デアルト云フコトハ、報告書ノ理由ニ書イテアルノデ
ゴザイマス、即チ本案ノ精神ヲ貫徹シ、民法ノ條項ニ參酌シ、完備セル登記
法ヲ編制シヤウトスルニハ、專門家ノ力ヲ藉ラナケレバナラナイ、サウシテ此
專門家ノ力ヲ藉ラウトスルニハ、繼續委員ヲ設ケナケレバナラナイトアル、
即チ此專門家ノ力ヲ藉ラウトスルニハ、此理由ノ上カラ考ヘテモ、
別ニ委員ヲ設ケヤウト云フコトデアアル、成程議院法ノ第二十五條ニ依リマス
ルト云フト、議會閉會ノ間ニ於テ委員ヲシテ議案ノ審査ヲ繼續セシメ得ル
ト云フノ規定ハアルノデゴザイマス、然レドモ是ハ繼續委員トシテ別ニ設ケ
ルノデハナイ、既ニ定マツテアル所ノ委員ヲシテ其審査ヲ繼續セシメ得ル
マデノコトデゴザイマス、念ノタメ其法條ヲ朗讀致シマスガ、各議院ハ政
府ノ要求ニ依リ又ハ其ノ同意ヲ經テ議會閉會ノ間委員ヲシテ議案ノ審査ヲ繼
續セシムルコトヲ得、即チ是デアアル、若モ此法文中ニアル所ノ委員ナル者
ガ、——既ニ定メタル委員ガアルニモ拘ラス、更ニ別ニ設ケルト云フヤウナ解釋ヲ
致シマシタナラバ、實ニ此議會ヲ輕蔑シタル所ノ解シヤウト言ハナケレバナ
ラナイノデアアル、何トナレバ其事件ヲ審査セシムルタメニ選定シタル委員
ハ、一ニ適任ナリト認メタルニ依ルコトデアアル、決シテ審査ヲ繼續セシムル
ト否ヤトニ依ッテ、適否ノ岐ル、モノデハナイノデゴザイマス、然ルニ別ニ
改メテ委員ヲ選定スベシト云フヤウナコトニ解シマナラバ、取リモ直サズ最
初ノ選定ト云フモノハ不十分デアアル、瑕瑾ガアルト云フコトニ異ナラナイ所
ノ結果ヲ見ルノデアアル、故ニ私ハ飽迄テモ委員ヲ別ニ設ケルモノデハナイ、既
定ノ委員ニ唯其審査ヲ……繼續セシムル、所謂繼續委員ヲ言フノデアラウト
私ハ解スルノデゴザイマス、然ルニ別ニ繼續委員ヲ設ケヤウトスルノガ此
報告デアアル、是レ本員ガ此報告ガ議院法第二十五條ニ違反シテ居ルト云フ所
ゴザイマス

次ニ此委員ノ報告ハ衆議院規則ノ第二十五條ニモ違反シタト私ハ見ルノデア
ル、同條ニ依リマスルト言フト、委員ハ議院ノ付託シタル事件ノ外ニ涉ルコ
トヲ得ナイト規定シテ居ル、ウレニ此決議報告ナルモノハ果シテ付託外ノモ
ノデアアルカ、將タ付託内ノモノデアアルカト云フニ、凡ッ斯ノ如ク委員ヲシテ

議院法開會ノ間ニ於テ議案ノ審査ヲ繼續セシムルコト云フ様ナコトハ、議院全體ノ討論權ニ屬スルモノデアル、決シテ部分ナル所ノ委員ガ發スベキ問題デハナイ、ツレデモ若シ此ニ概括シタ所ノ取調方法等ヲ付託シテ審査セシムル場合ニ於テ、繼續委員ヲ置クノ宜カラウト云フ報告ヲ爲シテモ、ツレハ差支ナイ、或ハ又繼續委員ヲ置クノ可否ヲ付託シテ、審査セシムル場合ニ於テ、審査委員ヲ置クノ宜シト云フ報告ヲ爲スルノハ差支ナイノデアル、其ノ場合ニ於テハ決シテ斯ノ如キ意見ヲ發スベキモノデナイト私ハ信ズル所デゴザリマス、況ヤ又斯様ナ報告ノ如キハ議院法第二十五條ニ明ニ違反シタ所ヲナサウトスル決議デゴザリマス、豈之ヲ目シテ付託ノ外ニ涉ルト言ハズシテ何デゴザリマセウ、私ガ斯ク申シマスナラバ、或ハ又反對者ガ如何ナルコトヲ以テ攻撃スルカ分ラヌカラ、念ノタメ此ニ哨兵線ヲ張ツテ豫メ其攻撃ヲ拒ガウトスル者ガゴザリマス、反對者ハ或ハ疑フデゴザリマセウ、又斯ク言フデゴザリマセウ、委員ハ必ズ付託事件タル審査ヲ全ク審査スベキモノニ限ツタモノデナイト、若シ故障ガアツテ其審査ヲ成シ遂ゲラレナイナラバ、其成シ遂ゲラレナイ所ノ理由ヲ報告シテモ、亦報告デアル、必シモ付託セラレタコトハ審査シ得ナケレバナラヌト云フモノデハナイト、斯様ニ言フデアラウ、是ハ既ニ其査例モアルコトニシテ決シテ委託シタル事柄ハ審査仕遂ゲナケレバナラヌト云フモノニハ限ラナイモノデアル、第一期ノ議會ニ於テ議員ノ資格ニ就イテ異議ガ起ツテ、ソシテ其資格審査委員ナル者ヲ設ケテ、是ガ審査ヲ付託致シタルコトガアル、處ガ其委員ノ報告ニハ此議員ノ資格タル者ハ法定上ノ條件ヲ具備シテ居ルカ否ヤト云フコトヲ審査スルコトハ出來ルモノデアルガ、其付託サレタル委員ハ投票ノ有效無効ヲ判定スルコトハ如キハ、決シテ委員ノ權限デナイト、故ニ之ヲ審査スルコトガ出來ナイト云フテ、本會ニ突展シタコトガアル、即チ其先例ヨリ考ヘテ見テモ、必シモ付託シタル事柄ハ審査ヲ遂ゲナケレバナラヌモノデナイト云フコトハ明ナル事デアル、斯ク言ハス又反對者ハ言フデアリマセウ、然ラバ其先例ノ結果ト云フモノモ、審査スルコトガ出來ナイト云フテ突展シタモノデアル、又此報告ノ如キモ短日月ノ間ニ於テ完備ナル審査ハ出來ナイモノデアル、故ニ繼續委員ヲ設ケテ之ニ審査ヲ託サウト云フモノデアルカラ、其詰マル所ハ矢張審査シ能ハスト云フ結果ハ、前キノ資格審査委員ノ報告ト其義ヲ同シウスルモノデア

ル、然ラバ何モ構ハナイシヤナイカ、即チ審査スルコトノ出來ナイト云フコトニ過ギナイモノデアルト、斯様ニ言フカモ分ラナイ、私モ此報告案ガ斯様ナ事柄ナルガ故ニ、短日月ノ間ニ於テ完備ナル審査ヲ爲スコトガ出來ナイト云フテ、衝戻スガ此報告ノ主眼ナラバ、決シテ故障ハ言ハナイノデアル、然レドモ此報告ノ主眼ト云フモノハ審査シ能ハヌト云フコトガ主眼デナクテ、繼續委員ヲ設ケ様ト云フノガ主眼デアル、サウシテ審査シ能ハナイト云フコトハ、却テ其理由書ノ中ニ含マレテ居ルニ過ギナイノデアリマス、全ク主客ヲ轉倒シタルモノト言ハナケレバナラヌ、是レ私ガ全ク付託外ナルコトヲ斷言スルニ躊躇シナイモノデアリマス

以上述べマシタル如キ理由デゴザリマスカラ、私ハ此報告ハ第一ハ議院法ノ第二十五條ニ違反シテ事ヲ爲サウトスル報告デアル、第二ハ衆議院規則第二十五條ニ違反シタル所ノモノデアルト考ヘマス、ソコデ此報告ハ一應其委員ニ返附シテ適當ナル報告ヲ爲サシメ様トスルノ勸議ヲ提出致シマスノデゴザ

リマス、幸ニ諸君ノ贊成ヲ得テ之ガ緊急動議ノ成立センコトヲ希望致シマス

(贊成々々ト呼ブ者アリ)

○太田實君(百四十番) 議長——贊成デスガ

○議長(星亨君) 贊成ナラバ……

○野出鶴三郎君(四十九番) 議長

○議長(星亨君) 之ガ議題ト爲リマシタカラ

○野出鶴三郎君(四十九番) 議論ヲスルデハナイデス、ケレドモ一言少數者ノ……

○議長(星亨君) 緊急動議ガ出マシタカラ、其事ガ極ラヌ中ハ……、少數者ノ意見ヲ必ズ報告シナケレバナラヌト云フコトハナイ

○關直彦君(百十七番) 百十七番ハ反對ノ意見ヲ陳ベタイ、先キニナリマス

○丸山名政君(二百九十八番) 唯今ノ緊急動議ニ反對ノ意見ヲ陳ベマス

○議長(星亨君) 百四十番

(太田實君演壇ニ登ル)

○太田實君(百四十番) 私ハ唯今委員長ノ報告ニ對シテ反對ノ意見ヲ述べ様ト思フテ居ルコトハ、既ニ小西君ガ幾々陳ベラレマシタコト、略、同シデアリマスベカラ、其事ハ敢テ重複ニハ申シマセヌ、併ナガラ一應茲ニ反對ノ意思ヲ陳ベタルコトガ、甚ダ必要デアラウト思フ、先ツ此繼續委員ヲ置クト云フコトハ、唯今ノ小西君ガ陳ベラレタ通ノ理屈モアルシ、又其外ニ此經費ト云フコトニ關係シテ居リマス、此議院法ニ依ツテ見マサルシ、一日ニ五圓以下ノ手當ヲ給スルコトアル、サウスル一人前ガ丁度此會期カラ次ノ會期マデ百四十圓デス、少クモ此經費ト云フモノガ三四十圓掛ル、併シツレラノ事ハ置クカ置カヌカト云フ問題ノ外ニ置イテ宜シウゴザリマスケレドモ、イヤ、勘定ガ間違ヒマシタ、七百圓デスカラ、六千二百圓掛ルト云フコトハ確ナコトデアル、併シ此事ハ置クトカ置カヌトカナツタ時ニ云フヲ宜シウゴザリマス、ケレドモ此繼續委員ヲ置クトキハ必ズ六千兩ヤ一万兩ハ掛ルコトデアリマスカラ、此事ハ餘程鄭重ニ致サナケレバナリマセヌ、殊ニ民力休養歲出ヲ減ジナケレバナラヌトカ、汲々トシテ此經費ノ節減ヲ論ゼラル、諸君ハ、最モ注意致サルベキコト、思フ、僅ノ法律ヲイジツテ五圓ノ日當ヲ取ツテ、夏ノ涼ミヲ隅田川ニシヤウト云フ様ナ卑劣ノ御考ヲ以テ居ル御方ハアリマス、ケレドモ是等ノコトハ餘程注意ヲ要スルコト、思フ、隨分登記法一ツヲイヂツテ歳費ノ外ニ日當五兩宛取ツテカラ東京ニ滞在シテ居ルノハ、御都合ノ宜シイ話デアリマス、ケレドモ是等ノコトハ御互ニドウデス、一方ニ於テハ經費ヲ節減シナケレバナラヌ、一方ニ於テハ是ハ成ラヌ、アレハ成ラヌ、國家ノ費用ヲ節減シナケレバナラヌト言ヒナガラ、是等ノコトニ就イテ御歴ノ議員諸君ガ御前デ、ヤレ繼續委員トハ何事デアルカ、(無用々々)決シテ無用デナイト(鈴木萬次郎君誰モ贊成シヤシナイ)御默リナサイ、斯ウ云フ譯デア

ルカラ、是等ノコトニ就イテハ最モ鄭重ニ調査シナケレバナラヌ、併ナガラ其前ニ唯今小西君ガ出ラレテ、斯ノ如ク言ハレタカラ、先ツソレカラ決シナケレバナラヌ、萬一此ノ如キコトガアツタラ、大ニ破ラナケレバナラナイト云フコトヲ豫言スルノデアアル、故ニ小西君ガ唯今述べラレタノハ、斯ノ如キ越權、斯ノ如キ付託外ノ事項ノ報告ハ速ニ棄却スルト言ハレマシタガ、本員

ト云フコトアレバ、其通ニ御決定ニナレバ、其外既ニ少數者ノ御意見トシテ、第一條ヲ修正スルコト云フ意見モ出テ居ルノデアリマス、此等ノコトハ既ニ繼續委員ニ託スル必要ナク、又特別委員會デ更ニ之ガ審査ヲ繼續スル必要ハナイ、此理由書ニゴザイマス通、第一條ヲ左記ノ如ク修正スルヲ以テ足レリトスルコト云フコトヲ、少數者ノ御意見ガ提出ニナツテ居ルノデアアル、サウスレバ既ニ此問題ニ對シテハ委員會ニ於テハ繼續委員ヲ設ケテヤルト云フ説ト、少數者ノ御意見ノ通第一條ヲ此少數者ノ意見通修正スレバ、ソレデ最早審査スルノ必要ガナイト云フ、此二ツノ意見ガ此議場ニ顯レテ居ルノデアアルカラシテ、更ニ委員會ニ返付シテ貴様達ハ不法ナコトヲシテ、日本帝國ノ法律ニ違犯シテ審査シタノデアアルカラシテ、モウ一遍審査ヲ仕直セト云フ論ハ我々ハドウシテモ服従スルコトガ出來ナイ、全體私ハ此委員會ニ於テ先刻委員長カラモ御報告アリマシタ通、斯ウ云フ説ヲ出シマシタ、ドウモ此二ツノ案ヲ見テ見ルト云フト、第一條ニハ孰モ支分權トカ用益權トカ賃借權トカ永借權トカ云フ文字ガ書イテアツテ、頗ル民法ト全體關係ヲ持ッテ居ルノデアアル、而シテ此民法トドレ丈ノ關係ヲ持ッテ居ルカト云フコトヲ調ベテ見ルト云フト、茲ニ取調ベタモノガゴザイマスガ、登記法第一條ハ民法ト關係ヲ持ッテ居ル條項ガ民法ニハ數十條若クハ百何十條モアルノデアアル、孰モ登記ト云フモノニ關係ヲ持ッテ居ル、ソコデドウシテモ今日デアアルト云フト來年ノ一月一日カラシテ民法ヲ實施スルト云フコトニナツテ居ルガ、是ハ延期ノ法律案モ出テ居ツテ、ドウナルカ分ラヌガ、今日ハマダ可決セラレヌデ、延期ノ法律案ガ通過シナイ時ニ當ツテ見レバ、矢張來年ノ一月一日カラ此民法ヲ施行スルモノト假定シテ置カケレバナラヌ、見テ置カケレバナラヌ、サウスルト云フト民法ノ財產篇ニモ大變關係ヲ持ッテ居ル、財產取得篇ト云フモノニモ關係ヲ持ッテ居ル、債權擔保篇ト云フモノニモ關係ヲ持ッテ居ル、又商法ニモ關係ヲ持ッテ居ル、孰モ登記ヲシナケレバナラヌト云フコトニナツテ居ル、然ルニ現行登記法ヲ見テ見ルト云フト、唯單ニ地所建物船舶ノ買賣讓與書入質入ト云フゴク不完全ナル文字ヲ以テ包含シテ居ル、(問題外緊急動議ニ關係ナシト呼ブ者アリ) 緊急動議ニ關係ノナイコトハナイ、(委員會ノ意見ヲ吐クニ及バヌト呼ブ者アリ) 委員會ノ意見デハナイ、本員ガ發言權ヲ得テ居ル間ニ妨害ヲシナクテモ、ソレ故ニ私ハ之ヲ緊急動議トシテ茲ニ提出セラル、ノニ反對デアアルト云フコトヲ述ベルノデアアル、人ノ説ヲ能ク御聽ニナツテ居ルカラシテ、反對ヲ願ヒタイ、私ハ詰リ此登記法ト云フモノガサウ關係ヲ持ッテ居ルカラシテ、第一條第二條ト云フモノハ今日手ヲ付ケヌデ置カゲイット云フノデアアル、是ガ民法ガ實施ニナレバドウシテモ、モウ一遍民法ト參照シテ完全ナル登記法ヲ拵ヘナケレバナラヌ、又實施ニナラヌ延期ニナルトスレバ、完全ナル所有權トカ支分權トカ用益權トカ賃借權トカ永借權地上權トカ云フモノヲ書イタ所ガ、是ガ空文ニ屬シテ居ッテ實行スルコトハナイ、實行スル必要ガナイト云フコトニ爲ルノデアアルカラ、是モ無用デアアル、斷行スルコトシテモ、延期スルコトシテモ、詰リ此所ヘ斯ウ云フコトヲ僅ノ間ニ(無用ト呼ブ者アリ) 斯ウ云フコトヲ書ク必要ガナイカラ、イツ我々ガ目的トシテ居ル所ノ町村役場ニ託スルト云フコト丈ヲ、詰リ目的トシテ此登記法ノ改正ヲスレバ、短日月デアツテモ此會期內ニ於テ決了スルコトガ出來ヤウ、ソレ故ニ私ノ考デハ詰リ此第一條第二條ト

云フモノハ、民法ニ關係ヲ持ッテ居ルト云フコトハ改正ヲシナイデ手ヲ付ケズニ措イテ、民法ガ行ルレバ自然行レル條項ガアル、又其時ニハ細則モ出ル、特別ノ法モ出ルデアラウカラ、詰リ此登記法ト云フモノハ町村役場ニ託シテ、ソレカラ司法省ノ區裁判所ガ之ヲ監督スルト云フ單純ナ改正ヲスレバ、ソレハ二箇條カ三箇條カ改正スレバ、サウスルト云フ必要ハナイ、此處デ以テ直審查ヲ繼續セシムルトカ、再審査ヲサセルト云フ必要ハナイ、此處デ以テ直ニ委員會長ノ報告ガ不法ト云フコトデアレバ、之ヲ容レナケレバソレデモ、繼續委員ヲ置カヌト云フコト決シタナラバ、少數者ノ意見ガ出ルデアラウ、此少數者ノ意見ニ對シテ採否ヲ決シテ其少數者ノ意見ヲ採用スレバ、ソレニ從フテスレバ、我々ハ此少數者ノ意見ニハ反對ヲ述ベル積デアツテ、何デモ、三條カ四條……詰リ町村役場ニ託スルト云フコト丈ヲ改正スレバ人民ガ希望スル登記法ノ改正ノ精神ハ達シ得ラル、ノデアアル、決シテ地方ノ人民ハ此支分權トカ用益權トカ云フ様ナ字ヲ入レテ貰ヒタイト云フトヲ渴望シテ待ツテ居ルノデアアル、(簡單々々ト呼ブ者アリ) ソレ故ニ私モ一日モ(解リマシタト呼ブ者アリ) 早ク人民ノ熱望シテ居ルコトヲ達シシメヤウスルナレバ、サウス云フ面倒ナコトヲセズトモ無用ノ手數ヲサセズ、直ニ此議場ニ於テ特別委員長ノ報告ヲ取ルカ拾テルカト云フコトヲ決シテ、而シテ第二讀會ニ移ルガ最も至當ト考ヘマス

○立石寛司君(二十番) 討論終結ノ動議ヲ提出シマス

(贊成々々ト呼ブ者多シ)

○淺香克孝君(七十二番) 私ハ繼續委員ヲ排斥スル論デゴザイマスカラ、發言ヲ許サレルヤウニ願ヒマス

(討論終結ノ動議ガ出テ居リマスヨト呼ブ者アリ)

○議長(星亨君) アナタ通告ハ……

○淺香克孝君(七十二番) 私ハ通告ハシテゴザイマスガ、私ノハ委員ニ就イテノ通告デアハナイ

○議長(星亨君) 緊急動議ニ就イテ……

○淺香克孝君(七十二番) 少數者ノ意見ヲ提出スル際ニ當ツテハ……、(此時發言スル者多クシテ聽取スル能ハズ)

○議長(星亨君) 討論終局ノ動議ガ出テ贊成ガアレバ……、(贊成々々ト呼ブ者多シ) 即チ緊急動議ニ就イテ討論終結ノ動議ガ出テ贊成者ガアリマス、此動議ニ贊成ノ諸君ハ起立ナスツテ下サイ

起立者 多數

○議長(星亨君) 多數ト認メマス、依ツテ終結ヲ致シマシタ、直チニ決ヲ採リマセウ、即チ二百八十八番ノ説、本案ノ委員長ノ……、尙ホ本件ノ登記法改正法案ヲ更ニ再ビ委員會ニ付スルト云フ動議デスナ……、再ビ付スルト云フコトノ動議ニ贊成ノ方ハ起立ナスツテ下サイ

起立者 少數

(前ノ委員ヲ免職シテデスカト呼ブ者アリ)

(決議ヲ取直シ給ヘト呼ブ者アリ)

○議長(星亨君) 採リ直シマセヌ、(笑聲起ル) イヤ、モウ採リ直シマセヌ、ソレハ消滅致シマシタ

○野出鎬三郎君(四十九番) 議長一寸

○議長(星亨君) 四十九番ハ何カアリマスカ

○野出鎭三郎君(四十九番) 少數者ノ意見ヲ述ベテ置キタイ

○議長(星亨君) ソレナラ通告ノ順行ニ依ルノ外ハナイ

○野出鎭三郎君(四十九番) 是迄鐵道委員ノ時ニモ少數ノ意見ト云フモノハ

(差支ナシ宜シト呼ブ者アリ)

○議長(星亨君) 少數ノ意見ト云フモノハ、其時ニ述ベルコトニナツテ居リマセウ

(左様々々ト言フ者アリ差支ナシト呼ブ者アリ)

○議長(星亨君) ソレナラ宜シ

(野出鎭三郎君演壇ニ登ル)

○野出鎭三郎君(四十九番) 私ハ登記法改正審査特別委員ノ少數ノ意見丈ヲ御報告致スノデアリマス、此議論ノ事ニ就キマシテハ、孰レ私ハ通告シテアリマスカラ、反對論ガ出マシタナラバ、議論ヲ致ス積デゴザリマスガ、此少數ノ意見丈ヲ此ニ報告シテ置キマス、ソレニ就イテ先刻委員長ノ佐々木松坪君カ此委員會ノ結果ヲ御報告ニナリマシタガ、佐々木君ガ御報告ニ依ルト云フト、如何ニモ其委員會ノ決議ニ御同意ノ様ニ見エマス、ケレドモ佐々木松坪君一箇ハ決シテ御同意デハナイ、即チ我々少數者ト同一ノ意見ヲ持ッテ居ラル、ト云フコトヲ御承知ヲ願ヒタイ、此登記法改正案ニ對シテハ、既ニ少數ノ意見ノ事ハ活版ニ付シテ諸君ノ御手許ニゴザリマセウガ、其第一條ヲ議シマスル際ニ當リマシテ、終ニ異論ガ起ッテ繼續委員ヲ置クト云フ議論ガ起ッタメニ、此事ハ遂ニ全部ヲ議シ能ハズシテ仕舞ッタノデゴザリマス、ソレ故ニ第一條ト申スモノハ、曩ニモ佐々木松坪君ガ述ベラレマシタ如ク、委員ヨリ三名ノ委員ヲ選モノ、其三名ノ委員ガ第一條ハ斯ノ如ク修正スレバ相當デアルト云フコトヲ以テ、之ヲ委員會ニ呈シタノデアリマス、即チ第一條ノ修正ノ結果ニ依ッテ第二條以下ニ於テ尙ホ修正スベキモノガゴザリマス、ケレドモ終ニ第一條ヲ議スルニ當リテ繼續委員ヲ置クト云フ議論ノタメニ、第二條以下ヲ議スルコトガ出來ナイカラ、即チ少數者トシテ修正ノ意見ヲ貰クコトガ出來ナカッタノデアリマスデ、凡テ登記法改正案ニ就イテ主眼トシタ所ノ唯今ノ登記事務ヲ市町村役場ニ於テ取扱ハセルト云フ事、其監督ヲ區裁判所ニ於テサセルト云フ事ニ就イテハ、既ニ委員會ハ全會一致ヲ以テ可決シ、又孰モ主眼デゴザリマスカラ、孰モ希望シテ居ル所デゴザリマス、第一條ヲ最モ完全ナラシメルト云フコトニ就キ、色々ノ意見モゴザリマセウガ、先刻丸山君ガ述ベラレタル如ク、民法ノ關係ヲ圓滑ナラシメルニ就イテ、第一條ノ第三項ノ如キモノヲ加ヘルカラ、決シテ差支ハナイト思フノデアリマス、何トナレバ民法中ニ於テ登記スベキコトハ即チ民法ニ於テ直チニ登記スルト云フコトガ規定ニナツテ居リマスカラ、敢テ登記法ノ規定ヲ俟タズシテ差支ナイノデアリマス、故ニ此登記法改正ハ即チ民法實施以前ニ之ヲ實施スルト云フ事デアリマスカラ、第一條ノ建物船舶ノ所有權デアルトカ、賣買讓與デアルトカ云フコトノ登記モ第一條ニ掲ゲタルノデアリマス、民法ニ關係スル即チ第一條ノ三項ノ如キ規定ヲ致シマスレバ、決シテ差支ナイノデゴザリマス、格別此登記法ニ就イテハ左程面倒ナコトモナカラウト考ヘルガ故

ニ、此事ハ第二議會ニ移ッテサウシテ第二條以下ノコトハ當會ニ於テ直チニ修正スレバ直キ議シタルト云フコトニ就イテ、少數者ノ意見トシテ一應御報告致スノデゴザリマス

○原弘三君(九十四番) 少數者ノ意見ヲ唯今御話デシタガ、第三項デゴザリマスガ、本法ニ規定ナクシテ民法ニ規定アルモノハ……トアル、スレバ民法ニ關係アルモノ……

○野出鎭三郎君(四十九番) ドウデス

○原弘三君(九十四番) 民法ニ……登記法ニ規定ノ方式ガアリマスカ……

○野出鎭三郎君(四十九番) 方式ト云フモノガナイ、方式ハ即チ特別法ヲ以テ規定スルトアリマス、故ニ登記ノ方式ニ就イテハ登記法ニ掲ゲタルモノデゴザリマスガ、ドウ云フコトヲ登記スル……、例ヘバ裁判書ヲ登記スルト

カ、地所賣買ヲ登記スルトカ書入トカ云フヤウナコトニ就イテハ、即チ民法ニ規定シテアリマス故ニ、方式ト云フハ固ヨリ登記法ニ掲ゲベキモノデアアル

ガ、其物ハ民法ニ規定シテアリマスカラ、民法實施シナイデモ其規定デヤッテ差支ナイノデゴザリマス、登記法ニ規定スル必要ガナイ

○原弘三君(九十四番) 特別法ノ規定ト云フモノハ、改正案ノ登記法ニナサル積デアリマスカ、別ニ出來ルノデアリマスカ

○野出鎭三郎君(四十九番) 其方式ト云フモノハ、此登記法ニ於テ随分分リマス

○原弘三君(九十四番) 第一條ヲ加ヘタノミデ、完全ナモノニナリマセヌデ、全體ニ……

○野出鎭三郎君(四十九番) サウデス

○原弘三君(九十四番) ソレデハ一條ニ加ヘタ所ガ出來ル譯ニハ行カヌノデアリマスカ

○野出鎭三郎君(四十九番) 一條ニ加ヘサヘスレバ差支ガナイ

○原弘三君(九十四番) 方式ガゴザリマスマイ

○野出鎭三郎君(四十九番) 方式ハ第二條以下ニアルノデアリマス

○原弘三君(九十四番) 第二條以下ニアル方式ガ、矢張財産編ノ三百四十九條ニアル特別法ヲ以テ規定スルト云フニ該當スルノデスカ

○野出鎭三郎君(四十九番) 該當スルト考ヘルノデアリマス

○原弘三君(九十四番) 考ダケデアリマスカ

○野出鎭三郎君(四十九番) 因ヨリサウト認メテ居リマス

○關直彦君(百十七番) 少數者ノ御意見ニ就イテ御説明ガゴザリマスガ、少數者ノ意見ハ此一條バカリヲ改正シタノミデハナイノデアリマセウ、(野出鎭三郎君勿論)之ヲ斯ウシテ置イテ先キニ往カウト云フ譯デアリマセウ

○野出鎭三郎君(四十九番) サウデス、此結果トシテ修正サレザルヲ得ナイコトデアリマス

(淺香克孝君演壇ニ登ル)

○淺香克孝君(七十二番) 私ハ委員會ノ意見ニ反對スル者デゴザリマス、登記法改正ノ事ハ第一期開會以來毎會提出ヲサル、問題デゴザリマシテ、毎會此問題ハ委員會ニ於キマシテ要領ヲ得ズニ閉會ヲスル事柄デアリマス、實ニ遺憾ナ事柄デゴザリマス、而シテ此事タルヤ諸君モ御承知ノ通、全國到ル處如何ナルハデモ關係ヲ持タナイモノハナイ、此登記法ニハ……而シ

テ我々が會テ希望スル改正ハ、諸君モ共ニ熱望サル、所ノ市區町村役場ニ任
シテ、登記事務ヲ執行サセルト云フノデゴザリマシテ、現行登記法ノ不完
全ナル所ヨリ前段申述セルヤウナ仕組ニ致サウト云フニ過ギナイノデゴザ
リマス、而シテ此等ノ改正ヲスルニ先立チマシテ、登記法第一條ノ法典ニ關
係ノアル、即チ民法ニ關係ヲ持ッテ居リマスル所ノ各條項ヲ調ベルト云フコ
トガ必要ニナツテ來タ、而シテ委員會ノ多數ハ我々ノ意見ニ反對致シマシ
テ、曾テ委員長ノ報告スルガ如キ委員會ノ意見ニナツタノデアル、然レドモ
自分等ハ信ジマス、第一條ハ野出君カ申陳ベタルガ如キ修正ヲ加ヘレバ決シ
テ差支ナイ、殊ニ本法ニ規定ナクシテ民法ニ規定アルモノハ其規定ニ從フ
ヘシトアル以上ハ、十分差支ナクヤレハ管デゴザリマス、自分等ハ繼續委員
トカ云フコトノ說ハ當議場ヨリ擯斥致シテ否決致シタ後ニ逐條審議ニ至リマ
スレバ、第一條以下末項ニ至ルマデ、十分ナル修正ヲ加ヘル考ヲ持ッテ居リ
マス、願クハ諸君モ御同意下サリマシテ、我々少數者ノ意見ノ貫徹セラレン
コトヲ偏ニ希望致シマス

○原弘三君(九十四番) 唯今御尋申シマシタガ、第一條以下ノ完全ノ修正案
ト云フモノガ出來テ居マスカ、又アリマセヌカ
○淺香克孝君(七十二番) 二讀會ニハ發議ヲ致シマス
○原弘三君(九十四番) マダツレデハ成立ッテ居マセヌカ、其修正案ハ……
○淺香克孝君(七十二番) 二讀會ノ折ニハ發議ヲ致シマス
○議長(星亨君) 二百九十八番

(丸山名政君演壇ニ登ル)

○丸山名政君(二百九十八番) 私ハ先刻一寸陳ベテ置キマシタガ、先刻陳ベ
タノハ詰リ緊急動議ノ反對ヲ陳ベタノデ十分言盡スコトガ出來ナイカラ、尙
又少數者ノ意見ニ反對デアルト云フコトヲ陳ベヤウト思ヒマス、デ私ハ第一
ニ特別委員會ノ報告ハ成立ッコトヲ希望シテ居マス、併シツレガ成立タナケ
レバ少數者ノ意見ヲ潰シテ仕舞ッテ、イツ完全ノモノガ出來ナイナラバ、
緊急動議ノ通ニシテ置イテ、ゴク僅ニ修正ヲ施シタラ宜イダラウト思フ、其
僅ニ修正ノ意見ハ二讀會ヲ開カル、時ニ陳ベヤウト思フ、併ナガラ自分ノ意
見ヲ貫徹スルタメニ其方針ヲ簡單ニ陳置カウト思ヒマス、少數者ノ意見
ニ依ルト、第一條ニ意見書ノ通ニ御修正ニナレバ完全ニナル、從ッテ第二條以
下ヲ修正シテ行クト云フヤウナ意見デゴザリマスガ、ドウモ是デハ完全
ナル登記法ト云フコトハ出來ヌト思ヒマス、民法ノ財産篇ニ依ッテ見マスル
ト云フ「登記ニ關スル方式ハ特別法ヲ以テ之ヲ定ム」ト云フコトガ書イテア
ル、サウスルト云フ「此民法ガ行ハレマスル同時ニ、登記ニ關スル方式、
總テ財産篇、財産取得篇、債權擔保篇ニ書イテアル所ノ總テノ登記ニ關スル
方式ハ特別法ヲ定メナケレバナラヌ」デアル、委員會ニテ司法省ノ委員ニ御
尋ヲシタ所ガドウセヤラナケレバナラヌデアル、司法省デモ既ニ其草案
ニ著手シテ居ルガ、ナカノ、面倒デアアルタメニ十分修正案ノ定マツタモノ
ハ、マダ出來テ居マセヌガ、又來年民法ヲ實施スル日ニナレバ、是非十一月
ノ開期マデニ拵ヘテ提出スル考デアルト云フ答デアッタ、サウスルト云フト
第一ニ私ノ調ベタ所ニ依リマスルト、民法ヲ實施シテ直チニドウ云フコトカ
起ッテ來ルカト云フニ、此改正案通ニシテ行クト又不足ナコトガ澤山アルノ
デアル、第一民法ノ中ニ民事會社ト云フモノガアル、此事會社ト云フモノ

ヲ、若シ之ヲ法人トスルニハ登記ヲシナケレバナラヌ、財産取得編ノ第一百
八條ニゴザリマスルガ、之ヲ法人トスル時ニハ登記ヲ經ベシトアル丈アツテ、
民事會社ヲ法人トスル登記ヲ經ルト云フ方法ニ至ッテハ、登記法ニ讓ラナケ
レバナラヌ、特別法ヲ以テ之ヲ定ムルト民法ハ規定シテアルカラ、登記法等
ヲ修正シテ民事會社ヲ登記スルト云フコトハ、茲ニ増シテ來ナケレバナラヌ
ツレカラ又財産擔保編ヲ見テ見マス、二百四條ニ法律上ノ抵當ト云フモノ
ガアル、法律上ノ抵當ト云フモノニハ、妻ガ夫ニ對スル抵當禁治產者未成年
者ガ後見人ニ對スル抵當、或ハ國府縣市町村ト云フモノガ行政法ノ定ムル所
ニ依ッテ會計吏員ノ管理ノタメニ定ムル抵當ト云フヤウナ、之ヲ法律上ノ抵
當トシテ是非登記ヲシナケレバナラヌ、民法ニハ此事ヲ定メテアルガ、其方
式ト云フモノニ至ッテハ矢張登記法ニ讓ラナケレバナラヌ、ツレカラ又債權
擔保編ノ第二百一十二條ニハ遺言等ノ抵當ト云フモノガ規定シテアル、其方法
ハ矢張登記法ニ讓ラナケレバナラヌ、ツレカラ又民法ノ財産編ニ依リマ
スルト、第二條ニ對シテ公示シテ置カナケレバナラヌト云フ事件ニ付イテ、爭
ヒ中ニ係ッテ居ルモノハ裁判官渡書ヲ登記ノ謄本ニ結付ケテ置クコトガ出來
ル、第三條ニ對シテ公示スルコトニ付イテ此地所建物此船舶ニ付イテハ此爭
ガ起ッテ居ルト云フコトニ付イテハ、裁判官渡書ノ謄本ヲ登記ノ原簿ニ結付
ケテ置クコトガ出來ル、此事ハ現行登記法ニモ修正案ニモナイカラ、先ヅ修
正スルニハツレ等ノ事ヲ規定シテ置カナケレバナラヌ、凡テサウ云フ様ナコ
トヲ調ベテ見ルト、澤山アラウト思フガ、私ハ粗略ニツレ丈ノ事ヲ看出シマ
シタ、サウシテ是ハ來年一月一日カラ實施スルト云フ佐々田君ノ案ハ、十月一
日カラ施行スルト云フ、又野出君ノ十一月一日カラ施行スルト云フガ、僅
ニ施行ハ一月二月ノ間俟ッテ民法ガ實施ニナルト云フコトナラバ、モウ少シ
完全ナモノヲ拵ヘタ方ガ宜シイ、若シ是ガ延期ニナリマスルナラバ、此處ニ
用益權支分權永借權ト云フモノヲ書イテ置カウガ、民法ガ實施ニナラナケレ
バ永借權ハ何年以上ノ永借權デアルカ、用益權ハドウ云フモノデアルカ、民
法ガ實施ニナラナケレバ登記法ニ書イテ置イテモ、之ヲ施行スルコトハ出來
ナイ、孰ニシテモ今日僅カ第一條ノ事ニ突ッ掛ッテ、此文字ガ法律ニ適スル
ヤ、此民法ト鈞合ヲ取ッテ是ガ當ヲ得タヤ否ヤト云フコトニ付イテ、議論ヲ
費シテ特別委員會ガ當會期ノ閉會迄ニ無理ニ之ヲ揉ミ潰ブスト云フコトハ、私
ハ登記法ノ改正案ガ出タ、之ヲ提出セラレタノデハナイ、詰リ今日ノ區裁判所ニ
於テ登記ヲ取扱フト云フコトハ不便デアル、費用ガ餘計掛ル、要スルニ人民
ガ難澁スル、ツレ故ニ町役場ニ之ヲ付託シテ取扱ハシメテ、人民ガ實ニ容
易ニ僅ナ登記デモ僅ノ費用ヲ以テ、此登記ヲ行フコトガ出來ルト云フ様ナ
簡便法ヲ設ケテ貰ヒタイト云フガ、一般人民ノ希望デアルカラ、其希望サヘ
達スレバ宜イトシナケレバナラヌ、何トナラバ僅ニ此會期ト云フモノハ十
餘日以後ニ閉會ニナルト云フコトニナツテ、而シテ又停會ニナツタ日數ハ算
入セラレヌト云フコトナレバ、之ヲ民法ノ條項ニ參酌シテ完全ナル修正ニ
シテ參ルコトハ、到底此會期內ニ於テスルコトハ出來ヌ、或ハ十一月ノ會期
內ニ於テモ出來ヌト云フ様ナ不幸ノ結果ヲ招クカモ知レヌ、ツレ故ニ私ハゴ
ク完全ニヤルナラ繼續委員ヲ設クベシ、完全ニ出來ナイナラバ繼續委員ヲ設

ケズ、又姑息ニ第一條ノ修正ヲ加ヘズニ、寧ロ第二條第三條第四條第五條迄ノ修正ヲシテ、此管轄ヲ市町村役場ニ移シ、之ヲ監督スルニ區裁判所ヲ以テスル、サウシテ此町村役場ニ於テ取扱フニ登記料ノ半額ナリ、十分ノ四ナリヲ町村役場ニ與ヘルト云フコトニスレバ宜シイ、所謂法ハ三章ヲ改正スレバ、人民ノ積年ノ素望モ達スルコトガ出來ル、ソレ故ニ私ハ完全ノ登記法ヲ希望スルタメニ、繼續委員ヲ置クト云フ說ヲ主張致シマスガ、此說ガ倒レバ、再ビ委員會ニ立戻ッテ、唯今少數者ノ御提出ニナリマシタ此御意見ニ基イテ、修正スルト云フ煩雜ノ手續ヲ止メテ、直チニ二讀會ニ掛ッテ、其時ニハ第一條ヲ現行法ノ如ク修正スルト云フ意見ヲ提出シテ、詰リ町村役場ニ託スルト云フ精神ヲ貫徹スルヲ以テ十分ノ結果デアルト考ヘマスカラ、何卒少數者ノ意見ヲ排斥セラレンコトヲ希望致シマス

○矢島八郎君(二百四十番) 政府委員デモ特別委員デモ質問致シマス、過日司法次官ノ御話ト思ヒマスガ、登記法ノ改正ハ……

○議長(星亨君) 此事ニ關係シタコトデスカ

○矢島八郎君(二百四十番) サウデス、——政府委員ハ此登記法ヲ改正スルコトノ必要デアルト云フコトヲ認メテ、段々事實ニ就イテ調査ヲシテ居ルト云フコトヲ御話ニナリマシタガ、此本案ヲ二讀會ヲ開クヤ或ハ開クベカラザルヤト云フコトガ決スレバ、司法省デ今日其局ニ當ッテ取調ベテ居リマス、要領ヲ伺ヒマスノハ最モ必要ト思ヒマスカラ、特別委員ノ方ナリ司法次官ノ方カラナリ、今日御調ニナッテ居ル改正ノ要領ヲ御説明ヲ願ヒタイ

(無用々々採決々々ト呼フ者アリ)

○大岡育造君(百五十四番) 討論終結

○都崎秀太郎君(二百十番) 討論終結ノ動議ヲ提出致シマス

(贊成々々ノ聲起ル)

○議長(星亨君) 二百四十番ニハ誰モ答ヘル人ガアリマセヌ、ソレデ討論終結ノ動議ニ贊成ガアリマスカラ決ヲ採リマス、討論終結ノ動議ニ贊成ノ諸君ハ起立ナスッテ下サイ

起立者 多數

○議長(星亨君) 多數、——直チニ決ヲ採リマス、即チ委員會ノ報告ニ繼續委員ヲ置ク云々ト云フコトガアリマスガ、之ニ贊成カ不贊成カノ決ヲ採ラウト思ヒマス

○都崎秀太郎君(二百十番) 二讀會ニ移ルヤ否ヤト云フコトハ採リマスカラ

○議長(星亨君) 是ハ先決問題ダカラ、先キニ採ラナケレバナラヌ……ソレハ採ルカ採ラヌカ分ラナイ、之ヲ先キハ採ラナケレバナラヌ……

(分ッテ居ル分ッテ居ルト呼ブ者アリ)

○福田久松君(二百八十四番) 緊急ノ發議ヲシタイコトガアリマス

○議長(星亨君) モウ決ヲ採リ掛ケテ居ルノデアリマスカラ、許シマセヌ

○加藤六藏君(二百三十四番) 採ル前ニ一寸承リタイコトガアル

採リマセヌ

○議長(星亨君) 然リ々々ト呼ブ者アリ

起立者 少數

○議長(星亨君) 委員ノ繼續委員ヲ置クニ贊成ノ方ハ起立ナスッテ下サイ

(大少數ト呼ブ者アリ)

○議長(星亨君) 少數ト認メマス

○議長(星亨君) ドウデセウ、直チニ二讀會ヲ開クヤ否ヤト云フコトニ就イテ決ヲ採リマセウ

(異議ナシ異議ナシト呼ブ者多シ)

○議長(星亨君) 決ヲ採リマセウ、二讀會ヲ開クヤ否ヤト云フコトニ就イテ決ヲ採リマス、二讀會ヲ開クト云フコトニ贊成ノ諸君ハ起立

起立者 多數

○議長(星亨君) 多數ト認メマス、二讀會ヲ開クトニ致シマス

○佐々田懋君(百九十二番) 二讀會ノコトニ就イテ一言シタイ、此二讀會ハ何時開カル、カ、ソレハ議長ノ御見込ガアリマセウガ、是ハ條件附ノ議決ヲシタイ、先刻以來特別委員會ノ報告ニ就イテ紛議ガ起リ、其委員會ノ割レタト云フコトモ、此登記法改正案ハ民法商法ニ關係ヲ及ボスト云フコトデア

ハ、其民法商法ト云フモノハ今日ドウ云フ境遇カト云フト、貴族院ニ於テハ大多數ヲ以テ延期ニナッテ、本院ニ於テモ延期ノ說斷行ノ說ト二ツアッテ、唯今ハ委員會ノ所デ調査シテ居リマスカラ、法典ガ延期ニナレバ隨ッテ此登記法ノ改正案モ其文面ニ於テ修正スベキコトニ就イテ斟酌ガアリマス、又是ガ斷行トナレバ即チ此提出案ニ在ル如ク、支分權用益權賃借權等ノ必要ガアル、隨ッテ修正モ精密ニ調査シナケレバナラヌカラ、此場合ハ法典延期問題ガ本院ニ於テ一應片附イタル後ニ、第二讀會ヲ開クトヲ希望致シマス

(贊成反對ノ聲交々起ル)

○議長(星亨君) 何カノ條ニアル譯デセウカ、此衆議院規則ノ九十一條ニハ「第一讀會ハ第一讀會ヲ終リタル後少ナクトモ二日ヲ隔テ之ヲ開クヘシ但シ議長ハ議院ニ諮ヒ時日ヲ短縮シ又ハ第一讀會ト同日ニ之ヲ開クコトヲ得」ト云フコトガアッテ短縮スルコトハ出來ルケレドモ、延バスト云フコトハ此法律ニハ見エマセヌ

○佐々田懋君(百九十二番) 少クトモ二日ト云フコトデアルカラ、三日ニナラウガ四日ニナラウガ、ソナコトハ宜シイ

○議長(星亨君) 宜シイ

○立川雲平君(二百八十七番) 二讀會ニナリマスニハ、案ガ二ツアリマスガ、ドチヲノ案ニ依ッテ二讀會ヲ開キマスカ

○議長(星亨君) マダ開キマセヌ、二讀會ヲ開イタ上デゴザイマス

○淺香克孝君(七十二番) 五十九番ガ委員長ノ資格ヲ以テ報告サレタト思ヒマスガ、野出君ノ案ハ議事日程ニ載ッテ審議ヲシタノデアルカラ、佐々田君ノ案ト野出君ノ案ト二ツアリマス、ケレドモ野出君ノ案ヲ以テ原案トスルコトニ極ッテ居ル

○議長(星亨君) ソレハ二讀會ヲ開クト云フコトニ就イテ極メナケレバナラヌ、——サウスレバ百九十二番デスカ、條件ヲ附ケテ宜イト云フノハ

○佐々田懋君(百九十二番) 左様

○議長(星亨君) 賛成ガアリマスカラ決ヲ採リマス、即チ百九十二番ノ説ハ二讀會ヲ……、民法商法ノ何ガ濟ンダ上デ開クト云フ説、此説ニ賛成ノ諸君ハ起立ナステ下サイ

起立者 少數

○議長(星亨君) 少數ト認メマス、是ヨリ次ノ議事日程ニ

○福田久松君(二百八十四番) 先程御約束申シタコトヲ、此際一言致シタイ

○議長(星亨君) 此事ニ就イテマス

○福田久松君(二百八十四番) 左様――、先程何番デアッタカ、此矢島君ノ問ガアツタ時ニ發言ヲ請求シタガ、議長ガ許サヌカラ、決ヲ採ッテ仕舞ッテカラ許シテ呉レト云フコトヲ申シタ、宜シウゴザイマス……、ソレデソレハ別ニ六ケシイコトヲ唱フル程ノ、不服ヲ唱フル程ノ事デモナイガ、二百四十番ト心得ルガ、矢島君ガ夫ノ登記法改正ノ調査ノ事ハ、先日來政府委員ガ政府モ之ヲ改正ヲ調査シッ、アルト云フコトヲ言ッタカニ心得ル、其行懸リハ如何ナルコトニナッテ居ルカト云フ親切ノ御問デアツタ、然ルニ是ハ問フ人ガ政府委員デモ宜シイ、調査委員即チ特別委員デモ宜シイト言ッタノデアアルガ、是ハ勿論政府委員ガ答ヘルノガ責任デアアルト私ハ信ズル、然ルニ政府委員ハ御答ハナイ、是ハ甚ダ不親切デアアルト思フ、加之ナラズ議長ハ是ハ答ヘル人ガ無イカラト言ハレタ、ソレハ確カ書イテアルト思フ、答ヘル人ガ無イカラト云フ議長ノ言葉モ如何デアラウカ、斯様ナコトハ議長カラ政府委員ニ御注意下サレテ御答辯ナサレルヤウニシナイト、議事ガ順序上混雜ヲスルト思フ、政府委員モ御親切ノ御問ガ出タナラバ、御親切ニ御答ニナルガ宜シカラウト思ヒマス

○議長(星亨君) 議長ハサウ云フコトハ往ケマセヌ、政府委員ハ出テ居ラナケレバナラヌノダカラ、答ガ出來ルモノナラバ答ヘル、議長ハチヤント斯ウヤッテ居ルカラ、議長ト呼ンデ答ヘルガ宜シイ、議長ハ耳ヲ傾ケルヨリ外ニナイ、政府委員ガ答ヘナイノハ私ハ知ラヌ

○佐々木松坪君(五十五番) 唯今福田君ヨリノ御發言モアリマシタガ、先刻何番ヤラノ御求メハ政府委員デモ特別委員デモ宜シイト云フコトデアリマシタガ、特別委員ハ先刻ノ御問ニ對シテ御答ノ材料ハ持ッテハ居リマスガ、併シ是ハ特別委員ノ心得マデニ問フテ置イタコトデアリマスカラ、即チ政府委員カラ答ヘラレテ相當ト思ッテ、私ハ御答ヲセヌデ置キマシタ、一應御斷リヲ致シマス

○議長(星亨君) 本日ノ議事日程ノ第四ニ移リマス、府縣制第二十七條修正法律案

第四 府縣制第二十七條修正法律案(島田三郎君外三名提出) 第一讀會

○議長(星亨君) 朗讀ヲ致シマス

(町田書記官朗讀)

明治二十三年法律第三十五號府縣制第二十七條修正法律案

明治二十三年法律第三十五號府縣制第二十七條第三項ノ次ヘ左ノ一項ヲ加ヘントス

前部會郡部會ヲ置キタル縣ニ於テ縣會ノ職權ニ屬スル事件ニシテ專ラ市

ニ關スルモノト專ラ其他ノ部分ニ關スルモノト分別スルコトヲ要スルモノアルトキハ縣會ノ議決ニ依リ之ヲ分別スルコトヲ得但分別シタル縣ニ於テハ此法律中特ニ東京府京都府大阪府ニ關シ定メタル各條項ハ之ヲ適用ス

備考

府縣制 第二十七條 東京府京都府大阪府府會ノ職權ニ屬スル事件ニシテ專ラ東京

市京都市大阪府市ニ關スルモノト專ラ其他ノ部分ニ關スルモノト分別スルコトヲ要スルモノアルトキハ府會ノ議決ニ依リ之ヲ分別スルコトヲ得

前項ノ分別ニ依リ專ラ東京市京都市大阪府市ニ關スルモノハ其郡部議員ニ於テ其事件ノ議事ニ參與シ及議決ニ加ハルコトヲ得ス其他ノ部分ニ關スルモノハ市部議員ニ於テ其事件ノ議事ニ參與シ及議決ニ加ハルコトヲ得ス此場合ニ於テハ郡部議員市部議員ニ於テ各臨時議長ヲ互選スヘシ此法律中東京府京都府大阪府府會ノ市部議員トアルハ東京市京都市大阪府市會ニ於テ選舉シタル議員ヲ云ヒ郡部議員トアルハ東京市京都市大阪府市ヲ除キ其他ノ部分ニ於テ選舉シタル議員ヲ云フ

(島田三郎君演壇ニ登ル)

○島田三郎君(百五十一番) 本員ガ同論者ノ朝長眞三君渡邊又三郎君青山朝君此三人ノ同論者ト共ニ提出致シマシタル所ノ府縣制改正案デゴザリマス、唯今此大意ヲ説明致シマスルノハ甚ダ不便ノ位置ニ當ッテ居ルノハ、議事日程ノ時間ガ如何ニモ短ウゴザイマスカラ、此時間ニ大意ヲ述盡スコトガ出來ナイ憂ガゴザイマシタラバ、已ム得ズ他日ニ後ノ議論ヲ延バスヨリ外ニ致方ガナイト斯様ニ存シテ居ルガ、先ヅ其大略ヲ申シ述ベマス

此議案ノ性質ヲ第一ニ申上ゲナケレバナラヌト云フノハ、是ハ改正案ニアラズシテ唯今成立ッテ居ル所ノ慣習ヲ其儘保存スルト云フ性質ノ案デゴザイマス、ソレ故ニ極メテ議論ハ少イモノデアラウト斯様ニ考ヘマス、元來物ヲ新ニ起スノハ必ズ起ス丈ノ理由ガ無ケレバナラナイ、處ガ府縣制ガ發布ニナリマシテマダ實施セラレマセヌガ、其發布セラレザル以前ニ當リ、又ソレガ施行セラレ、時迄ハ、東京府京都府大阪府ノ外ニ特別ノ市部會ト云フモノヲ以テ、其市部會ノ外ニ又市部會ト云フモノヲ以テ、郡部即チ此法律ニ言ッテアル所デ、市部會ノ外ニ成立ッテ居ル所ノ一種ノ經濟ヲ異ニシタ部分ガアルノデゴザイマス、然ルニ唯今ハ是ガ其儘保存サレテ居リマスケレドモ、其縣ニ臨ム所ノ行政官ノ都合ヲ以テ、今日ニモ縣制ヲ斯様ナル所ニ施行スルト、唯今成立ッテ居ル所ノ特權ト云フモノハ、其日カラ消エ失セマスルノデアリマス、是モ消エ失セマシテ利益ノアルコトナラバ、改正デアアル、不便ヲ受ケヌコトデアルナラバ誠ニ議論ノ無イコトデゴザイマスガ、是ガ消エ失セマスレバ消エ失セタ所ノモノハ、非常ノ不便ヲ受ケマスルガタメニ此不便ヲ除キ、唯今迄成立ッテ居ル所ノ便利ヲ保存セントスルノガ、此案ノ趣意デゴザリマス、ソレ故ニ唯今申シマシタ通改正ト言ハンヨリハ寧ロ舊慣保存ノタメニ出來テ居ルノデゴザイマス、此舊慣保存ノ履歷ヲ先ツ第一ニ述ベナケレバナラヌト思ヒマスノハ、始テ府縣會ノ開ケタ時ニハ、無論府縣會縣會ト云フモノガアツテ、府會ノ下若クハ縣會ノ下ニ區部會郡部會ト云フモノハ無カッタノデアアル、東京府大阪府京都府其他神奈川縣ノ如キ、兵庫縣ノ如キ所ニ於テハ何分ドウモ

郡トドウモ事情ヲ異ニスル、市ガアルタメニ、其時ハ區部會デアツタガ、丸デ町ガ生活ノ違フテ居ルガタメニ、何分一律ノ下ニシテモ雙方ノタメニ不便利不經濟ガアルガタメニ、特別ノ制度ノ下ニ置カナケレバナラヌト云フノデ明治十四年二月ノ八號ノ布告ニ依テ、區部會郡部會ヲ別チマシタ、之ヲ別トシテ東京京都大阪縣ニ於テハ神奈川縣此四箇所デアツタノデアル、處ガ此四箇所ニ於テ限リテハ、又不便ヲ除クコトガ出來ナイガタメニ、此利益ヲ得シテ同年即チ十四年ノ三月ニ至リテ區郡分府ノ經濟ヲ他ニ及スト云フコトノ法律ガ出タノデゴザイマス、是ハ中央ノ政府カラ之ヲ別トシテハ相違ゴザイマセヌガ、之ヲ別トシテ至リマシタノハ、其當時ノ事情ヲ具狀シテ是非別トテ賞ハナケレバナラヌト云フ必要ヲ上スル者ガアツテ其必要ニ應ジテ是ハ出來タ所ノモノデアル、爾來其制度ガ引續イテ法律ガ變テ、市會ト云フモノガ出來、區部會ガ變ジテ市會トナツテ今日迄存セラレテ居ルノデアリマス

斯様ナル譯デアツテ、此保存ノタメニ便利ハ受ケテ居リマスガ、一ツノ不便ナルコトヲモ、新ニ見受ケマセヌノデアリマス、然ルニ此發市セラレタ所ノ府縣制ト云フモノハ此特權ヲ三府止メテ、後トノ地方ハ今成立テ居ルニ拘ラヌ、矢張一律ノ下ニ於テ之ヲ置クノハ何カ是ニハ至當ナル理由ガナケレバナラヌガ、其理由ノ成立ヲ見出シマセヌ、然シテ此法律ガ實行セラル、ハ會テ其必要ノ生シタルコトデアリマスガ、區部會郡部會ハ此法律ノタメニ蔑視セラレテ居ツテ、區部ハ區部、郡部ハ郡部、別ニ一ツノ經濟ヲヤラネバナラヌコトニナリマシタガ、是等ノタメニ何分一日デモ行ハレタラウレ丈不便ヲ與ヘルト云フコトニナツテ居ル、尤モ府縣ノ未ダ完全ニ至ラヌト云フノハ、多クノ人ノ認ル所デ、第一ノ議會ニ於テモ亦府縣制ノ改正案ガ成立タコトデアリマスガ、是ハ多クノ條項デアリマスガ、未ダ時ノ短キタメニ否決ニナリマシタ、處ガ之ガ成立テ居リマス、現在成立テ居ル府縣制ハ何ツノ時行ハレル時ガ來マシタナラバ、此人民ハ餘程不便ヲ受ケマス、何故トナレバドウシテモ郡部區部ノ經濟ヲ分タネバナラヌト云フ理由ガアツテ、之ヲ分ケルニ至リタノデアアルガ、今日此法律ノタメニ之ヲ分ケラレテ、又據ナク之ヲ復シテ貫ハネバナラヌト云フ書面ガ出テ來ルトキハ、僅カ一會期ノ議期ノ間ニ舊慣ヲ敗ラレテ、又舊慣ヲ取崩スト云フコトニナレバ、之ヲ實行セラレタ府縣ノ不幸ハ如何デアリマスガ、ソレ故ニ之ガ大體ニ就イテ之ヲ提出致シマシタ必要デアアル、ソレデアアル故ニ古語ニモ名ハ實ノ實ト申シマシタ通、現在部ト市トアルマシテ、市會ト市部會トアルノハ、唯名ガ異ナツテ居ルノデハナク、名ノ異ナツテ居リ實ガアルタメニ、斯様ナルモノガ存シテ居ル、然ルニ他ノ法律ガ出タメニ名ヲ變ヘタ、メニ其實ヲ蔑視セラレ、ノハ、名ヲ變ヘタバカリデ實ヲ失フノハ不便デアアル、此不便ハ管ニ事實上ノミナラズ、課稅ニ於テモ不便ヲ來スモノデアアル、例ヘハ市ニ於テ經營致シマス事業ハ、道路ニ致セ橋梁ニ致セ、或ハ火災ヲ防ク所ノ仕組ニ致セ、皆郡ト違フタ有様ニ致サナケレバナラナイ、土木ノ橋梁ノ如キニ至リテハ開港場ノ如キ市街ハ、其運搬スル所ノ車モ違ヒマス、往來スル所ノ人モ大層場合ガ違ヒマス、之ヲ編制シマスニモ郡ト餘程違フタ有様ニ致サナケレバナラヌ、火事ヲ防グ仕組モ全ク郡ト違フタ有様ニ致サナケレバナラヌ、其衛生上ノ事ニ於テモ左様ナルモノデ、例ヘハ流行病ハ市ニ多ク

シテ郡ニハ少イ、故ニ市ニハ特別ノ衛生法ヲシナケレバ安然ヲ得ルコトガ出來ヌ、水道ノ如キモ郡ニ至リマスレバ天然ノ清水ヲ得ルコトガ出來ルガ、市ニ至リマシテハ人工ヲ以テ水ヲ供給シナケレバナラヌ、神奈川縣ノ横濱ノ如キ、兵庫縣ノ神戸ニ於ケル、是等ノ處ハ人作ヲ以テ水道ヲ建築シナケレバナラナイ、ソレデ水ヲ供給シナケレバナラナイト云フコトデアリマス、又警察ノ如キモ市ニハ特別ノ規則ヲ設ケテ、大ニ其趣ヲ異ニシナケレバナラナイ、是等ノ事實上及經濟上ノ事ヲ異ニシナケレバ、兩方ノタメニ便利ヲ得ルコトハ出來ヌ、唯今ハ分ケテ居ルガタメニ、便利ヲ受ケテ居ルガ、一朝縣制ガ實施セラレ、ニ於テハ、此區別ガ九止シテ仕舞ハナケレバナラナイ、是ハドウシテモ法律上有實ノモノデ、今日ノ有様ヲ保存スルコトニ必要ノモノデナイ、又收稅上ノ事モ例ヘハ市ニ掛ケマス稅源ト、郡ト違フテ居リマス、神奈川縣ノ横濱ニ於キマシテハ租稅以內ノ最極度ノ稅ヲ取ツテ居ル、即チ市ハ三分ノ一ト云フ極度デ、郡ハ五分ノ一内外デ、未ダ其極度ノ稅ヲ取ツテ居リマセヌ、神戸市モ其通デアアル、神奈川ノ横濱モ兵庫縣ノ神戸モ同一デアリマス、郡ト市トハ收稅等トハ分ツテ置カヌケレバ、甚ダ計算ノ上ニ困難ガアル、ソレデ市ニ於テハ賣上稅ニナツテ居リマスケレドモ、郡ハ稅金ヲ分ツテ、是ハ一等デアアル、是ハ二等三等デアアルト、稅金ニ等級ヲ立ツテ居リマスガ、此區別ヲ破リマシタラバ、營業ノ稅上ノ上ニ困難ヲ惹起ス譯デアアル、戶數割モ其通市デハ一ツハ戶數割、一ツハ家屋稅ト取ツテ居リマス、是ハ東京市街ニ於テ最モ著シクアリマス、市街ノ生活ハ家屋數、他ヘ移ス人ガ多イガ、郡ノ方デハ家屋數代以テ住居シテ居ル人ミガ多イ、ソレ故ニ……

(此時議長島田君ニ注意ス)
丁度時間デアアルト云フコトデアリマスガ、一次會ノ説明ノ續キハ、此次ノ會議ニ續ケマス積デアリマスガ、唯今ハ說ヲ茲デ止メマス

(序デヤリ給ヘト呼ブ者アリ)
○島田三郎君(百五十一番) 規則上デ唯今議長カラノ御差止デアリマスガ(ヤリ給ヘト呼ブ者アリ)

○平山靖彦君(二百四十三番) 豫テ通告シテアリマスガ

○議長(星亨君) マダ議長ニハ何モナイ——三十一番ノ先キノ事ニ就イテ御答致シマスガ、答辯請求書ハ出テ居ツタサウデス、私ハ知ラナカッタガ、併シ政府ノ方カラ答辯ガ來サウデアッタト云フガタメニ躊躇シテ居ッタガ、ソレ今日報道シヤウト思フテ書イテ居ッタガ、ドウ云フ譯カ報道シナイ、併ナガラ直チニ報道シヤイト云フナラ致シマスガ、左様御承知

○田中正造君(三十一番) 事ハ分リマシタガ、直チニ報告シヤイト云フコトハ當前ノデ……

○議長(星亨君) サウ云フ事實デアアルカラ……

○田中正造君(三十一番) 報道シヤウト思フタガ、政府ノ方カラ答辯ガ來サウダカラト云フ取捨スルコトハ書記官ノスルコトデハナイ、書面ヲ出ス時ニ議長附ノ書記ニ出シマシタモ、是ハ議長ニ差出スノデアアル、一體一昨日モ議長ノ御指圖トシテ出シ直シタガ、サウスレバ宛モ泥坊ヲシヤウトシタガ捕マリサウダカラ此方カラ泥坊ハ止メタト云フ様ナルコトデ、道義ヲ破ラヌ様ニナレバ面々御都合ハ宜シイ譯ダケレドモ、斯ウ云フ權利ハ書記官長ニアルコトデハナイ、權利ノナイコト何故ニソレヲ自カラ取捨シタカ、是レ小事

ト雖モ僅ノコトハ宜シイト云フコトハ、出來ヌ、今一應御取調ヲ願ヒマス
○議長(星亨君) 宜シイ、サウ云フコトニ報道シマシタガ、アナタノ今言ッ
タコトハ、書記官ノ耳ノ中ニ這入ッテ居リマセウカラ、孰レ報道スルデアリ
マセウ

第七 鐵道公債法案(政府提出) 第二讀會(午後四時)

○議長(星亨君) 是ヨリ本日ノ議事日程ノ第七、即チ鐵道公債法案ニ移リマ
ス、ツレカラ尙ホ諸君ニ御諮リ申シマスノハ、此鐵道法案ニ就イテ委員會ノ報
道——委員會ノ修正ヲ用フルカ否ヤト云フコトヲ確メテ置キタイ、委員會ノ
修正ヲ即チ議題トスルカ、ドウカト云フコトヲ確メテ置キタイト考ヘマス
○佐藤里治君(百四十八番) ドウカ本員ハ今議長ノ御宣告ノ通、矢張委員會
ノ報告、之ヲ議題トシテ其代リ色ニナ修正説ガ出テ居リマス、ケレドモ皆ナ此
報告ニ對シテ修正デアリマス、サウ云フコトニサレルト大變順序ガ錯雜セ
ヌデアカラウト思ヒマス
(贊成々々ノ聲起ル)

○折田兼至君(百五十八番) 今委員會ノ拵ヘタ所ノ案ヲ原案トシテ議スルヤ
否ヤト云フコトノ御説デアリマスガ、ツレハ出來ラレナイコトデアアル、何故
ト云フニ、政府ノ提出シタ案ハ、鐵道公債法案ト云フモノデアアル、委員會ノ
出シタモノハ鐵道布設法ト云フモノデアアル、各、其趣ガ異ナッテ居ル、ツレデ
政府ノ案ニ向ッテ鐵道布設法ト云フコトガ法律デアアルベキモノデアアル、法
律タルコトヲ得ルナラバ、斯様ナ修正ヲ加ヘルト云フコトハ差支ナカラウ、
ツレドモ銘々ノ考デアアルカラ、是ハ法律デアアル見テ修正スルノハ差支ナイ、
ケレドモ政府ノ案ハ鐵道公債法案ト云フモノデアアル以上ハ、之ヲ原案トシテ
其他ノモノハ總テ修正案トシテ議事ヲ開カケレバナラナイ、左様デナケレ
バ甚ダ不都合ナモノト私ハ考ヘル、ツレデ同ジモノナラバ兎モ角デアアル、ケ
レドモ別來ラレナイ規則ニ背イタコトデアアル
決シテ出來ラレナイ規則ニ背イタコトデアアル

○山口千代作君(五十八番) 私ハ今ノ論者ノ論シラレタ通ノ考ヘデアアル、
本日ノ議事日程ハ鐵道公債法案ト云フコトヲ定メテアル、然ルニダ、今茲ニ夫
ノ買収法案ト交ゼタ、所謂アイノ子ヲ以テ此議事ヲ開クト云フノハ頗ル間違ッ
タコトデアアル、之ヲ土臺トシテ諸君ノ見込通ニ修正シテ行クノハ、議長
ハ規則ニ依ッテ御議シニナランコトヲ希望シマス

○佐藤里治君(百四十八番) 公債法案モ矢張原案デゴザイマスカラ、決シテ
公債法案ヲ原案トシナイト云フノデアハナイ、唯議スル順序ニ就イテ委員ノ報
告シタモノヲ議題トシテ議シテ行ッテ、若シ委員ノ報告ガ否決シタナラバ、
公債法案ノ起立ヲ命ズルト云フコトニナッテ宜イ、出來ナイト云フコトハ決
シテナイ、便利ノタメニヤルト云フノニ過ギナイ

○議長(星亨君) 議論ガアルナラ、決ヲ採リマセウ

○有友正親君(百七十三番) 唯今ノ御宣告ダカ御相談カ知リマセヌガ、此委
員會ノ修正案ヲ本トスルト云フコトニシマス、此報告案ノ中ニハ鐵道買収
法案ト云フモノモ一ツニナッテ居ルヤウデゴザイマス、サウシマス鐵道買
収法案ト云フモノハ、マダヤラヌコトニナッテ居ルノデ……

○議長(星亨君) ツレハ私ガ一寸申シマスガ、鐵道買収法案ト云フモノハ其
中ニ這入ッテ居ラヌヤウデ、買収ノ趣意ハ其中ニ這入ッテ居ルカ知レヌケレ
ドモ、過日委員ノ説明ニ依レバ這入ッテ居ラヌ……

○有友正親君(百七十三番) サウシマスルト今ノ買収法案ニ就イテハ、委員
ノ意見ハナイト云フコトデスカ
○議長(星亨君) ツレハ聽イテ見マセヌガ、戰ッテ居ラヌカラ……
○有友正親君(百七十三番) 兎ニ角私ハ不同意デアリマス、ケレドモ堪ラヘ
マス——堪ラヘマスガ兎ニ角是ハ妙ナモノダ
○議長(星亨君) 如何デセウ、今ノコトニ就イテ決ヲ採リマセウカ、又直チ
ニ此修正案ヲ以テ議題トシテ議スルト云フコトニシマセウカ
(異議ナシト呼ブ者アリ)

○折田兼至君(百九十八番) 本員ハ不同意デ別ニ贊成者モアルト思フ、是ハ
決ヲ採ルベキ問題デナイト考ヘル、——ノウデアハナイ、決シテノウデアハナイ、
委員會ノ拵ヘタ所ノモノヲ議案トシテ議スルト云フコトニナッテ居ラバ、若
シ是ガ否決シタトキニ其他ノモノハ修正説トシテ出ス人ガナケレバ、自然ニ
其案ハ消滅スルノデアアル、各員各自ニ出シタモノトハ大變異ナルデアアル、
ツレデ之ヲ此議場ノ多寡ニ諮フテ決スベキ問題デアハナイ
○議長(星亨君) 議長ハ即チ是ハ可否ヲ諮フベキモノト考ヘテ居ルノデスカ
ラ、ツレデ議論ガアレバ止ムヲ得ズ可否ヲ諮フノ外ハナイ、依ッテ此委員會
ノ報道ヲ即チ議題トシテ議スルト云フコトニ贊成ノ方ハ起立ナスッテ下サイ
起立者 多數

○議長(星亨君) 多數ト認メマス、是ヨリ鐵道布設法ニ移リマシテ一章又ヲ
會議ニ付スルコトニ致シマス、朗讀ハ省キマス

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ掲載ス)

鐵道敷設法(鐵道公債法案私設鐵道買収法案審查特別委員會報告)

第一章 總則

第一條 政府ハ帝國ニ必要ナル鐵道ヲ完成スル爲メ漸次豫定ノ線路ヲ調査
シ及敷設ス

第二條 豫定鐵道線路ハ左ノ如シ
中央線

一 神奈川縣下八王子若クハ靜岡縣下御殿場ヨリ山梨縣下甲府及長野縣下
諏訪ヲ經テ伊那郡若クハ西筑摩郡ヨリ愛知縣下名古屋ニ至ル鐵道

一 長野縣下長野若クハ篠ノ井ヨリ松本ヲ經テ前項ノ線路ニ接續スル鐵
道

一 山梨縣下甲府ヨリ靜岡縣下岩淵ニ至ル鐵道

中央線及北陸線ノ連絡線

一 岐阜縣下岐阜若クハ長野縣下松本ヨリ岐阜縣下高山ヲ經テ富山縣下富
山ニ至ル鐵道

北陸線

一 福井縣下敦賀ヨリ石川縣下金澤ヲ經テ富山縣下富山ニ至ル鐵道及本線
ヨリ分岐シテ石川縣下七尾ニ至ル鐵道

北陸線及北越線ノ連絡線

一 富山縣下富山ヨリ新潟縣下直江津ニ至ル鐵道

北越線

一新潟縣下直江津又ハ群馬縣下前橋若クハ長野縣下豐野ヨリ新潟縣下新潟及新發田ニ至ル鐵道

北越線及奥羽線ノ連絡線

一新潟縣下新發田ヨリ山形縣下米澤ニ至ル鐵道若クハ新潟縣下新津ヨリ福島縣下若松ヲ經テ白河、本宮近傍ニ至ル鐵道

奥羽線

一 福島縣下福島近傍ヨリ山形縣下米澤及山形、秋田縣下秋田青森縣下弘前ヲ經テ青森ニ至ル鐵道及本線ヨリ分岐シテ山形縣下酒田ニ至ル鐵道

宮城縣下仙臺ヨリ山形縣下天童若クハ宮城縣下小牛田ヨリ山形縣下船町ニ至ル鐵道

一 岩手縣下黑澤尻若クハ花巻ヨリ秋田縣下横手ニ至ル鐵道

總武線及常磐線

一 東京府下上野ヨリ千葉縣下千葉、佐倉ヲ經テ銚子ニ至ル鐵道及本線ヨリ分岐シテ木更津ニ至ル鐵道

一 茨城縣下水戸ヨリ福島縣下平ヲ經テ宮城縣下岩沼ニ至ル鐵道

近畿線

一 奈良縣下奈良ヨリ三重縣下上柘植ニ至ル鐵道

一 大阪府下大阪若クハ奈良縣下八木又ハ高田ヨリ五條ヲ經テ和歌山縣下和歌山ニ至ル鐵道

山陽線

一 京都府下京都ヨリ奈良縣下奈良ニ至ル鐵道

山陰線

一 廣島縣下三原ヨリ山口縣下赤間關ニ至ル鐵道

山陰線

一 京都府下舞鶴ヨリ兵庫縣下豐岡、鳥取縣下鳥取、島根縣下松江、濱田ヲ經テ山口縣下山口近傍ニ至ル鐵道

山陰及山陽連絡線

一 兵庫縣下姫路ヨリ生野若クハ笹山ヲ經テ京都府下舞鶴又ハ園部ニ至ル鐵道若クハ兵庫縣下土山ヨリ京都府下福知山ヲ經テ舞鶴ニ至ル鐵道

一 兵庫縣下姫路近傍ヨリ鳥取縣下鳥取ニ至ル鐵道又ハ岡山縣下岡山ヨリ津山ヲ經テ鳥取縣下米子及境ニ至ル鐵道若クハ岡山縣下倉敷又ハ玉島ヨリ鳥取縣下境ニ至ル鐵道

一 廣島縣下廣島ヨリ島根縣下濱田ニ至ル鐵道

四國線

一 香川縣下琴平ヨリ高知縣下高知ヲ經テ須崎ニ至ル鐵道

一 德島縣下德島ヨリ前項ノ線路ニ接續スル鐵道

一 香川縣下多度津ヨリ愛媛縣下今治ヲ經テ松山ニ至ル鐵道

九州線

一 佐賀縣下佐賀ヨリ長崎縣下佐世保及長崎ニ至ル鐵道

一 熊本縣下熊本ヨリ三角ニ至ル鐵道及宇土ヨリ分岐シ八代ヲ經テ鹿兒島縣下鹿兒島ニ至ル鐵道

一 熊本縣下熊本ヨリ大分縣下大分ニ至ル鐵道

一 福岡縣下小倉ヨリ大分縣下大分、宮崎縣下宮崎ヲ經テ鹿兒島縣下鹿兒島ニ至ル鐵道

北海線(殖民鐵道)

一 福岡縣下飯塚ヨリ原田ニ至ル鐵道

一 福岡縣下久留米ヨリ山鹿ヲ經テ熊本縣下熊本ニ至ル鐵道

一 空知太ヨリ網走ニ至ル鐵道

一 網走ヨリ釧路ニ至ル鐵道

一 標茶ヨリ根室ニ至ル鐵道

一 上川ヨリ釧路ニ至ル鐵道

一 兩龍太ヨリ留萌ニ至ル鐵道

一 上川ヨリ稚内ニ至ル鐵道

一 小樽ヨリ函館ニ至ル鐵道

以上ノ線路ニ變更増減ヲ要スルモノアルトキハ帝國議會ノ協贊ヲ經テ之ヲ決定スヘシ

第三條 鐵道工事ハ緩急ニ應ジテ其期限ヲ數期ニ區分シ每期ノ工事ヲ繼續事業トス

第四條 鐵道事業ニ要スル費用ハ公債ヲ募集シテ之ニ充ツ

第五條 鐵道公債ノ利子ハ一箇年百分ノ五以下トス

第六條 鐵道公債ニ關シ本法ニ規定無キモノハ總テ明治十九年勅令第六十六號整理公債條例ニ據ル

第二章 第一期鐵道及公債募集

第七條 豫定線路中左ノ線路ハ第一期間ニ於テ其實測及敷設ニ著手ス

一 中央豫定線ノ内神奈川縣下八王子若クハ靜岡縣下御殿場ヨリ山梨縣下甲府及長野縣下諏訪ヲ經テ伊那郡若クハ西筑摩郡ヨリ愛知縣下名古屋ニ至ル鐵道

一 北陸豫定線ノ内福井縣下敦賀ヨリ石川縣下金澤ヲ經テ富山縣下富山ニ至ル鐵道

一 北越豫定線ノ内新潟縣下直江津又ハ群馬縣下前橋若クハ長野縣下豐野ヨリ新潟縣下新潟及新發田ニ至ル鐵道

一 奥羽豫定線ノ内福島縣下福島近傍ヨリ山形縣下米澤及山形秋田縣下秋田青森縣下弘前ヲ經テ青森ニ至ル鐵道

一 山陽豫定線ノ内廣島縣下三原ヨリ山口縣下赤間關ニ至ル鐵道及廣島縣下海田市ヨリ吳ニ至ル鐵道

一 九州豫定線ノ内佐賀縣下佐賀ヨリ長崎縣下長崎及佐世保ニ至ル鐵道及熊本縣下熊本ヨリ三角ニ至ル鐵道

以上ノ線路ノ外ニ尙ホ敷設ノ急ヲ要スヘシト認ムルモノアルトキハ帝國議會ノ協贊ヲ經テ更ニ第一期工事トシ特ニ公債ヲ募集スルコトヲ得

比較線路ハ政府ニ於テ更ニ調査ヲ遂ケ帝國議會ノ協贊ヲ經テ之ヲ決定スヘシ

第八條 第一期鐵道工事ハ起工ノ年ヨリ向フ十箇年ヲ以テ成效期限トス

佐藤里治君(百四十八番) 報告漏レヲ申スト云フテ許可ヲ得テ居ルノデゴ
リマス、是ハ却テ委シク申上ゲテモ却テ諸君ガ御迷惑カ知リマセヌカラ、其

(立川雲平君演壇ニ登ル)
○立川雲平君(二百六十七番) 私ハ一ノ勳議ヲ提出シテ置キマシタ、モウ皆サンノ御手許ニ廻ッテ居ル様デアリマス、此中ノ一文章ノ中ニ括弧ガアリマ
スガ、此括弧ハ詰リ誤デス、是ハドウゾナイ様ニ——ツレカラ此原案即チ特
別委員會ノ修正説ノ第一章ノ第二項デゴザリマス、第二項ニ「長野縣下長野若
クハ篠ノ井ヨリ松本ヲ經テ前項ノ線路ニ接續スル鐵道」トアリマス、之ヲ私ガ
此中ニ比較線路ト云フモノヲ加ヘマシテ、篠ノ井ヨリ松本ヲ經テノ其間ニ又
ハ同縣下御代田ヨリ雨塚街道ヲ經テ」前項ノ線路ニ接續スル鐵道ト斯ウ入レ
ル、是ハ別ニ此線路ハゴク宜シイカラ造ラネバナラヌト云フテ、他ノ線路ノ
比較等ヲ喋々スル必要ハナイ、詰ル處中央線ト信越線トノ接續線デアリマス
カラ、ツレガ原案ニハ長野若クハ篠ノ井ヨリ松本ヲ經テ前項ノ線路ニ接續ス

ルト云フコトニナツテ居ルガ、御代田ト云フ所ヨリ雨塚街道ヲ經テ行ケバ里程モ少イシ、併ナガラ向フガ宜イ、此方ガ宜イト云フ議論ハシマセヌガ、兎ニ角此鐵道ヲ布設スルニハ比較線路ト云フモノガ多クアル方ガ宜イト思ヒマスカラ、又此雨塚街道ト云フ所ハ長野縣廳杯デモ當年ハ既ニ一萬圓ノ金ヲ掛ケテ馬車道ニ開クト云フコトニナツテ居リマスカラ、道モ平坦デアルト云フコトハ推知スルニ足リル、又承リマスレバ陸軍省ニ於テモ著々取調ニ著手セラレテ……

○田庭吉君(百一十四番) 唯今ハ一條デハアリマセヌカ

○立川雲平君(百六十七番) 第一章デス、第一章ノ第二項ニ前項ノ比較線路ヲ加ヘルト云フノガ私ノ動議デアリマス、御賛成アラント望ミマス

○藥袋義一君(二百十三番) 議長……

○議長(星亨君) 發言ナラバ、發言ノ順ガアリマスカラ……

○岩崎萬次郎君(百九十四番) 質問ガアリマス

○議長(星亨君) 誰ニ……

○岩崎萬次郎君(百九十三番) 委員長、宜シウゴザリマスカ、質問シテ宜シウゴザリマスカ

○議長(星亨君) 委員長デスカ

○岩崎萬次郎君(百九十三番) サウデス、委員長ノ報告ニ對シテ質問スルノデスカラ、委員長デモ御答ガアルデセウ

○議長(星亨君) 宜シイ

○岩崎萬次郎君(百九十三番) 此委員カラ報告ニナツタ理由ノ中ニ斯ウ云フコトガゴザイマスガ、此鐵道買収法案ヲ不可トシテ却ケタト云フコトノ理由ノ中ニ「本案ノ結果タル徒ラニ種々ノ腐敗ヲ醸シ繼ニ除カントセル情實ノ弊害ヲ助長スルニ過ギザルヤ」又略シテ末ノ方ニ往ツテ「諸種ノ弊害恐ル、ト故ヲ以テ本案ヲ不可ナリトス」ト云フコトヲ以テ理由トシテアリマス、此理由ヲ表スル觀察ハ如何ナルモノガ弊害デアアル、弊害ノ生ズルト云フ恐ガアルト云フコトハ、ドウ云フ點ニ觀察ヲシテソコニ言ハレタノデアアルト云フコトヲ伺ヒマス

○議長(星亨君) 百九十四番、今ハ逐條審議ノ内デアリマスカラ、其間ハ許シマセヌ

○岩崎萬次郎君(百九十四番) 私ハ逐條審議ノ上ニ意見ヲ述ブルニ就イテ私ノ考ニ必要ナリト思フカラ伺ヒマス

○議長(星亨君) 必要デハアリマセウガ、逐條ニ涉ツテ居ルカラ……

○岩崎萬次郎君(百九十四番) サウシマスト、斯ウ云フコトハ質問シテハナラヌト云フノデスカ

○議長(星亨君) ナラヌ

○岩崎萬次郎君(百九十四番) ドウシテナラヌ

○議長(星亨君) 二讀會ノ逐條ニ涉ツテ居ル質問デアリマスレバ宜シイガ……、ソレハ私ガ言ハヌデモ分ツテ居リマセウ

○岩崎萬次郎君(百九十四番) 分リマシタ

○曾我部道夫君(八十二番) 委員長ニ質問致シタイ、四國線ノ所デ一寸伺ッテ置キタイノデス、「德島縣下德島ヨリ前項ノ線路ニ接續スル鐵道」トアリマス、私ハ德島ノ選出デアリマスガ、是ガ讀メナイドウ云フ理屈ニ實際ナツテ

居リマスカ、御調ニナツタ時分ノ目的ヲ伺ッテ、自分ノ意見ヲ述ベタイ

○佐藤里治君(百四十八番) 其御質問ハ詰リ此第一項ノ「香川縣下」琴平ヨリ高知縣下高知ヲ經テ須崎ニ至ル鐵道、此線路ニ接續スルト云フコトデス

○曾我部道夫君(八十二番) 其線路デスカ、何處ヲ通ツテ此線路ニ接續スルカ、此琴平ト云フノハ山ノ中デアリマスガ……

○佐藤里治君(百四十八番) 琴平ヨリ須崎ニ至ル間ノ、ソレハ實測ノ上宜シイ所ニ接ガフト云フノデアリマス

○曾我部道夫君(八十二番) イヤ、文字ノ上ハ分リマスカ、此接續ノ工合ハ甚タ六ヶ敷イデス、私ガ想フニ……

○佐藤里治君(百四十八番) 詰リ之ヲ起草シタノハ、今ノ須崎ニ至ル迄ノ間ニ適當ナ所ヲ調査ノ上デ、之ヲスルト云フ意味ニ過ギナイデアリマス

○曾我部道夫君(八十二番) サウシマスルト、是ハ實際ハ格段御指定ニナラシメテメタト云フ譯デアリマスカ、一寸是ハ斯ウデアリマス、此德島ノ方カラ左リニ迴ッテ七十里以上アル……(聽取スル能ハズ)……二十里以内デアル、サウシテ國モ違フ、一寸左ニ往クト南海ノ方、日本ノ端ノ海岸ヲ通ツテ、右ニ讀岐ノ方ニ往クト内海ニ出ルデスカラ、誠ニ分ラヌ、又吉野川ト云フ川ニ沿フテ上ルト大變違フデス、是ハ此甲府線ノ……(聽取スル能ハズ)或ハ八王子カラ信州ノ御殿場——信州ニ往クノハモト開イテアル、ソコニハ……(聽取スル能ハズ)德島ニ唯接續スルト云フガ、此接續ノ仕方ガ日本ノ盡キル所ト、南ノ方ヲ迴ッテ接續スルカ、讀岐ニ迴ッテツケルカ、ドウナツテ居ルカ、八王子ヨリモツト大キナモノニナル、ソレヲ唯接續スルト云フ簡單ナ一言デハ、トント分ランデス、何カソコニ御見込ガ無イト、此線ハ甚ダ分ラヌ譯デアリマス

○議長(星亨君) 委員長答ヘマスカ

○佐藤里治君(百四十八番) 曩ニ答ヘマシタ通、詰リ此書イテ置キマシタ主旨ハ前項ノ線路ニ接續スルト云フコトデ、詰リ是ハ德島ヨリ琴平ノ方ニ出ルト云フ、其邊ハ調査ノ上ニ之ニ連絡ヲスルト云フ目的ヲ示シタノデゴザイマス、若シ是デ意味ガ分リマセンナラバ、土地ノ委シイ諸君ハ能ク御訂正ニナツタラ宜シイト思ヒマス

○曾我部道夫君(八十二番) 分リサヘスレバ宜シイ、ソレハ何處ヲ經マスカ、往キヤウニヨルト山バカリデ平坦ナ所ガナイ

○佐藤里治君(百四十八番) 矢張調査ヲ遂ゲタ上デ

○議長(星亨君) ドウデセウ、八十二番若シナシナラ修正スルト云フヤウナコトニシタラ……、委員長ハア、云フ答ニナツテ居リマスカラ……

○山口千代作君(五十八番) 私モ委員長ニ質問ガシタイノデス、今ノ德島ノ線路ノコトニ付イテ私ハ今少シク確メテ置キタイ、委員長ハ即チ委員諸氏ハ譯ノ分ラヌモノヲアレモ加ヘ、是モ加ヘト云フデ、加ヘテ置イテ今質問ヲサセウナ、(豫定ヲ豫定ダト呼ブ者アリ)ソレナラバ我々モ少シ考ガアリマス、ソレ等ハ十分疑ノ晴レルヤウニ御答辯アラント希望シマス

○達谷實信君(二百十二番) 私モ委員長ニ説明ヲ請ヒタイ

○佐藤里治君(百四十八番) 圖面ガアリマスカラ、圖面デ見マスト、圖面引イタ所ガアリマスカラ、之ヲ御覽ニナルト一番分ル

○議長(星亨君) 是デ宜シイカ、五十六番
○伊藤大八君(九十七番) 唯今ツノ續々ト此豫定線路ノコトニ付イテ御質問ガゴザイマスガ、私モ此委員ノ一部トシテ居リマシタカラ、其當時ノ委員會ノ意思ノアル所ヲ答ヘヤウト存シマス、唯今此……
(演壇ニ登リ給ヘ演壇ニ登リ給ヘト呼ブ者アリ)

(伊藤大八君演壇ニ登ル)

○伊藤大八君(九十七番) 唯今山口君カラエライ委員ハ粗漏ノ調査ヲシテ、何デモ勘デモ、机ノ上デ筋ヲ引ツ張ツタモ、デハナイカト云フコトヲ確メテ置キタイト云フ、サウ言ハレマシタノデゴザイマスガ、委員會ハサウ云フ机ノ上デ何デモ筋ヲ引ツ張ツテ置クコト云フ趣意デハナイ、豫定線路ヲ定メマシタノハ、是ハ斯クミ、ノ所ニ線路ヲ布カクテハ國家ノ經濟上或ハ軍事上不都合デアルト、コ、ノ所ニ線路ヲ置クノガ必要デアルト認メマス、例ヘテ見レバ唯今德島カラサウシテ前項ノ線路ニ接續スト申マスルノハ、琴平カラ高知ヲ經テ、サウシテ須崎ニ至ルト云フ線路ガ一本斯ウアルノデゴザイマス、ソレデワレカラ其線路ニ繋ガリマス、ハ、德島カラ起點ト致シマシテ、ソレハ高松ノ方ヘ迴テ往ツテモ、或ハ海岸ノ方ヘ出テソレニ接續シマシテモ、其邊ニ於テハ確定致シマセナンドゴザイマス、所謂德島カラ琴平カラ高知ヲ經テ須崎ニ到ル鐵道ヘ線路ニ接續スルト云フ、續ク線路ト云フモノヲ一ツ設ケサヘスレバ宜イト云フ説デゴザイマス、ソレデ海岸ノ方ヘ往キマセウカ、或ハ海岸デナイ、内地ノ高松ヲ經テ往ク、池田ト云フ、ソレ等ノ意見ヲ定メテ置キマセナンドカラシテ、何々ヲ經テト云フコトハ書イテ置キマセヌデゴザイマス、此段御承知ヲ願ヒタイ、其外序ノコトデゴザイマスルガ……
○達谷信敬君(二百一十一番) 私ハ御尋スルコトガアリマス、餘所ノコトハ一寸位見テモ實視シナイ所ハ分ラヌデ、本縣ノコトガ覺エテ置キタイ(笑聲起ル)巖手縣下盛岡ヨリ宮古若クハ山田ニ至ルト云フコトガアル、如何ニモ山田ノ中ニハ……海岸デ宮古ハ千戸位ハアル、ソレデ盛岡カラ宮古マデハ七十哩位アツテ、一片ノ縣道ヲ布ク……、其向フガ海デ、其向フガ亞米利加ダサウダガ(笑聲起ル)ドノヤウナ見込ガ此線路ニアリマスカ、大變コンナモノ……知ラヌコトダカラシテ是丈悲シク御尋ヲ致シマス
○伊藤大八君(九十七番) ドウ云フ御問デゴザイマスカ、要領ヲ得マセヌ、ドウ云フノデゴザイマスカ
○達谷信敬君(二百一十一番) 盛岡カラ宮古若クハ山田ニ到ルト云フ鐵道ハ、隨分難澁ノ所デアアル、今唯見込デアアルカラト云フ説モアルケレドモ、是ハ何處ヘモ寄り所ガナイ、宮古ヲ直チニ指シテ往ク丈デ向ウハドンナモノダト云ヘバ、大海デアツテ、向ウハ亞米利加ダサウダガ、七十哩モアル所ヲせんノ濱日本デモ險難ナ所ニ布クト云フノハドウ云フ見込デアリマスカト云フコトデゴザイマス

○伊藤大八君(九十七番) ソレハ矢張線路ヲ必要ト見タノデゴザイマス、不
必要デアリマスナラバ、ソレヲ辯駁ナサレタナラバソレデ宜イ、委員會デハ必要ト見テ居ツタ、經濟上及軍事上必要ダト見タ
○守野爲五郎君(七番) 委員長ニ御尋申シマスガ、私ガ第三條ニ由リ御尋シ
マスガ、二條ヲ見ルト「鐵道工事ハ緩急ニ應シテ其期限ヲ數期ニ區分シ
毎期ノ工事ヲ繼續事業トス」斯ウ書イデアリマス、然ルニ此數期ニ區分ストゴ

ザイマス、ケレドモ固ヨリ此豫定線路ト云フモノヲ何年間ニ了ヘルト云フコ
トハ確ニ見留ハ就イテハ居リマスマイ、ケレドモ此二條ニ澤山線路ガ載セテ
ゴザイマスカラ、大凡何年月位ニ是ガ了ヘルト云フコトハ概シテ御見込ガ
アルカ、ソレヲ伺ヒタイ、此伺ヒタイト云フノハ外デモナイ、二條ノ豫定線路
ノ中二期ノ分ツタモノガゴザイマスカラ、一期線路ノ中ニ明瞭スルカタメニ委
員會ノ報告ニ對シマシテ、其報告ニ修正ヲスルト言フテ、先刻來澤山出テ其
處カラモ出テ來ル、此處カラモ出テ來ルモンデスカラ、私ノ考ニ大凡何年位
デ出來ル御見込デアリマスカ、ソレヲ承ハラヌト云フト、第二章ヲ議スル見
込ガ立タヌ
○伊藤大八君(九十七番) ソレハ線路ヲ概シテ定メテ置ク丈ノコトデ、何年
頃カラシテ著手シテ宜イ、又ドノ線路ヲ第二期ニスルト云フコトハ委員會デ
ハ定メマセヌ、ソレハ此項ノナカノ御問ニ確ニ御答シマシタデ、速記録ヲ御
讀下サルト分リマス
○守野爲五郎君(七番) サウスルト三條ニ數期ニ區分ストゴザイマスガ、委
員會ニ於テハ一期丈ヲ定メテ、後トハ二ツニ分ケルヤラ三ツニ分ケルヤラ、
或ハ十年掛ルヤラ百年掛ルヤラ、分ラヌト云フコトデゴザイマス
○伊藤大八君(九十七番) 是ハ鐵道會議ノ撰擇ニ委スル積ダカラ、鐵道會議
ト云フコトガ下ノ項ニ付イテ居リマス
○山口千代作君(五十一番) 私ハモウ少シ問ヒマスガ、茲ニ豫定線路ヲ上
マシタ趣意ハドウ云フデゴザイマスルカ、是ヨリ外ニ必要ナノガナイト云
フ、是丈日本ニ於テ必要デアルト云フデアラウカ、是ハ唯贊成者ヲ得ル
メニ氣付メノタメニ斯ウセラレタノデアリマスカ、果シテ……

○議長(星亨君) 五十六番ドノ項デゴザイマスカ
○山口千代作君(五十一番) 第二條ノ豫定線路ノ所デゴザイマス、ソレデ此
外ニ若シ委員諸君ハナイト認メテ居ラレカ、唯今長野縣ノ通過加ガ出ルデ
アル、又外カラモ出ルデアアルカモ知レヌ、私ハ出ルコトヲ知ツテ居ル、ソ
ナラバ斯ウ云フ粗忽ナモノヲ議場ニ持出サナイデ、後トカラ出ナイヤウニシ
テ持出スカ宜イ、併シ是ハ氣休メニ出シタト云フハ、私ハ後トハ……
○伊藤大八君(九十七番) ソナナ氣休メニ出シタノデナイ、唯氣休メニ出シ
タト言ハレカモ知ラヌガ、必要ト見テ委員會ノ眼中ニハ豫定線路ノ外ニハ
必要ノ線路ハナイ、其他ニナイ、其他又必要ガアルト云フナラバ、其必要ヲ
鳴ラシテ此處デ修正ナリ、又不必要ナモノモ這入ッテ居リマセウカラ、是ハ諸
君ノ御隨意ニナサイマセ、委員會ノ見込ハ豫定線路ニ書イデアリマス通ノ見
込ナノデス

○太田實君(百四十番) 植民鐵道ノコトデアリマス、植民鐵道ノコトハ是ハ
其前ニ豫算委員會ノ時ニ鐵道線路調査費ヲ議スルニ當ツテ、政府委員ニ此鐵
道線路調査費ノ中ニハ、内地ノ鐵道調査費ガ載ツテ居ルノミデ、北海道ハ合
セテ含蓄シテ居ラカト問ヘバ、北海道ヲ調査スル費用ハ含蓄シテ居ラヌ、其
時ニ植民鐵道ハドウ云フ考デアアルカト云フト、未ダ十分ナル線路ノ豫定ガナ
イ、サウスルト鐵道當局者殊ニ此處ニ居ラレル松本君杯ハ此技術ニ委シク、
又北海道ニ委シイデアアル、ケレドモ未ダ十分ナル見込ハナイト言ハレタ、
然ルニ此鐵道委員會デハ植民鐵道ノ豫定ガ委シク出タノハ、定メシ十分ナル
調モアリ、又大凡據リドコロガアツテシタカ、或ハ注交ヲサシタカラ、ナ

○伊藤大八君(九十七番) サウ云フ意味デハナイノデアリマス、即チアナタ方達ハ之ヲ脱キタイト云フ御説モゴザリマセウガ、政府ガ今迄調査費ヲ要求スルニ出シテ參リマシタ繪圖ガゴザリマスガ、アノ繪圖ノ中ニ書イテナイノハ、定テ政府ガマダ調査ガ出來ナカッタラウト思フ、ソレ故委員會ニ於テハ北海道ノ事ヲ略、取調ヘマシテ斯クノ所ニ線路ヲ置ケバ植民スルニ都合ガ宜カラウ、豫定線路デアリマスカラ、キチントマダ達スル所ヲ示シテ置キサヘスレバ、ソレデ宜シ、又北海道ガドコノ地ガ盛デアリカラ、此鐵道ヲ要スルト云フヤウナ趣意デヤッタノデハナイ、誠ニ草莽タル所デモゴザリマス、ケレドモソコニ鐵道ヲ布クト同時ニ植民事業ヲ施スト云フ政策ヲ取ルニハ宜イト云フ積デ、植民鐵道ヲ置イタ、併ナカラ或論者ハ植民鐵道ニスルナラバ、是ハ北海道ノ所謂植民策トカナニト云フ中ニ入レルガ宜カラウト云フ説ガ、委員會ノ中ニモ見エタヤウデゴザリマス、ケレドモ均シク鐵道ノコトニ關係ヲ有シテ居ルコトデゴザリマスカラ、矢張北海道ノ線路モ北海道モ矢張日本ノ國ノ中デゴザリマスカラ、矢張其中ニ入レタ譯デアリマス、北海道ヲ他國視シタト云フ嫌ヲ避ケルタメニ、我ハ北海道ノ注意ヲシテソコニ線路ヲ置ケガ至當ト考ヘタカラ、置イタノデアリマス、別段誰ノ命ヲ受ケテヤッタト云フヤウナ、アナタ達ハヤルカ知ラヌガ、拙者共ハヤリマセヌ

○影山秀樹君(二百十八番) 三章ノ私設ノ處分ト云フ中ニ……

○伊藤大八君(九十七番) 三章デスカ、三章ハマダ議題ニナリマセヌカラ、議題ニナラズト云フ

○有友正親君(百七十三番) 此法案ガ可決スルトシマスルト云フト

○議長(星亨君) 百九十六番ニ許シマス

○平林九兵衛君(百九十六番) 第二條ノ……其設計及哩數デゴザリマス、略、大凡何哩ト云フ……之ヲ御入ニナルニハ一條々ハ別ケテ御入レニナルデアリマセウカ、一々決定シタ金高哩數ハ何哩アルト云フコトヲ伺ッテ置キマセヌト……、神奈川及八王子長野山梨ナドト云フヤウナ決定金額ハ幾ラ、哩數ハ幾ラト云フコトヲ御示ニナリタイ

○伊藤大八君(九十七番) 百九十六番デゴザリマスカノ御問デゴザリマスガ唯今席ニ其現由書ヲ置イテ參リマシタガ、確カ唯今御問ニナリマシタコトハ鐵道布設法ノ理由書ノ仕舞ノ方ニ精シク書イテアルト存ジマスカラ、ソレヲドウカ御一讀ヲ願ヒタイ、私ガ此處デ御答申スヨリ其方ガハツキリ分リマス

○曾我部道夫君(八十二番) 段々書類等モ取寄セテ見マシタガ、此處デ公然ト承ハッテ置キタイ、斯ウ云フコトダラウト思ヒマス、德島縣下德島ヨリ前項ノ線路ニ接續スル鐵道ト云フノハ、吉野川ヲ沿フテ脇町ニ至リ、脇町ヨリ讚岐國高松ニ出テ琴平線ニ接續ス、ソレカラ脇町カラ高松ヲ貫イテ三好郡竹田町ニ至リ、接續スルト云フ、此二ツノ線ヲ決定スルト云フヤウナコトデアアルカ、果シテ然ルヤ否ヤト云フコトヲ承ハッテ置キタイ

○伊藤大八君(九十七番) サウ云フ意見ハゴザリマシタケレドモ、サウ云フコトヲ精シク書イテ置キマスルト云フト、其近傍ノ竹田ナラバ竹田ノ近傍ニ行ッテモ竹田ニ來タカラト云フテ後トテ苦情ガ出マスカラ、十分調査ヲ遂ゲ

テ確ニ此處ニ鐵道ガ出來ルト云フコトデナイト某ヲ經テドコカラドコニ行クト云フコトヲ精シク言ッテ置キマセヌ、ソレヲ言ッテ置クト云フト……

○曾我部道夫君(八十二番) 國ガ違ッテ御殿場ト今ノ八王子線トヲ大變大ニ……一方ハ讚岐ノ方ニ大津ニ向ッテ行ク、ソレハ果シテサウナラバ、實ニ私ハ次ニモウ一線路ヲ加ヘテ置カナケレバナラヌト思ヒマス

○伊藤大八君(九十七番) ソレガ不十分デ其意味ガ分ラナイト云フ譯デゴザリマスレバ、ドウカ修正説ヲ御出シ下サッテ明瞭ニスルヤウニ願ヒタイ、強テ委員ニ於テハ此通ニ通過ヲ願ハウト云フ譯デアリマセヌ、多數ノ意見デ修正スルナラ、ソレニ從フノデゴザリマス

○折田兼至君(百五十八番) 質問致シマス、ゴク必要ナ質問デアリマス

○議長(星亨君) ナンデス

○折田兼至君(百五十八番) 詰リ第三條第四條第五條第六條ノコトニ就イテ、之ヲ括メテ質問シタイノデアアル、ソレハ本員ノ質問スルノハ、委員ニ質問スルノデナイ、斯ル大事業ヲ起ス場合ニ於テハ自ラ莫大ナル費用ヲ要スルコトデアリマスカラ、政府ノ財政ノ都合ト云フコトヲ質問シテ置クノハ實ニ必要ナルコトデアアル、必ズ質サンケレバナラヌコトデアアル、ソレデ幸ニ大藏大臣モ出席サレテ居リ、先刻マデ大藏次官モ御出席デアリマスカラ、此處デ聊カ財政ノ都合ヲ質問シタイノデアアルト云フノハ、此委員ノ拵ヘタ所ノ案デ見マス

ト、丁度政府ヨリ提出サレタ所ノ夫ノ三千六百哩内外ト云フ總體ニ計畫ノ近キ所ノ線路デアアル、サウシテ此三千六百哩ニ對スル政府ノ經費豫算額ハ殆ト二億一千六百萬圓デアアルト掲ゲデアリマス、ソレカラ若シ此案ガ……布設法ガ通過スルトシマスレバ、自ラ此中ノ第三條ニ掲ゲテアルト云フ買収シナケレバナリマセヌ、其買収ニ對シテ公債ヲ募集シナケレバナラヌ、此都合ニシマスレバ、殆ト三億以上ノ公債ヲ募集センケレバナラヌコトニ、結果ガナラダラウト思ヒマス、然ルニ現政府ノ見ル所デハ斯様ナ廣大ナル事業ヲ起シ、斯ル莫大ナル公債ヲ募集スルコトガ出來得ルト云フコトガ、實ニ見込ガ立ッテ居ルダラウカ否ヤ、政府ノ財政ノ都合ヲ此場合ニ於テ示サレンコトヲ質問スルノデアリマス

○議長(星亨君) ソレハ何條ニアリマス、ソレナコトハドコニ書イデアリマス、何レ逐條ノコトデアアルカラ……

○折田兼至君(百五十八番) 詰リ三條四條五條六條ト云フモノヲ括メテ質問スルノデアリマス、之ニ對シテ是カラ生ズル所ノ結果ニ附イテ質問スルノデアアル、決シテ出來ヌコトデハナイ

○議長(星亨君) ソレナラ質問ヲ許シマス

○折田兼至君(百五十八番) ソレデ詰リ質問ハ今言フタ通デアリマス、斯ル莫大ナル費用ヲ掛ケテ工事ヲシテモ、決シテ差支ガナイ、斯ル莫大ノ公債ヲ募集スルコトガ出來得ル、之ニ對スル利子ヲ仕拂フコトガ、國庫ニ於テ隨分出來能フコトガアルト云フ考デアルヤ否ヤ、大藏大臣ナリ、大藏次官ナリ、政府委員ナリガ來ッテ答辯アラムコトヲ求ムルノデアアル

○鈴木昌司君(九十三番) 唯今折田君ハ何カ政府委員ニ質問スルヤウデスカ、果シテサウデスカ

○折田兼至君(百五十八番) 妙ナ御問デアリマスガ、本員ガ質問シタハ茲ニ出テ居ラル、政府委員カラ答ヘラレムコトヲ望ムノデアアル、何ノ御用ニ

テ確ニ此處ニ鐵道ガ出來ルト云フコトデナイト某ヲ經テドコカラドコニ行クト云フコトヲ精シク言ッテ置キマセヌ、ソレヲ言ッテ置クト云フト……

○曾我部道夫君(八十二番) 國ガ違ッテ御殿場ト今ノ八王子線トヲ大變大ニ……一方ハ讚岐ノ方ニ大津ニ向ッテ行ク、ソレハ果シテサウナラバ、實ニ私ハ次ニモウ一線路ヲ加ヘテ置カナケレバナラヌト思ヒマス

○伊藤大八君(九十七番) ソレガ不十分デ其意味ガ分ラナイト云フ譯デゴザリマスレバ、ドウカ修正説ヲ御出シ下サッテ明瞭ニスルヤウニ願ヒタイ、強テ委員ニ於テハ此通ニ通過ヲ願ハウト云フ譯デアリマセヌ、多數ノ意見デ修正スルナラ、ソレニ從フノデゴザリマス

○折田兼至君(百五十八番) 質問致シマス、ゴク必要ナ質問デアリマス

○議長(星亨君) ナンデス

○折田兼至君(百五十八番) 詰リ第三條第四條第五條第六條ノコトニ就イテ、之ヲ括メテ質問シタイノデアアル、ソレハ本員ノ質問スルノハ、委員ニ質問スルノデナイ、斯ル大事業ヲ起ス場合ニ於テハ自ラ莫大ナル費用ヲ要スルコトデアリマスカラ、政府ノ財政ノ都合ト云フコトヲ質問シテ置クノハ實ニ必要ナルコトデアアル、必ズ質サンケレバナラヌコトデアアル、ソレデ幸ニ大藏大臣モ出席サレテ居リ、先刻マデ大藏次官モ御出席デアリマスカラ、此處デ聊カ財政ノ都合ヲ質問シタイノデアアルト云フノハ、此委員ノ拵ヘタ所ノ案デ見マス

ト、丁度政府ヨリ提出サレタ所ノ夫ノ三千六百哩内外ト云フ總體ニ計畫ノ近キ所ノ線路デアアル、サウシテ此三千六百哩ニ對スル政府ノ經費豫算額ハ殆ト二億一千六百萬圓デアアルト掲ゲデアリマス、ソレカラ若シ此案ガ……布設法ガ通過スルトシマスレバ、自ラ此中ノ第三條ニ掲ゲテアルト云フ買収シナケレバナリマセヌ、其買収ニ對シテ公債ヲ募集シナケレバナラヌ、此都合ニシマスレバ、殆ト三億以上ノ公債ヲ募集センケレバナラヌコトニ、結果ガナラダラウト思ヒマス、然ルニ現政府ノ見ル所デハ斯様ナ廣大ナル事業ヲ起シ、斯ル莫大ナル公債ヲ募集スルコトガ出來得ルト云フコトガ、實ニ見込ガ立ッテ居ルダラウカ否ヤ、政府ノ財政ノ都合ヲ此場合ニ於テ示サレンコトヲ質問スルノデアリマス

○議長(星亨君) ソレハ何條ニアリマス、ソレナコトハドコニ書イデアリマス、何レ逐條ノコトデアアルカラ……

○折田兼至君(百五十八番) 詰リ三條四條五條六條ト云フモノヲ括メテ質問スルノデアリマス、之ニ對シテ是カラ生ズル所ノ結果ニ附イテ質問スルノデアアル、決シテ出來ヌコトデハナイ

就イテ本員ガ何處へ質問ヲシタトカ云ツテ答メラレルハ、一向本員ニハ分ラナイ

○議長(星亨君) 今政府委員ガ出テ居ラヌデスガ……

○總理大臣兼大藏大臣(伯耆松方正義君) 演壇ニ登ル

○總理大臣兼大藏大臣(伯耆松方正義君) 今折田君ノ御質問ハ、大體財政上ノ上ニ是ヲ公債證書ヲ募集シテ差支ナイカト云フノ御質問デセウ

○折田兼至君(百五十八番) 其通

○總理大臣兼大藏大臣(伯耆松方正義君) サウデセウナ(折田兼至君サウデス)勿論差支ハアリマセヌ、ト云フガ最初ノ原案ニハ年々四百萬圓宛募集スル積デアツタノデス、併シコノ修正案ニハ年々五百萬圓宛募集スルコト云フコトガアリマシテ、百萬圓宛ニシテハ居マヌルケレドモ、此案ガ設令議決致シマシタ所ガ財政上ノ上ニハ決シテ差支ナイ、如何トナレバ一度ニ何千萬圓ト云フモノヲ募集スルノデハ、ナクテ、一箇年ニ五百萬圓ツツト云フノデアリマヌレバ、決シテ差支ナイ、又此償還ノ方モ年々四百萬圓以上ノ償却ハ致シテ參リマスカラ、大體ノ上デハ設令五百萬圓ツツ年々募集致シマシタ所ガ、ソレ丈ノ増加ハ無イデゴザリマス、宜シイナ

○折田兼至君(百五十八番) 宜シウゴザリマス、ソレ丈ハ分ツテ居マス

(藤澤幾之輔君演壇ニ登ル)

○藤澤幾之輔君(九番) 本員ハ第二條ノ中奥羽線路ニ當ツテ居リマスル第二項ノ所ニ對シテ修正ヲ提出致シマス、奥羽線路ノ第二項ト申セバ即チ宮城縣ニ掛テ居ル、宮城縣ト山形縣トノ連絡ヲ計ラウトスル線路デゴザリマス、サウシテ私ハ宮城縣選出ノ議員デゴザリマシテ、宮城縣ニ關スル所ノ線路ヲ修正シ、殊ニ其修正ハ幾許カ此線路ヲ延長シヤウト云フノデゴザリマスカラ、此鐵道問題ニ就イテハ世間デ言フテ居リマスガ、各分捕功名ヲシヤウトスルモノデアリ、即チ奥羽線路ニ就イテ私カ延長ノ修正ヲ致シマヌレバ、矢張此分捕功名ノ主義ヲ實施致スカノ如クニ聞エテ甚ダ心苦シキ次第デアル、故ニ私ハ此修正案ノ提出ハ差扣ヘヤウト考ヘマシタガ併ナガラ委員諸君ノ他ニ對スル挨拶ヲ聽イテ見マス云フト、此豫定線路ニ擇ヒ舉ケタ所ノ線路ハ設令第一期ニ於テ此布設ヲナスモノデナクモ、我邦ニ於テ必要アルモノヲ見出サヌト云フガ如キ御答辯ガアツタノデゴザリマス、故ニ私ハ此修正ノ動議ヲ提出致シマシテ、是ヨリ修正シヤウトスル所、即チ延長ヲ計ラウト致シマス所ノ線路ハ、實ニ經濟上ノタメニ又國防上ノタメニ頗ル必要ナルモノデアルト云フコトヲ明ニセント致シマスル、尤モ私ハ先キニ申述べタル通奥羽選出ノ議員デアツテ、而シテ奥羽線路ニ關シテ延長ヲ計ル者デゴザリマスカラ、分捕ノ主義ノ實施ト御見做シ、或ハアルカモ知レマセヌケレドモ、私ハ決シテ此第一期ノ線路中ニ此線路ヲ加ヘテ戴キタイト云フコトヲ望ム者デハゴザリマセヌ(公平ト云フ者アリ)即チ今茲ニ修正致シマシテモ十年ノ後ニ鐵道ガ敷設ニナルヤラ或ハ二十年ノ後ニ敷設ニナルヤラ分リマセヌ、ケレドモ既ニ此豫定線路ト云フモノハ必要ノ線路ヲ相集メタモノデアルト云フコトヲ言ハル、上ニ於テハ、國ノタメ即チ此修正ヲ爲シ置キマスルヲ必要ト認メマス譯デゴザリマス、故ニ分捕主義ノ實施トハドウカ御看做ナカランコトヲ希望シマス、併シ御看做アツテモ差支ナイ、私ガ此修正致シマスルコトヲ望

ミマスルノハ、奥羽線路ノ中第二項ニ「宮城縣下仙臺ヨリ山形縣下天童若クハ宮城縣下小午田ヨリ山形縣下船形町ニ至ル鐵道」ト云フ箇條ガゴザリマス、之ヲ僅ニ修正致シテ置キタイト云フノデゴザリマス、ドウ云フ風ニ修正致スカト云フナラバ宮城縣下仙臺ヨリ天童ト云フ所迄ハ此儘ニ致シマシテ「若クハ宮城縣下石ノ巻港ヨリ小午田ヲ經テ山形縣下船形ニ至ル鐵道」即チ宮城縣下ノ下ニ「石ノ巻港ヨリ小午田ヲ經テ」ト云フ文字ヲ挿入致シマスルニ止リマス、今更申述べマセンデモ、既ニ今日ナリマシテハ諸君ハドナタモ御承知デゴザリマセウガ、奥羽ト云フ場所ハ實ニ其土地ガ廣濶デアル、誠ニ廣イ、併シ廣イ割合ニハ人口ト云フモノハゴザリマセヌ、誠ニ土地ニ比較致シマシテハ人口ガ寡イ、從ツテ遺利ノ收拾スベキモノガ隨分多イ、勢カラヌ譯デゴザリマス、處ガ此遺利ヲ收拾セントスルニハドウシタラ宜カノウカト云フニ、此交通運輸ノ便ト云フモノヲ盛ニ開カナケレバナリマセヌ、御承知ノ通三陸、即チ陸前陸中陸奥、兩羽即チ羽前羽後、此地勢ハ丁度背ト腹トノ關係ヲ爲シテ居ル位ニナツテ居ル、即チ背腹相隔絶シテ全ク其交通運輸ノ便ヲ缺イテ居リマス、故ニ此場所ニ於テ交通運輸ノ便ヲ開クトスレバ、是非トモ此兩羽ヨリ三陸ニ、若クハ三陸ヨリ兩羽ニ通ズル丈ノ捷路ヲ開カナケレバナラヌ、殊ニ御承知モゴザリマセウガ、此兩羽ノ地ハ日本海ニ面シテ居ル所デゴザリマスル、故ニ此運轉期即チ冬ニ至ツテハ、風浪ノタメニ頗ル海上ガ危險デゴザリマス、故ニ此運轉期即チ海上ニ於テ運轉ノ利益ヲ受クルコトハ、僅ニ一箇年ノ中五六箇月ニ過ぎナイ、故ニ此兩羽カラ三陸ノ道ヲ開キマスレバ、即チ自由ニ運輸ノ便ヲ得ル、即チ是迄感シマシタ所ノ不便ト云フモノヲ救フコトガ出來ルノデス、斯ク申シマシタナラバ或ハ既ニ東北鐵道ガアルデヤナイカ、日本鐵道會社ノ東北線奥羽線ガアルデヤナイカ、此案ニ於テモ更ニ山形秋田ヲ經テ青森ニ達スル線ガアルデヤナイカ、然ラバサウ云フ憂ハナイ管デアリト云フ御議論ガアルカモ知レマセヌガ、是ハ少シ違ヒマス、其違フ譯ト申シマスルハ、奥羽カラ產出致シマスル物產ト云フモノハ、何ガ一番多イカト斯ウ云ヘバ即チ米デス、又奥羽ニ他カラ輸入ニナツテ來ル所ノ物產ハ何デアアルカト云フト、即チ北海道ノ海產物ガ多イ、其中ニ肥料ガ多イ——魚鱈ノ如キモノガ多イ、故ニ斯ウ云フ種類ノモノハ、容積ガ嵩ム物ガ多イ次第デアリナケレバナラヌ、處ガ今日海ニ通ジマスル鐵道ガ布設シテアルカナイカト云ヘバ、一モゴザリマセヌ、然ルニ幸ニ此委員會ノ修正案ニ依リマスルト云フト、小午田ト云フ所迄鐵道ヲ布設スル案ヲ提出シテ居ル、サウシテ小午田カラ石ノ巻迄ハドウ位アルカト申シマスル、唯僅ニ六七里外アリマセヌ、石ノ巻ト云フ場所ハ諸君モ御承知デゴザリマセウガ、奥羽ノ港デス、年々是迄石ノ巻カラ米穀等ヲ輸出スル其額ガ六十萬石ヲ下ラナイ、ナカク大シタモノデゴザリマス、然ルニ今小午田迄鐵道ガ布設スル見込ガ立ツテ居ルガ、ソレカラ此石ノ巻ノ計畫ハ委員ガシテ居ラナイ、若モ此修正說ガ通りマシタナラバ東京カラ船ヲ持ッテタ所ノ荷物ハ荻ノ濱ニ上テ直チニ此線路ニ掛ッテ山形秋田ニ運搬スルコトガ出來ル、又北海道ノ海產物モ荻ノ濱カラ石ノ巻ニ出テ、此線路ヲ運アコトガ出來ル、又秋田或ハ山形等ノ米穀ハ又此線路ニ依ッテ、是迄ノ如ク——是迄ハ運賃ガ非常ニ高イ——安イ所ノ運賃ヲ以テ石ノ巻ノ港ニ運ンデ、サウシテ船ノ力ヲ以テ之ヲ他ニ輸出スルコトガ出來ル、斯ウ

云フ場所デゴザイマスカラ、實ニ此經濟上ノタメニ交通ノ便ヲ與ヘルタメニハ必要ナル所ノ線路ニ係ルテ居リマス、ソレカラモウ一ツ鐵道ヲ布ク丈ノ利益ガアル、ソレハ何デアルカト云フト、石ノ巻ハ一方ニハ萩ノ濱ト云フ港ニクツツイテ居ル、ソレカラ一方ニハ女川灣ト申シマシテ先年海軍ノ要港ト定メラレタ所ノ所謂軍港ニクツツイテ居ル、故ニ一方ニ於テハ海軍ノ要港タル女川灣ノ兵ヲ運ブコトガ出來ル、又萩ノ濱ニ上陸シタ兵ヲ引入レルコトガ出來ル、物產ノ點ニ於テハ先キ申シタ關係デゴザイマス、故ニ此線路ハ實ニドチカラ見マシテモ必要ハ頗ル明瞭ノモノデアリマス、ソレカラ然ラバ之ヲ布設スル丈ノ費用ハ、ドノ位掛ルト調ベテ見マスルト、唯僅ニ六七里外アリマセヌ——小午田カラ六七里、而カモ小午田ノ方カラ海ニ行クノデアリマスカラ山ハ一モアリマセヌ、川モ一ツモアリマセヌ、又實ニ平坦ナル所ヲ行クノデアリマス、故ニ工費ノ如キニ至ッテハ安イ所ニナルト、平均二萬五千圓位ダサウデゴザイマスガ、此邊ニ布設致シマシタナラバ僅ニ二萬圓ソコノデ布設スルコトガ出來ルダラウト思ヒマス、故ニ此工事ノ費用ハ又甚ダ少イ然ラバ是カラ上ル利益ハドノ位カト云ヘバ、先キニ申述ベマシタ通、大利益ガアル、經濟上ニモ軍事上ニモ大利益ガアル、先年——夢ヲ談ズルモノト御聽ヲ願ヒマスガ——先年石ノ巻ニ鐵道會社ヲ興シテ、此場所ニ鐵道ヲ布設スル積デ計畫シタコトガアッテ、其計算ガゴザイマス、小午田カラ石ノ巻迄ノ運輸ノ人ノ數、或ハ物ノ數等ヲ精密ニ調べマシテ、之ヲゴク安ク積ッテモ、一箇年九萬圓以上ノ利益ガアル、二十萬ソコノ金ヲ掛ケテ、サウシテ九萬圓以上ノ利益ヲ得ル、頗ル妙デス、妙デスガ私立會社デアレバ五六里ノ間デゴザイマスカラ會社デハ機關車——鐵道ヲ布ク丈ノ機關車モナクテハナラス、人ノ車、荷車、役人——ソレ相應ノ役人モ家モ道具モナケレバナラス、故ニ到底是デハ致方ガナイト言ッテ、今日迄拾置イタ譯デゴザイマスカラ、利益ハ上ラナイト云フ譯デモゴザイマセヌ、之ヲ要スルニ此場所ハ唯茲ニ掲ゲテ置イテサウシテ、布設シテ貰ヒタイト云フノデハナイ、豫定線路ノ中ニ入レテ置ケバ政府モ社會モ之ヲ取調ベルコトニナリ、必要ヲ見ルヤウナ時ガアッテ、サウシテ之ヲ明ニスレバ、一步ヨリ一步ト速ニ是等ノ所ニ即チ此鐵道ガ布設スルヤウニナル利益ガアルト思ヒマスルガ故ニ、即チ國家ノタメニ此線路ヲ現ハスコトノ必要ヲ感シマシテ、此修正案ヲ提出スル譯デゴザイマスカラ、諸君何卒御贊同アラントヲ希望致シマス

○議長(星亨君) 二百十三番

(藥袋義一君演壇ニ登ル)

○藥袋義一君(二百十三番) 私ハ此北海道線ヲ削除スルト云フ意見ヲ提出シテ置キマシタ、豫定線路ノ斯クノ如ク列舉致シマスルノハ、強チ無用ナコトデハゴザイマセヌ、全ク必要ナコトデ、唯北海道線路ヲ爰ニ掲ゲマシタノハ、甚其理由ノアル所ヲ解シ得マセヌ、重モニドウ云フ目的デアルカト委員ニ尋ネマスレバ、植民鐵道デアアル、將來北海道ノ鐵道ハ必要ナモノデアルカラ、

今日ニ豫定シテ置クノデアルト云フ、斯ウ云フコトデゴザイマス、サリナガラ此豫定線路ノ中ハ大概ハ將來ニ必要デアルト云フコトハ、委員ノミナラズ一體ニ其土地ノ者モ希望シテ居リマスルシ、他日鐵道ヲ布カネバナラヌト云フコトハ大概分ッテ居リマス、唯此北海道線路ニ至ッテハ、其考案ハ孰デアルカ、此線路ノ至ルベキ所ニハ何レノ危險ノ所ガアルカ、天險決シテ人爲ノ動カスベカラザル場所ガアルカ、是ハ尋ネテアリマセヌ、唯之ヲ尋ネル所ノモノハ地圖ニ據ッテ、大凡線路ヲ描イタト云フニ過ギマセヌノデゴザイマス、稍今日何レノ物產ガ出ルトカ、或ハ爰ニ鑛山ガアルトカ、何トカ……金鑛ガアルトカ云フコトガ確然立ッテ居リマスト云ヘバ、此豫定線路モ必要デゴザイマスガ、決シテサウ云フコトハ無イヤウデゴザイマス、先ヅ以テ此北海道ヲ除イテ内地ダケニ線路ヲ設ケルト云フコトガ必要カモ知レマセヌ、先刻委員ノ申サレマシタノニハ、北海道モ入レテ置クガ宜イト云フ位ニ過ギマセヌ、此豫定線路ノ輕々ニ看過スルコトガ出來ヌコトガゴザイマス、即チ「以上ノ線路ヲ變更スル時ハ帝國議會ノ協贊ヲ經ルト云フコトデゴザイマス、餘程重大ナコトニナッテ居リマス、苟且ニモ日本ノ版圖ニアル土地デアルカラ、鐵道ノ豫定ヲシテ置クト云フコトデハナラヌ、若モ北海道ニ置クト云フナラバ、琉球ニモ置カナケレバナラヌト云フヤウナコトガゴザイマス、此北海道ノ政策ハ孰レ別問題デゴザイマシテ、鐵道ヲ先キニ布イテ開拓ヲスルカ、又港灣ヲ築イテ開拓ヲスルカ、孰レ他日ノ一問題ニナラウト思ヒマス、併シ先ヅ豫定線路ノ中ニ掲ゲルコトハ、少シク時機ノ早計ニ失スルコトデアラウト思ヒマス、一言述ベテ置キマス

(討論終結ト呼ブ者アリ贊成々々ノ聲起ル)

○森隆介君(十三番) 議長……動議ヲ起シマス

○議長(星亨君) 何デス

○森隆介君(十三番) 動議ヲ起シマス

○議長(星亨君) 動議トハ……

○森隆介君(十三番) 動議ノ意見ヲ述ベタイ

○議長(星亨君) 討論終結ノ動議ガアリマスセ、……討論終結ノ動議ガアッテ贊成ガアルカラ決ヲ採リマセウカ、(贊成々々ノ聲起ル)討論終結ノ動議ニ贊成ノ方ハ起立

起立者

多數

○議長(星亨君) 多數ト認メマス、討論ハ終結トナリマシタ……是ヨリ……

○井上角五郎君(七十六番) 本員ハ採決ノ方法ニ就イテ、一寸一言致シタウ

ゴザイマス……ソレハ唯今ノ議事ハ第一章ノ議事デゴザイマスガドウカ一條

毎ニ決議ヲ願ヒタイト云フ希望デゴザイマス

(贊成々々ノ聲起ル)

○議長(星亨君) サウハ行カヌ所ガアリマス、修正ナドガアルカラサウ云フ所ハ別ニ採ラナケレバナラヌガ、先ヅヤッテ見マセウ

是ヨリ即チ決ヲ採ッテ參リマスガ、一條二條、即チ採レル所ハサウ云フヤウニ採リマス、採レナイ所ハ他ノ方法ニ依リマス
先ヅ第一條ヨリ採リマスガ、即チ此鐵道布設法案第一章總則第一條云々ト云フ、是ヲ決ヲ採ラウト思ヒマス

〔異議ナシ異議ナシト呼ブ者多シ〕

○議長(星亨君) ヲレナラバ修正案通り可決致シタコト、認メマス
第二條……第二條ノ豫定線路ハ左ノ如シ、中央線、是迄ヲ決ヲ採リマス

〔異議ナシ異議ナシト呼ブ者多シ〕

○議長(星亨君) 左様ナレバ修正案通り決シマス
次ニ中央線ノ中ノ、神奈川縣カラシテ愛知縣下名古屋ニ至ル線路、是迄ヲ決ヲ採ル積デゴザイマスガ、是デ異論ガ無ケレバ……

〔異議ナシ異議ナシト呼ブ者多シ〕

○議長(星亨君) 然ラバ是ヨリ長野縣下長野云々、此一項ハ修正案ガゴザイマス、ソレデ修正案ヨリ採リマスガ、立川雲平君ノ修正案、又ハ同縣下御代田ヨリ雨塚街道ヲ經テト云フ、是ヲ決ヲ修正スルト云フコト、其修正說ニ同意ノ方ハ起立

起立數 少數

○議長(星亨君) 少數ト認メマス——尙ホ念ノタメニ決ヲ採リマスガ、即チ委員會ノ修正ニ同意ノ方ハ起立ナスッテ下サイ

起立者 多數

○議長(星亨君) 多數ト認メマス——是ヨリ山梨縣下甲府ヨリ、ズト此外ニ修正說モ何モ出テ居ラヌデゴザイマスカラ、修正說ノ出ナイ所ハ一緒ニ決ヲ採ラウト思ヒマス、此「福島縣下福島」此項迄ハ別ニ修正說ガ無イ(異議ナシ異議ナシ)左スレバ委員會ノ修正通ニ可決致シマス
此宮城縣下云々ノ一項ニ修正ガゴザイマス、ソレハ九番ノ藤澤幾之輔君ノ動議デアリマス、石ノ巻港ヨリ云々……是ヨリ此決ヲ採リマス、即チ九番ノ修正說ニ同意ノ方ハ起立

起立者 多數

〔多數々々異議ナシト呼ブ者アリ〕

〔書記官起立ノ數ヲ計算ス〕

○議長(星亨君) 少シ立テ居テ御貴ヒ申シマセウ、何ダカ少シ迷ッテ居リマス……今見タ所デハドウモ分リマセヌカッタサウデアリマス、モウ一遍……

起立者 多數

〔多數々々異議ナシ異議ナシト呼ブ者アリ〕

○議長(星亨君) 多數ト認メマス、石巻港ヨリ九番ノ說ノ修正ニナリマス——是ヨリ巖手縣下ノ一項ヨリ、即チ此北海道線ノ前迄ヲ決ヲ採リマス

〔異議ナシ異議ナシト呼ブ者多シ〕

○議長(星亨君) 異議ガナケレバ修正通可決シマス、ソレカラ北海道線削除

說ガアルカラ、即チ之ニ付イテ決ヲ採リマス、藥袋君ノ修正案ガアリマスガ、是ハ原案ノ決ヲ採ルヲ以テ……

〔原案デハナイト呼ブ者及分ラヌ改メテト呼ブ者アリ〕

即チ此原案ト云フノハ委員ノ修正案ト云フ意味デアリマス、即チ委員ノ修正ニ異議ノナイ方ハ起立ナスッテ下サイ

起立者 少數

〔多數々々ト呼ブ者アリ〕

○議長(星亨君) 少數デアリマス、サウスルト此北海道線路ハ削除ニナリマス

○安東九華君(二百三十番) 是ハ修正說ガ熊本線路……

〔マダト呼ブ者アリ〕

○議長(星亨君) マダ私ノ方ニハ出テ居リマセヌガ

〔分ツタ分ツタト呼ブ者アリ〕

○議長(星亨君) 尙ホ決ヲ採リマスガ「以上ノ線路ニ」ヨリ第一章ノ末條迄別ニ修正モ出テ居リマセヌカラ……

〔異議ナシ異議ナシト呼ブ者アリ〕

○議長(星亨君) 然ラバ委員會ノ修正ノ通ニ決シマス——是カラ第二章ヲ會議ニ掛ケマス、朗讀ハ省キマス

○關直彦君(百十七番) 修正說ヲ出シテ宜シウゴザイマスカ

○議長(星亨君) サウスルト關君、通告ガ先キニ出テ居ルノガアリマスカラ

○關直彦君(百十七番) 後トデモ宜シウゴザイマス

○議長(星亨君) 百七十六番

○石田貫之助君(百七十六番) 私ハ百十七番ノ後トニ致シマス、關君ノ後トニ致シマス

○議長(星亨君) サウスルト五十六番ガ出テ居リマス

〔山口千代作君演壇ニ登ル〕

○山口千代作君(五十六番) 私ハ此(簡短ニ願ヒマス)第七條ニ修正ヲ加ヘタイ意見ヲ抱イテ居ル者デゴザイマス、併ナガラ此一期鐵道ノ公債補助法ノコトニ就キマシテハ、餘程是ハ關係ノアルコトデゴザイマスカラ、簡短ト云フ御注文モゴザイマスガ、或ハ長クナルカ知レマセヌ、ドウカ其邊ハ御含置ヲ願ヒマス、偕テ私ガ此條ニ就イテ修正ヲ加ヘ様ト思ヒマスノハ、ドウ云フコトカト云フタナラバ、一體此修正案ト云フモノハ誠ニ不都合極マツタモノデア

アル、斯ウ云フ法案ヲ帝國議會ガ通過致シマシタナラバ、國家ノ經濟上或ハ其他ノ事ニ非常ナ、影響ヲ及シテ來ルデアラウト思フ、ソレデ私ハ餘程此事ニハ痛嘆致シマシテ、同意者ヲ募ッテ此修正案ヲ出ス備ヲ致シタノデア

ル、餘程多數ノ同意者モ得テアツタ、然ルニ既ニ提出セントスル場合ニナッテ、或ハ何ノ都合ガアルカラ止メテ吳レイトカ、斯ウ云フ都合ガアルカラ止メテ吳レイトカ、何カ御都合主義ガアル様子デ、終ニ私ハ其案ヲ提出スル

コトモ見合ニナツタ次第アリマスカラ、私ノ説ニ賛成者ガナイカ知リマセヌ、或ハ此儘討死スルカ知リマセヌガ、一旦國家ノタメニ考ヘタコトヲ止メテ仕舞フト云フコトハ出來マセヌカラ、好シ一人ノ賛成者ガナクモ、私ノ精神ヲ國家ニ知ラシテ置クコトハ必要ノ事ト考ヘマスカラ、或ハ此案ニ同意ノ諸君ノ忌諱ニ觸ル、カ知リマセヌガ、已ムナク自分ノ精神ヲ是ヨリ陳述スル積デアリマス

倍テ此鐵道ノ布設ト云フコトニ就キマシテハ、餘程重大ノ問題デゴザイマシテ、經濟上ニモ軍事上ニモ關係ヲ及ボスコトデゴザイマスカラ、公明正大ノ思想ヲ以テ自分ノ利益ト云フコトヲ去ツテ、一ツ考フ起サナケレバナラナイノデアアル、然ルニ此法案ノ出來タ有様及今日議場ノ有様ハドウカト云フニ、言ヲ待タズシテ御分リデゴザイマセウ、此法案ハ政府提出ノ法案ヨリ殖ニルコトガ餘程餘計ナコトデアアル、ソレカラマダ飽足ラズシテ今九線路ト云フ説ノ提出者モアツテ、既ニ活版ニナツテ廻リ居ル、ソレカラマダ殖ヤスト云フコトデ、宛モ地方ノ縣會杯道路開鑿ニ或ハ東ノ道路ヲ付ケテ行ケバ、西ノ人ガ不平ヲ抱クカラ、西ノ方人ガ感情ヲ癒サウニスレバ、或ハ南ノ人ガ不平ヲ抱クカラ、之ニモ同意スルト、北ノ方人ガ不平ヲ抱クコトデ、終ニ不必要ナル道路迄モ地方稅ヲ以テ數年ノ繼續費ヲ分ケテ遣ル様ナコトハ地方ノ議會ニ間々見ルコトデアアル數年ノ後其繼續費ヲ分ケテ遣ル様ナコトハスルカト云ヘバ、五年カ十年ノ後ニ鐵道ガ出來タカ何トカノ關係ニ依ツテ無用ニ屬シタ線路ガマ、アルノデアアル、私共ハ隨分縣會ニ居テサウ云フコトハ承知シテ居ル、ウシナ有様デ此鐵道案ガ出ルヤ、實ニ先取リ功名御手柄主義ヲ執ツテ自分ノ地方ニ持ツテ行ク、自分ノ地方ヘ持ツテ行クカラ、或ハ九線路或ハ十二線路ト云ヒ、其依ル所其爲ス所地方的觀念ニアラザルハナシト思フ、實ニ此議會ハ腐敗ニ屬シタト私ハ考ヘルノデアアル、(此時失敬ト呼ブ者アリ)失敬ト云フヤツハ却テ失敬ダ、默ツテ聽キ給ヘ、ソレデ此頃折田君モ演説サレデアアル、私モ同感デアアル、併ナガラ私ハ折田君ノト少シ違フテ居ル所ハ、此案ヲ丸切リヤラヌト云フノデハナイ、ヤルケレドモドウシデモ地方的觀念ノタメニ制セラレテ、國家ノ大計ヲ誤ツテ、十年或ハ十五年ノ後ニ、此議事ヲシタノヲ後悔スルヤウナコトノ出來ルノヲ私ハ嫌フノデアアル、私ハ鐵道ヲ擴張シテ行クト云フコトハ軍事上經濟上必要ダト云フコトハ頭腦ニ浮ベテ居ル、併ナガラ此分ケ取り主義ト云フコトハ、私ハ以テノ外嫌ヒナノデアアル、此分ケ取り主義ト云フコトヲ諸君ハ少シ國家ノタメニ御考ニナツテ、職務ノタメニ公平無私ナル御考慮ヲ運ラサレンコトヲ希望スルノデアアル、ソレデ斯ノ如ク論ジ參リマシテ、私ノ望ム所ハドウ云フ希望デアアルカト云フコトヲ、是カラ述ベナケレバナラヌノデアリマス、私ハ此第七條ノ豫定線路ト云フコトヲスツカリ取ツテ仕舞ヒタイ積デアリマス、斯ウ云フモノハ第一政府案ガ其宜シキヲ失シタルモノデアアルと思フ、政府ガ此五線路トカ六線路トカ七線路トカ掲ケマシタカラ、ソレデ分ケ取り主義ノ分ケ取り功名ガ起ッ

タノデアアル、之ヲ掲ケタノガ抑、此議會ノ鐵道問題ニ就イテ腐敗シタノデアアルト思フカラ、之ヲ取ツテ仕舞ヒタイト私ハ思フノデアアル、(既ニソレハ決シタト呼ブ者アリ)間違ヒマシタ、豫定線路デハナイ、第一期工事……ニ著手スル線路ト云フコトデアリマス、之ヲ取ツテ仕舞ツテ私ノ考ヘマス所ニシマス、斯ウヤリタイノデゴザイマス、此線路ノ査定ハ丁度委員會ニ於テ尻ノ方ニアル通、鐵道會議ニ委任シテ仕舞ツタ方ガ餘程宜イ、政府ニ調査ヲ十分ニ爲サシメタ分ガ餘程宜イノデアアル、僅ニ三十日ヤツコヲ前ヨリ上ツテ來タ議員ガドンナニ頭腦ヲ惱マシタ所ガ、全國廣イ鐵道線路ヲ査定シテ、是ハ全ク宜イ線路デアアルカラ、之ヲヤツタ方ガ宜イト云フヤウナコトハ分リハシナイ、唯分ツタ振リシテ政府委員カラ聽キ、或ハ圖面ノ上ヘ赤イモノヲ引ツテ拵ヘタニ相違ナイ、サウ云フモノヲ以テヤルト云フコトハ私ハ最モ嫌フノデアアルカラ、鐵道會議ニ委任シテ仕舞ヒ、ソレカラ十箇年ト云フ年限ハ私ハ餘リ長過ルト思フノデアアル、經濟上ノ變動モアリ、又對外政略ニ就イテ東洋ノ政策トカ何トカ云フコトノ種々ノ關係ガアツテ變遷ヲ見ルダラウト思フ、十箇年ノ久シキヲ茲ニ議シテ置クト云フコトハ私ハ頗ル大早計ニ失スルト思フ、ソレデ私ノ考ヘル所ハ五箇條ト年限ヲ縮メテ、サウシテ公債高ヲ二千五百萬圓トシテ、先ヅ第一期ノ工事ヲヤツテ、其間ニ政府モ徐ロニ其後ニ進歩ヲスル所ノ方針ヲ査定シ鐵道會議モ十分ニ就イテヤツタ上デ、サウシテ將來ノ大計ヲ誤ラナイヤウニ致シタイト云フ私ハ考案ヲ持ツテ居ルノデアアル、ソレカラ線路ノコトハドウスルカト云フト、政府デ鐵道會議デ之ガ宜シイト決定シタモノニ就キマシテ、此議會ノ協賛ヲ經ルノハ、年々協賛ヲ經テ宜イノデアアル、何デモ彼デモ今カラ分ケ取り主義デ自分ノ方ヲ茲ニ書現ハシテ置カネバナラヌト云フコトハナイ、サウスルト頗ル公平無私ナル鐵道ガ出來、國家百年ノ大計ヲ誤ラナイコトガ出來ヤウト考ヘマスノデ、實ニ此事ニ就イテ一ノ議案ヲ提出シテ、滿堂諸君ノ贊成ヲ得タイ積デアリマシタガ、イロノノ關係カラ先キニ申シタ通御斷リガアツテ、私ハ孤城落日茲ニ討死スルノ外ナイノデアリマスカラ、自分ノ精神ヲ一言陳ベテ此壇ヲ下リマス

(贊成々々ノ聲起ル)
○橋本久太郎君(七十四番) 山口君ノ唯今ノ修正説ニハ極テ贊成デアリマス
(關直彦君演壇ニ登ル)
○關直彦君(百十七番) 本員ハ此鐵道公債法案審查特別委員會ノ報告ニ對シマシテ、少々修正ヲ加ヘタイノデゴザイマス、或ハ之ヲ山口君ニ言ハセタナラバ、地方的分ケ取りトデモ申シマセウカ、ナレドモ本員ハ決シテ左様ナル考ヨリ此大問題ヲ議スルモノデゴザイマセヌト云フコトハ、滿天下ニ響ツテ我赤心ヲ表白シテ置キマス次第デゴザイマス、或ハ其地方ノ其人ヲ満足セシムルガタメニ、唯今ノヤウナ邪推ノ論鋒ヲ向ケル方モアルカ知レマセヌガ、我委員並ニ本員ナドハ毛頭左様ナル考ヲ持ツテ國家ノ大事ヲ議スル考ハゴザ

イマセメ、ト云フコトハ呉レトモ申シテ置キマスル次第デゴザイマス、本員ガ茲ニ提出シマセウト存ジマスル線路ハ、即チ此第二章第七條ノ中ニ三線路ヲ増加致シタイト云フ考デゴザイマス、ソレハ既ニ諸君ノ御手許ヘ印刷ニ致シマシテ、御廻シ申シテゴザリマスルカラシテ、既ニ御承知デアラウト存ジマスルガ、式ノタメニ之ヲ述ベマスレバ、第一ニ近畿豫定線ノ内京都府下京都市ヨリ舞鶴ニ至ル鐵道、若クハ兵庫縣下土山ヨリ京都府下福地山ヲ經テ舞鶴ニ至ル鐵道ト云フ一線、ソレカラ第二線ハ近畿線ノ内大阪府下大阪市、若クハ奈良縣下高田、若クハ八木ヨリ五條ヲ經テ和歌山縣下和歌山ニ至ル鐵道、第三ニ山陰山陽聯絡豫定線ノ内兵庫縣下姫路近傍ヨリ鳥取縣下鳥取ヲ經テ境ニ至ル鐵道、又ハ岡山縣下岡山ヨリ津山ヲ經テ鳥取縣下境ニ至ル鐵道、若クハ岡山縣下倉敷ヨリ鳥取縣下境ニ至ル鐵道ト此三線路ヲ増加スル積デゴザリマス、ナゼ此三線路ヲ第一期ノ工事中ニ加ヘナケレバナラヌカト申シマスル理由ノ概略ヲゴク簡單ニ辯ジマスガ、本來此鐵道問題ノ起ル所以ト申シマスモノハ、最早喋々ノ辯ヲ要シマセヌ、即チ軍用上經濟上ノ必要ヨリシテ出テ參リマスル、問題デゴザリマスルガ、此第一線ノ舞鶴京都間若クハ兵庫縣下ヨリ舞鶴ニ至ル鐵道ハ、即チ軍港ト定メラレマシタル舞鶴港ニ聯絡ヲ通ジマスル軍用上最モ必要ナル鐵道デゴザリマス、ソレカラ又近畿線ノ中大阪市若クハ奈良縣下ヨリ致シマシテ和歌山縣下和歌山ニ至ル鐵道ハ、御承知ノ通紀淡海峽ノ砲臺ヲ唯今建築中デアリマス、然シテ此砲臺ヲ以テ内海ノ關門ヲ鎖スト云フ軍備上ノ設計デゴザリマス、此砲臺ニ聯絡スル所ノ鐵道線路ガゴザリマセヌナラバ、到底此砲臺ノ用ヲ爲スコトガ出來ナイト考ヘルノデゴザリマス、加之此和歌山ト申シマスル所ハ、一方ニハ和歌ノ浦ヲ受ケテ居リマシテ、紀淡海峽ヲ乘リ越スコト能ハザル時ハ、和歌ノ浦カラ上陸スルコトガ出來ルト云フ危險ナ場所デアリマス、故ニ和歌山城ハ今日マデモ陸軍省ノ保存城デアツテ、有事ノ日ニハ其用ニ充テルト云フ次第デアリマスカラ、ソレニ向ツテ線路ヲ通ズル事ハ軍用上最モ必要ノコト、考ヘマス、加之和歌山竝ニ舞鶴ト云フ土地ハ雙方共ニ隨分繁華ナ土地デゴザリマシテ物產ノ運輸上人民ノ交通上カラシテ、最モ急ニ此鐵道線路ニモ通ジナケレバナラヌト云フ必要ヲ認メマシタル次第デゴザリマス、ソレカラ又此度此鐵道ノ全國ニ通ズル大計畫ヲ致シマスルニ當リマシテ、或ハ北方ニモ鐵道ヲ貫通スル、或ハ中央ニモスルト云フ際ニ當ツテ、山陰道山陽道ノ間ニハ一本ノ確定線モゴザリマセヌ、兎ニ角山陰道山陽道ノ間ニ何ゾ岡山カラナリ姫路カラナリ倉敷カラナリ、何レカラニ致シマシテモ一線橫斷ト云フモノヲシマセヌケレバ、鐵道ノ大計畫ノ上カラ平均ヲ得ルト云フコトガ出來マセヌノデゴザリマス、ソレ故ニ此山陰山陽兩道ノ間ノ聯絡線路ヲ一線通ズルト云フコトハ最モ急務デアアルト考ヘタ次第デゴザリマス、強チ此三線路ヲ私ガ此處ニ提出致シマシタル所以ハ、私ガ一個ノ説ヲ以テ突然考ヘ出シテ諸君ノ清聴ヲ煩ス次第デアアリマセヌ、慎重ニ慎重ヲ加ヘマシテ、委員會ニ於キマシテハ諸案ヲ折衷致シマシ

テ拵ヘ上ゲマシタ、原案ト云フモノハ即チ本員ガ提出致シマシタル九線路デアアルノデゴザリマス、然ルニ委員會ニ於キマシテ此九線路ガ第二次會ノ節ニハ異議ナク通過ヲ致シマシテ、少シモ異論ガナカ、タノデゴザリマス、加之其上ニモウ三線路ヲ加ヘマシテ十二線路ニスルト云フコトニ二次會ハ一度決議ヲ致シマシタルノデゴザリマス、處ガ如何ナル次第デゴザリマスルハ、翌日ノ確定議ニ至リマシテ、前日ノ議事ニ十二線路ト云フモノニシタルハ、或ハ増シ過キタト云フ様ナ傾カラシマシテ、九線路ト云フ原案マデ削ツテ六線路ト云フコトニナツタ、即チ委員會カラ御報道ニナリマシタル様ナ六線路ノ計畫ニナツタノデゴザリマス、或ハ前ニ増シ過ギタノガ、今度反動デ減シ過ギタト云フ様ナ結果ヲ或ハ推測サレンコトモゴザリマセヌ、ソレ故ニ前殖ヤシタルハ或ハ増シ過ギタカモ知レマセヌガ、併ナガラ此第三次會ニ於テ削リ過ギタノモ最モ其當ヲ得ナイデアラウト信ジマスガ故ニ、此二次會ニ於テ原案トナリマシタル九線路ノ案ヲ復活シテ爰ニ私ガ申シタル所以デゴザリマス、ソレ故ニ敢テ私ガ故ヲニス様ナ案ヲ持出シテ諸君ヲ煩ハス譯デアアリマセヌ、此鐵道計畫上軍備上經濟上ニ於テ最モ急ヲ要スル所ノ此三線路ヲ第一期ノ工事中ニ追加致シタイト云フ考デアリマス、ソレカラソレニ就キマシテハ次第二此年限モ増シマスルコトデアリマスカラ、報告ノ第八條中ノ十箇年ヲ二箇年増シマシテ第九條中ノ五千萬圓トアリマスノヲ六千万圓ト致シ、同ジク其餘二十箇年トアルノヲ十二箇年ト致シタイ、是ハ工事が増スニ從ツテ自ラ工費モ増シテ參リマス、又年限モ殖エル次第デゴザリマス、併ナガラ一年ノ公債ヲ募リマス額ニ至ツテハ五百万圓ヅツデアリマスカラ、敢テ此報告ノ精神トハ違ツテ居リマス、希クハ私ハ最早段々諸君ガ議事ニ御疲レデアラウト存ジマスカラ、長イコトハ述ベマセヌ、簡單ニ致シテ置キマスカラ、希クハ本員ノ趣意ノアル所ヲ御參酌下サツテ、御贊成アラランコトヲ希望致シマス

○川原茂輔君(百八十番) 私ガ出シテ置キマシタル修正案ハ撤回致シマス

○朝倉親爲君(二百六十二番) 修正案ヲ出シテ置キマシタルカ

○議長(星亨君) 通告ガアリマスカラ其順ニ

(石田貫之助君演壇ニ登ル)

○石田貫之助君(百七十六番) 諸君、私ハ此第二章中ニ就キマシテ二箇條ノ修正ヲ致スト云フノデゴザリマス、此第一ハ今關直彦君ガ辯ジマシタル中ノ線路ノコトデゴザリマス、其線路中ニ於テ舞鶴ト云フノハ、鐵道ノコトノ必要ヲ今私ガ聊カ述べタイト考ヘマスル、大體ニ就イテハ第一期中ニ定メテアル所ノ線路中ニ於テ、此事ガ入ツテ居ラナカッタノハ、實ニ不可思議ニ考ヘルノデアアル、又一期中ノ線路ニ最モ先キダツテ之ヲシナケレバナラヌ要用ノ線路ジャラウト私ハ思フノデアアル、舞鶴ハ即チ御承知ノ通鎮守府ガ置カレテアル、是カラ追々鎮守府ノ全キヲ得ル方策ヲ執ラナケレバナラヌ、擬テ鎮守府ヲ置クトスルト一ノ線路ナクシテ此鎮守府ハ一ノ效用ヲ爲サヌノデアアル、之ヲ下ノ關軍艦ヲ廻サンカ、神戸カラ或ハ大阪カラ、ドウシテモ海上六百哩以上ノ軍艦ヲ走ラセナケレバナラヌ、之ヲ京都カラ引クモ或ハ兵庫縣土山ト

云フ所カラ引クモ五六十哩ノ鐵道デアル、シテ又實ニ此舞鶴ト云フコトハ我々軍人デアリマセヌカラ、斯様ナ講釋ヲスルノデハ無イガ、曾テ聞イテ居ル又素人ナガラモ日本ノ地形ノ上カラ考ヘルト、最モ要港デアラウト考ヘル、夫ノ有名ナル露西亞ノ鐵道西比利亞鐵道是ガ落成シテ以テスル時ニ於テハ、此舞鶴ト云フ所ノ軍港ナドハ、最モ大切ナ土地シヤト云フコトヲ私ハ聞イテ居ルノデア、御承知ノ通此滿洲斯德ト舞鶴ト云フ所トハ、即チ相對シテアル、之ヲ聞クニ或ハ一晝夜ト云ヒ、或ハ二晝夜ト云フ少シ速力ノ早イ汽船ナラバ一晝夜餘リニ直航スルコトガ出來ルト云フ土地柄デア、茲ニ必要ナリトシテ鎮守府ヲ置ク、既ニ鎮守府ヲ置クトスルナラバ、之ニ軍用上ノ便利ヲ與ヘル、其軍用上ノ便利ヲ與ヘルニハ、鐵路ヲ設ケル、大阪ニハ鎮臺ガアル、又廣島或ハ其中央部ニアル所ノ姫路ノ分營、此便利ノ鐵路ヲ布設スルト云フコトハ、最モ必要ナ事柄デアラウト私ハ思ヒマス、デアノ箇條中ニ於テ之ヲ贊成スル、唯是丈ノコトヲ申上ケマス、ソレカラ此第十條一ツ披ゲテ御覽ヲ下サレタイ、此中ニ私ハ文字ヲ修正シタイノデアリマス、修正デハアリマセヌ、插入ヲシタイ、第十條ハ「政府ハ第一期ニ布設スベキ鐵道線路ヲ實測シ、每線路ノ工費豫算ヲ定メ帝國議會ノ協贊ヲ求ムベシ」トアル、ソレカラツコニ插入スル十三文字ハ「及ヒ運輸上ノ收支概算ヲ付シ帝國議會ノ協贊ヲ求ムベシ」ト云フ十三文字ヲ插入シタイノデア

(モウ一度讀ンデ下サイト呼ブ者アリ)

○石田貫之助君(百七十六番) モウ一遍讀ミマス、「工費豫算ヲ定メ」ト云フ所カラ插入スルノデゴザイマス(緩カニ願ヒマスト呼ブ者アリ)「及ヒ運輸上ノ收支概算ヲ付シ帝國議會ノ協贊ヲ求ムベシ」ト云フ十三文字ヲ插入シタイノデアザイマス是ハ何デモ無イヤウデゴザイマス、ケレドモ私ハ思フニ餘程大切ナ事デア、又是ニ今日此鐵道熱トデモ言フベキモノガ非常ニ官民共ニ鐵道擴張デア、或ハ買収ト云フ様ナ氣味ヲ含シ居ルニ至ッテハ、之ヲ插入レ置カザルヲ得ヌ事柄デアラウト思ヒマス、ソレハ何故カト云ヒマスルナラバ、鐵道ヲ布設スルヤ否ヤト云ヘバ、孰ノ國ヲ問ハズ、何黨ヲ問ハズ、官民ヲ問ハズ、誰カ不同意ヲ唱ヘル者ハナイ、鐵道ハ便利ナモノデア、迅速ナルモノデア、扱テ此緩急之ヲ布クヤ布カザルヤ擴張スルヤセザルヤト云フコトハ、國家ノ財政ガ許スヤ否ヤト云フコトハ、此收支ノ如何ト云フコトガ、最モ私ハ眼目デアラウト思フ、今申シマスルヤウニ國家ノ財政ヲ問ハズ、又此今鐵道事業大資本ヲ卸ス事業ハ無イノデア、實ニ今日之ヲ布設シテ明年若クハ五年ダケデ廢シヤウ、或ハ普通ノ會社ヲ組織シテ以テ物品ノ賣買等ヲスルヤウナ事業トハ實ニ大ナ違ヒノアル事業デア、一旦布設スルナラバ容易ニ之ヲヒキムクルコトハ出來ヌコトハ無イ、法律デハ出來ヌコトハナイガ、左様ナ目的、左様ナ計畫ノコトデスベキ事柄デナイ、然レニ之ヲ許スヤ許サシヤ、或ハスルヤセヌヤト云フコトハ、國家ノ收支ト云フモノガ餘程關係ガアルコトシヤト私ハ考ヘル、ソレデ斯ク言フナレバ鐵道ハ唯錢儲ノタメニ

スルノカ、サウ云フ譯ノモノデナイ、一般ニ幸福ヲ與ヘ人民ニ便利ヲ與ヘルノデアルト、新ウ云フ話ハ勿論ナ話デ、唯國家ガ之ヲヤルト云フナラバ官商買主義官ニ營業主義デアルト云フ譯デナイト云フコトハ、私ハ認メテ居ル今ノ國家ガスルトシテモ收支ガ價ハナイトカ、或ハ收入シタモノガ今日ノ實費ニモ足ラナイト云フ所ニ限ニ鐵道ヲ敷クノハ鐵道ノ本體デナイ或ハ線路中ニ於テ直接ニ軍用上最モ其部分中ニ於テ軍事ニ多量ノ關係ヲ持ツタ線路デアリマスレバ、是ハ收支ノ如何ニ拘ラズ布設シナケレバナラヌ事業ト思ヒマス、前刻申シタ舞鶴鐵道ノ如キ場合デアリマスレバ、是ハ收支ノ如何ニ拘ラズ、舞鶴ト云フ處ハ軍用上大切ナ處デア、既ニ鎮守府ヲ置イタ此鎮守府ヲ全ウシ、之ヲ利用スルニハ鐵道ガナケレバナラヌト云フコトデアリマスレバ、是ハ別段ノ問題デアリマスケレドモ、其他一般ノ鐵道ヲ擴張スルト云フコトニ至リマシテハ、此事ハドウシテモ如何ナル收支デア、ソレデ或ハ又之ニ反對的トシナケレバナラヌ、最モ大切ナル部分デア、ケレドモ到底ソレハサウ論者ガアリマレテ如何ニモソレハサウデア、ケレドモ到底ソレハサウ云フ概算トカ、豫算トカ云フコトハ出來ルモノデナイ、未ダ鐵道ヲ敷カナイノニ——又既設後ト雖モ鐵道事業ハ容易ニ分ルモノデナイ、年一年ヲ積ンデセネバ、他ノ會社株金ノ配當ノヤウナ場合ニハ往カヌカラ、分ラヌト者ハレル者ガアリマセウガ、決シテサウ云フ譯ノ事柄デナイ、凡ソ經濟上ニ多少關係ヲ持ツ事業ヲ起スガ處ガ丸デ豫算モ立テズ、收支ノ目的モ定メナイト云フヤウナ、サウ云フヤウナ漠然トシタ事業ヲ興スト云フコトハナイ譯デア、又出來ヌ譯デア、既ニ私設鐵道條例ニ於テハ此條項ガアリマス、是ハ私ガ鐵道ヲ布キマスレバ私一個人ノ財產デア、——果シテ我々五人百人ノ財產——一個ノ民有財產ヲ以テ鐵道ヲ布クノデスラ、布設ノ費用運輸營業上ノ收支概算ヲ附シテ以テ政府ノ許可ヲ請ヘトアル、是ハ如何ナル言葉デアリマスカト云ヘバ、即チ先刻申シタ通大事業デア、其大事業ヲ唯輕々ニ概算モセズシテ數百哩數千哩ノ鐵道ヲ布イタナラバ、國家ノ財政ニ紊亂ヲ來ス、私ノ聞ク所ニ舉レバ、或ハ歐米ニ於キマシテモ鐵道熱ノ盛ナル時分ニ一年若シクハ數年間ニハ數百哩若クハ數千哩ノ鐵道ヲ布設シ、遂ニ其鐵道ハ草莽ヲ生イテ以テ其鐵道ヲモグリカイシタト云フコトヲ承ッテ居ル

○議長(星亨君) 諸君定則ガ來マシタガ、今日ハ是ハ半分迄議シテ仕舞フト思ヒマスカラ時間ヲ延ベマス

(異議ナシト呼ブ者アリ)

○加藤六藏君(二百三十四番) 異議ガアリマス

○折田兼至君(百五十八番) 異議ガアリマス、此問題ハ重大ナ事件デアリマス、是ハ時間ヲ延バシタ所デ、大ヘン長ク延バサナケレバ到底議事ガ濟マヌト思フ、又修正說ヲ別ニ出シタ人モ澤山アリマスカラ、悉クヤレバ九時十時マデカ、リマスカラ……

(贊成々々ノ聲起ル)

○加藤六藏君(二百三十四番) 賛成

○議長(星亨君) 時間ヲ延バスコトハ議長ノ特權デ、今迄ヤッテ居ッタ

(折田兼至君宜シク多數ノ希望ニ任スベシ)

(ヤリ給ヘヤリ給ヘト呼ブ者アリ)

○石田貫之助君(百七十六番) ソレデ此十三文字ハ最も大切デアリマスカラ
(簡單々々)之ヲ挿入センコトヲ、私ハ希望スルノデアリマス、若シ爰ニ論者
ガアツテ左様ナコトハ行カズト雖モ、此案ヲ政府ガ提出スル時ニ於テハ必ズ
參考書トカ何トカ云フテ出シテ來ルノデアアルト云フ論者モアリマセウ、又
嘗テ聽イタコトガアルノデアアル、然レドモソレハ畢竟想像ガアツテ、法律デ
定メテナイノデアアル、政府ガ此線路ヲ定メ、或ハ線路ノ豫算ト工費ト云フモ
ノヲ定メル時ニ、既ニ附帶シテ調査ヲセンナラヌ事柄デアアル、若シ法律ニナカ
リセバ、即チ線路ヲ定メ其線路ノ工費ヲ定メルト云フコトデ、唯席上ノ考ヘ
位ノコトヲ附ケテ見テモ、之ヲ調ベルコトニ致シテモ、多少ノ時日多少ノ費
用ヲ費ヤサヌケレバ、斯ル概算ト云フモノハ出來マセヌ、是迄私設鐵道ヲ起
シマシテモ、即チ左様ナコトデゴザイマセヌ、之ヲ今日ニ於テ定メテ置クハ
最も私ハ必要ダト考ヘマス、爲ニ此意見ヲ賛成アラシコトヲ希望致シマス、
(簡單ト呼ブ者アリ又ヤリ給ヘト呼ブ者アリ) 私ガマダ述ベリヤ述ベルコトハ
アリマスケレドモ、要點ハ大抵是デ諸君ニ御分リニナッタデアラウト考ヘマ
スル

○議長(星亨君) 二百六十二番

(朝倉親爲君演壇ニ登ル)

○朝倉親爲君(二百六十二番) 諸君、私ハ此鐵道敷設法ノ委員ノ修正案ニハ
ソレノ賛成ハ致シテ居リマスル者デスガ、其第一章ノ……第二章ノ第七
條ノ末項ノ九州ノ内熊本縣下ノ熊本ヨリ大分縣下大分ニ至ル、鐵道ノ挿入
ノ儀ノ意見デアリマスガ、ソレノ諸君ノ御手筋ヘ廻ッテ居ル譯デゴザイマス
ガ、此九州ノ儀ハ諸君ニ於テモ御承知モゴザイマセウガ、此鐵道ノコトニ就
キマシテハ大體明治十九年頃カラ民間ニ於テモ其邊ノよだちガゴザイマシ
テ、第一番ニ九州鐵道ノ著手ニナリマシテ、第二番ニ至リマシテ此大分ヨリ
熊本ニ至ル鐵道ノ儀ヲ地方有志家ガ段々取調ヲ致シマシテ、サウシテ其筋ニ
ソレノ出願ノ手續ニ至リマシタガ、折惡シク九州鐵道ノ方ト少シ差違ガ出
來タ様ナ次第デ、遂ニ目的ヲ達スルコトカ出來ヌ様ナ次第デゴザイマス、元
來此九州ノ熊本ヨリ……大分ヨリ熊本ニ通スルコト云フ譯ヲ皆希望致シマスル
所以ノモノハ、豊後ト肥後ト云フモノハトント九州ノ中央ニアリマス、之ヲ
切斷シテ運輸ノ途ヲ開キ、又國防上ニ於テハ申上タル迄モゴザイマセヌガ、
丁度豊後ハ丁度内海ニ通ズル所ノ中央ニナッテ居リマスルニ就イテハ、豊前
ノ方ヨリ山陽ノ方ニ就イテハ下ノ關、又コチヲノ方ニ就イテハ佐賀ノ關ト云
フ所ノ國防上自然國防上ニ必要ナル此沿海ヲ受ケテ居ル譯デゴザイマスルカ
ラ、ソレデ國防上ニモ經濟上ニ於テモ必要ナル譯ト相考ヘマスル、故ニ是迄從

來ソレノ成立ヲ致シテモ居リマス、此節又此通り法案モ設置ニナル以上
ハ、此一期ノ内ニ組入ヲ希望致シマス所ヨリ、私ガ此案ヲ提出致シマシタ譯
デ、實ハ御聽取リ次第ニ因リマシテハ、唯一地方ノタノニ斯様ナ意見ヲ差出
シタト云フ様ナ御聽取モゴザイマセウ、ケレドモ固ヨリ一地方ノ事情モ從來
成來タ今日ニナリマシテ、又國家ノ上ニ就キマシテモ、萬一非常ナル時ニハ
實ニ必要ナルコト、見込デ居リマスル故ニ提出致シマス、此事情ト國家ノ
上ニ附イタル國防上ノコトニ附イテ考ヘラレマシテ、ドウカ此案ヲ賛成アラ
シコトヲ偏ニ希望致シマス、宜シク……

○議長(星亨君) 二百三十三番

(藥袋義一君演壇ニ登ル)

○藥袋義一君(二百三十三番) (簡單ニ願ヒマスト呼ブ者アリ)宜シイ、(十分
ヤリ給ヘト呼ブ者アリ)私ハ固ヨリ簡單デス、私ハ此比較線路ノ一項ヲ削除致
シマシテ第四章ノ鐵道會議ト云フ所ニ入レルト云フ意見デゴザイマスデ、是
ハ總テ此比較線路ノ是迄帝國議會ノ協賛ヲ經ルト云フコトハ餘程實際ニ差支
ノコトモアラウカト思ヒマス、又行政上ヤルベキ仕事ト思ヒマス、此比較線
路ノ孰ガ適當デアルヤナイヤト云フコトハ、餘程技術上ニ關係アルコトデ、
假ヘバ甲府ヨリ伊奈ヲ經ルカ、或ハ筑摩ヲ經ルト云フ様ナ場合ニ至ッテモ、
餘程面倒ナ關係ガ出ヤウト思ヒマス、ソレガタメニ此委員モ鐵道會議ト云フ
モノヲ一章加ヘラレタ様ニ思ヒマス、總テ此比較線路ノ事ハ帝國議會ノ協賛
ヲ經スニシタ方ガ穩當カト思ヒマス、ソレニ此第十條ニ矢張豫算ヲ立ッテ帝
國議會ノ協賛ヲ經ルト云フコトガゴザイマス、(分ッタ分ッタ簡單々々ト呼ブ者
アリ)成ルベク簡單ニヤリマス、先ツ御分リニナレバ私ハ満足デゴザイマス、
願クハ此條項ヲ削除致シマス、(分ッタ分ッタ議論ガ分ッタト呼ブ者アリ)

○武市安哉君(四十八番) 討論終結ノ動議ヲ提出シマス

(賛成々々ト呼ブ者多シ)

○内藤利八君(十二番) 山口君ノ說ハ議題ニ成立ッテ居リマス

○議長(星亨君) 左様、二十五名ノ賛成ガアリマス

○内藤利八君(十二番) ソレデハ私モ賛成致シマス

○加藤六藏君(二百三十四番) 私モ賛成イシマス

○鈴木麟三君(三十番) 三十番モ賛成

○議長(星亨君) 討論終結ノ動議ガ出テ居マシタ

(賛成々々ト呼ブ者多シ)

○伊藤大君(九十七番) 藥袋君カラ修正說ガ出マシタガ……

○議長(星亨君) 何番デスカ、討論終結ハ……

○武市安哉君(四十八番) 私デス

○議長(星亨君) 決ヲ採リマセウ、討論終結ガ出テ賛成者カゴザイマスカラ、
決ヲ採リマセウ、討論終結ニ賛成ノ諸君ハ起立ナスッテ下サイ

起立者 多數

○議長(星亨君) 多數ト認メマス

是ヨリ決ヲ採リマス、第二章第一期鐵道及公債募集是ハ別ニ御論ガナイヤウデアリマス、第七條ニ修正説ガゴザリマス、即チ山口千代作君ノ修正第一期工事ハ一千哩ヲ限トシ、五百哩ヲ限トシト云フ數字ヲ入レル、サウシテ後トノ豫定線路云々ヲ省イテ仕舞フト云フ修正デアリマス

(一千哩デスカ五百哩デスカト呼ブ者アリ)

○議長(星亨君) 五百哩デス、第一期工事ハ五百哩ヲ限トシ、其實測及布設ニ著手ス後トノ十項——八條ノ仕舞マデ削ルト云フ此決ヲ採リマス

○河島醇君(百六十八番) 三角ニ至ル鐵道ト云フ所マデ削除スルノデアリマセウ

○議長(星亨君) ナンデスカ、山口君ノ修正ハ八條ノ仕舞マデ削ルンデス

○山口千代作君(五十六番) ツレハ間違ッテ居リマス、三角ト云フ所マデ削ルノデアリマス

○早川龍介君(三十七番) 三角ト云フ所マデ削ルト、以上線路云々ト云フトガ殘ルガ妙ニナリマス

○議長(星亨君) 妙デモ何デモ決ヲ採ラナケレバナリマセヌ、第七條ノ決ヲ採リマス、即チ山口君ノ修正説、第一期工事ハ五百哩ヲ限リトス、此説ニ同意ノ諸君ハ起立ナスッテ下サイ

起立者 少數

○議長(星亨君) 少數、即チ山口君ノ修正ハ消滅致シマシタ、是ヨリ尙ホ七條即チ委員ノ修正説ニ同意ノ方ハ(マダ)ト呼ブ者アリ)議論ハアリマセヌカ、委員ノ修正ニ同意ノ方ハ起立ナスッテ下サイ(分ラヌ分ラヌト呼ブ者アリ)ツレナラチャント云ヒマスガ、委員ノ修正ニ同意ノ方ハ起立ナスッテ下サイ

起立者 多數

○議長(星亨君) 多數デアリマス、(少數デアリマスト呼ブ者アリ)多數

○河島醇君(百六十八番) 多數ナラ異議ヲ申立デマス

(賛成々々ノ聲起ル)

○議長(星亨君) 異議ノ申立ガアルナラ(異議ナシノ聲多シ)サスレバ是ヨリ中央豫定線ト云フ一項カラ、即チ九州豫定線路ノ中佐賀云々ト云フ一項マデ決ヲ採リマス、是ハ別ニ修正案モ出テ居リマセヌ

○河島醇君(百六十八番) 異議ノ申立ガアリマス

○議長(星亨君) モウ濟ンデシマツタ、賛成ガアリマセヌ、今ニナッテ仕方ガナイ、既ニ修正案ハ別ニ御議論ガナケレバ決シタモノト思ヒマス、(異議ナシ異議ナシト呼ブ者アリ)

○河島醇君(百六十八番) 異議ニ賛成ガアリマス

○石田貫之助君(百七十八番) 二十名以上ノ賛成者ガアツテ出シタノデアアル

○議長(星亨君) 二十名以上ナイト認メタノデアリマス、後トニナッテ出來デモ役ニ立タナイ、(笑聲起ル)ツコノ處ハ宜ク注意ヲシテ貰ヒタイ、是ヨリ修

正案ガ出テ居リマス、即チ關直彦君カラノ修正ニ附イテ決ヲ採リマス、即チツレハ近畿豫定線路ノ中三項ニナッテ居リマス、即チ關直彦君其外ヨリノ修正案、即チ三項ニ同意ノ方ハ起立ナスッテ下サイ

起立者 多數

○議長(星亨君) 多數ト認メマス、即チ關君ノ修正案通ニ決シマシタ、(拍手起ル)是ヨリ朝倉君ノ修正ガゴザリマス、ツレハ九州豫定線路ノ中熊本ヨリ云々之ニ就イテ決ヲ採リマス、此修正ニ賛成ノ方ハ起立

起立者 少數

○議長(星亨君) 少數ト認メマス依ッテ是ハ修正案ガ成立マセヌ、(以上ノ線路)云々ナ云フ一項ハ別ニ修正モゴザリマセヌカラ、(異議ナシ異議ナシト呼ブ者多シ)即チ修正案通決シタモノト思ヒマス、ツレカラシテ「比較線路」云々ト云フ一項ニハ削除説ガ出デ居リマス、ツレデ即チ委員ノ修正ニ同意ノ方ハ起立

起立者 多數

○議長(星亨君) 多數デアリマス、即チ是ハ委員ノ修正案通ニナリマシタ是ヨリ第八條、第八條ハ第八條ニ修正ガゴザリマスガ、十箇年ト云フノヲ十二箇年トスルト云フ修正案、此十二箇年ト云フコトノ決ヲ採リマス、十二箇年ト云フ「二」ノ一字ヲ入レルニ(異議ナシ異議ナシト呼ブ者多シ)

○渡邊洪基君(四十一番) 私ハ修正ニ賛成スル積デアツタガ、ドチラニ異議ガナイノデアリマス

○議長(星亨君) 即チ此方ニ異議ガナイト云フノデアリマス

○渡邊洪基君(四十一番) ツレナラ宜シ

○議長(星亨君) 諸君ニ一寸御諮リ申シマス、此處ニ山口君ノ修正説ガ出デ居リマス、即チ五箇年ト云フコトガ出デ居リマス、十二箇年ト云フコトガ極マレハ五箇年ト云フ方ハ要ラナイヤウニ考ヘル、(異議ナシ消滅シタリト呼ブ者アリ)ツレカラ第九條ノ中ニ修正説ガゴザリマス、即チ是ハ矢張關君カラ出デ居リマス、六千方ト云フ(異議ナシ異議ナシト呼ブ者多シ)ツレナラ關君ノ修正ハ可決致シマシタ、サスレバ二千五百方圓ト云フ山口君ノ修正説ト五千五百方圓ト云フコトノ朝倉君ノ修正ハ此處消滅シタモノト認メマス、又九條ノ中二十箇年ガ十二年トナッテ居リマスガ(異議ナシ異議ナシト呼ブ者アリ)然ラバ其通、ツレカラ尙ホ五箇年ト云フノヲ十一箇年ト云フ修正説、是ニハ異議ガナイ、ツレカラ第十條——十條ニハ即チ石田君ノ修正説ガアリマス……(伊藤大八君無用ノ修正説ト呼ブ)此説ニ賛成ノ方ハ起立

起立者 少數

○議長(星亨君) 少數ト認メマス、而シテ委員會ノ修正説ニ就イテ決ヲ採リマス、委員會ノ第十條ハ……(異議ナシ異議ナシト呼ブ者多シ)サスレバ委員會ノ修正説通ニ決シマス、今日ハ既ニ時モ過ギテ居リマスカラ、是ニテ散會致シマス、(拍手起ル)一寸報道ノ殘ガアルサウデスカラ、報道致シマス

〔水野書記官長期讀〕

一田中正造君ヨリ質問答辯ニ關スル件ニ付政府ハ質問書ヲ提出セラレタリ
一鳩山和夫君外六名提出ノ民法商法施行條例及法例施行期限延期法律案ハ
併セテ先ノ民法商法施行延期法律案審查特別委員ニ付託セリ

質問書

本會ニ於テ明治二十五年五月九日河野廣中君及工藤行幹君ハ北海道殖民開
拓ニ關スル施政ノ方針、北海道官有物拂下、北海道勸業委託金處分、札幌
製糖會社及札幌製麻會社、北海道土地貸付、炭鑛鐵道線路變更ノ件ニ付同
月十一日鹽田與造君、新井啓一郎君及箕浦勝人君ハ鐵道始末ニ對スル件ニ
付同月二十三日加藤淳造君ハ北海道炭鑛鐵道會社ニ關スル件ニ付同月同日
田中正造君ハ足尾銅山鑛毒加害ノ件及北海道幌內郡春別鐵道及炭鑛、炭鑛
鐵道會社命令書違反、神戸造船所、釜石鑛山、阿仁及院內鑛山、小坂銀山等
ニ關スル件ニ付各質問ヲ提出シタルニ政府ハ未ダ何等ノ答辯ヲモナサズ
議院法第四十九條ニハ「質問主意書ハ議長之ヲ政府ニ轉送シ國務大臣ハ直
チニ答辯ヲ爲シ又ハ答辯スヘキ期日ヲ定メ若シ答辯ヲ爲サル時ハ其理由
ヲ明示スヘシ」トアリ然ルニ政府ハ未タ之レカ答辯ヲナサス又答辯スヘキ
期日ヲモ定メサル理由如何若シ政府ニ於テ答辯シ能ハストセハ何故ニ答辯
シ能ハサルノ理由ヲ示サ、ルヤ
右議院法第四十八條ニ據リ提出ス國務大臣ハ其責任ヲ負ヒ直チニ明答アラ
ンコトヲ望ム

明治二十五年六月三日

質問者

田中正造

贊成者

鹽田與造外三十三名

○議長(星亨君)

是ヨリ明後日ノ議事日程ヲ報道致シマス

〔水野書記官長期讀〕

衆議院議事日程 第二十一號 明治二十五年六月六日(月曜日)

午後一時開議

第一 鐵道公債法案(政府提出)

第二讀會(前會ノ續)

第二 區裁判所檢事局檢事補設置ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

第三 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第四 岐阜愛知二縣下震災救済及河川堤防工事費明治二十四年度豫算外支

出ノ件(政府提出)(特別委員)

愛知岐阜富山福岡四縣下土木費補助トシテ明治二十四年度豫算外支

第五 出ノ件(政府提出)(特別委員)

第六 府縣制第二十七條修正法律案(島田三郎君外三名提出)

第一讀會(前會ノ續)

第七 地租條例改正案

○議長(星亨君) 是ニテ散會致シマス
午後六時二十四分散會

